







備考

第二十二書式

國民兵人員表

用紙美濃紙

明治何年

何府(縣)國民兵人員表

主任 官姓名印

計	郡區年			計
	何郡(區)	何	何	
何	何	十七	十八	何
人	人	歲	歲	人
何	何	十九	二十	何
人	人	歲	歲	人
何	何	計		何
人	人			人

第二十三書式

一年志願兵願書

府(縣)郡(區)町(村)番地

族及職業

年月日生

右私或ハ私何男(養嗣子)承祖孫等ニ候處徵兵令第十一條ニ據リ食料被服等ノ費用トシテ金一百圓上納可仕候間御検査ノ上一箇年間歩兵看護卒(看馬卒)ノ現役ニ御徵集相成度別紙某學校卒業證書並ニ學業履歷書相添此段奉願候也

府(縣)郡(區)町(村)番地

族及職業

戶主 姓名 印

年月日 徵兵署 御中

前書之通相違無之候也

戶長 姓名 印

第二十四書式

志願兵願書

府(縣)郡(區)町(村)番地

族及職業

姓名 年月日生

右私或ハ私何男(養嗣子)承祖ノ孫等徵兵令第十條ニ據リ現役志願仕候間御検査被成下度尤御採用ノ上ハ定規ノ服役年期中家事ノ故障ヲ以テ一切苦情申立間敷候此段奉願候也

年 月 日	府(縣)郡(區)町(村)番地
徵 兵 署	族及職業
御 中	戸 主 姓 名 印
前書之通相違無之候也	戸 長 姓 名 印
年 月 日	

○第十九號 (八月十一日 内務卿連署)

自今神佛敎導職ヲ廢シ寺院ノ住職ヲ任免シ及敎師ノ等級ヲ進退スルコトハ總テ各管長ニ委任シ更ニ左ノ條件ヲ定ム

- 第一條 各宗派妄リニ分合ヲ唱ヘ或ハ宗派ノ間ニ爭論ヲ爲ス可ラス
- 第二條 管長ハ神道各派ニ一人佛道各宗ニ一人ヲ定ム可シ  
但事宜ニ因リ神道ニ於テ數派聯合シテ管長一人ヲ定ム佛道ニ於テ各派管長一人ヲ置クモ妨ケナシ
- 第三條 管長ヲ定ム可キ規則ハ神佛各其敎規宗制ニ由テ之ヲ一定シ内務卿ノ認可ヲ得可シ
- 第四條 管長ハ各其立敎開宗ノ主義ニ由テ左項ノ條規ヲ定ム内務卿ノ認可ヲ得可シ
- 一 敎規
- 一 敎師タルノ分限及其稱號ヲ定ムル事
- 一 敎師ノ等級進退ノ事

以上神道管長ノ定ムヘキ者トス

- 一 宗制
- 一 寺法
- 一 僧侶並ニ敎師タルノ分限及其稱號ヲ定ムル事
- 一 寺院ノ住職任免及敎師ノ等級進退ノ事
- 一 寺院ニ屬スル古文書寶物什器ノ類ヲ保存スル事  
以上佛道管長ノ定ムヘキ者トス
- 第五條 佛道管長ハ各宗制ニ依テ古來宗派ニ長タル者ノ名稱ヲ取調ヘ内務卿ノ認可ヲ得テ之ヲ稱スルコトヲ得

右布達候事

○第二十號 (八月二十日 大藏卿連署)

本年四月第九號布達印紙賣捌規程第十條左ノ通更正ス

- 第十條 賣捌人ニシテ左ノ事項ニ該ル者ハ賣捌殘餘ノ印紙類及ヒ賣捌所看板ヲ返納スヘシ此場合ニ於テハ返納印紙ニ對スル既納ノ代金ハ返付シ之ニ對スル當初下渡ノ手数料ハ返納スヘシ
- 一 恩給ヲ受クルノ權消絶シタル時
- 一 恩給停止ノ時
- 一 廢業シタル時
- 一 此規程ニ背キ營業禁止又ハ停止セラレタル時

右布達候事

○第二十一號 (九月六日 海軍卿連署)

十九年大藏省令第二十一號ニ依リ消滅

十八年第十三號布達ニ依リ消滅

明治十六年十月 第二拾八號布達海軍志願兵徵募規則第十二條中「壹個月壹圓七拾五錢宛ヲ給ス其金額ハ每三個月」ヲ「壹個年金額拾圓宛ヲ給ス而シテ其半額宛ヲ每六個月」ト改正シ其第二十八條ヲ刪除ス

右布達候事

○第二十二號 (十月二日 工部卿連署)

明治七年七月 工部省第拾八號及同年八月同省第貳拾壹號布達廢止ス

右布達候事

十九年勅令第七十號大藏省令第八號ニ依リ消滅

○第二十三號 (十月二日 大藏卿連署)

舊銅貨天保通寶來ル明治十九年十二月限通用禁止相成候ニ付テハ新銅貨ニ交換ヲ要スル者ハ東京ハ出納局大阪ハ同局出張所其他ハ地方廳ヘ右期限内ニ申出ツヘシ期限後ハ交換ヲ爲サス

右布達候事

○第二十四號 (十月三日 農商務卿連署)

來明治十八年六月十五日ヨリ九月二十日迄獨逸聯邦バイエルン國ニユルンベルグ府ニ於テ金工萬國博覽會開設ニ付出品望ノ者ハ農商務省ヘ願出ツヘシ

農商務省第八號告示

但出品手續ハ追テ農商務卿ヨリ告示スヘシ

右布達候事

第八十二號達參看

○第二十五號 (十月四日 內務卿連署)

墓地及埋葬取締規則左ノ通相定ム

墓地及埋葬取締規則

第一條 墓地及火葬場ハ管轄廳ヨリ許可シタル區域ニ限ルモノトス

第二條 墓地及火葬場ハ總テ所轄警察署ノ取締ヲ受クヘキモノトス  
第三條 死體ハ死後二十四時間ヲ經過スルニ非サレハ埋葬又ハ火葬ヲナスコトヲ得ス  
但別段ノ規則アルモノハ此限ニアラス

第四條 區長若クハ戶長ノ認許證ヲ得ルニ非サレハ埋葬又ハ火葬ヲナスコトヲ得ス  
但改葬ヲナサントスル者ハ所轄警察署ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 墓地及火葬場ノ管理者ハ區長若クハ戶長ノ認許證ヲ得タル者ニ非サレハ埋葬又ハ火葬ヲナサシムヘカラス又警察署ノ許可證ヲ得タル者ニ非サレハ改葬ヲナサシムヘカラス

第六條 葬儀ハ寺堂若クハ家屋構内又ハ墓地若クハ火葬場ニ於テ行フヘシ  
第七條 凡ソ碑表ヲ建設セント欲スル者ハ所轄警察署ノ許可ヲ受クヘシ其許可ヲ得スシテ建設シタルモノハ之ヲ取除ケシムヘシ

但墓地外ニ建設スルモノ亦之ニ準ス

第八條 此規則ヲ施行スル方法細則ハ警視總監府知事縣令ニ於テ便宜取設ケ內務卿ニ届出ヘシ

右布達候事

內務省第七十四號達參看

○第二十六號 (十月三十日 內務卿連署)

式ニ依リ宣布セサル公文及上書建白請願書ヲ記載セル圖書ハ明治十六年六月第貳拾壹號布告以前ノ出版ニ係ルモノト雖モ再版反刻若クハ之ヲ抄出シテ出版スルモノハ新聞紙條例第三十一條ニ依ルヘシ

右布達候事

○第二十七號 (十一月二十一日 農務卿連署)

來明治十八年五月ヨリ向六ヶ月間英國龍動府ニ於テ萬國發明品博覽會開設ニ付出品望ノ者ハ農商

農商務省第十號告  
示參看

務省へ願出ツヘシ

但出品手續ハ追テ農商務卿ヨリ告示スヘシ

右布達候事

○第二十八號 (十二月十三日 農商務卿連署)

明治十六年十一月 第三拾五號布達繭絲織物陶漆器共進會規則中左ノ通訂正追加ス

第十一條 審査官ハ出品ヲ審査シ其優劣ヲ判シ審査部長ハ褒賞ノ等級ヲ擬按シテ之ヲ審査長ニ出

シ審査長ハ幹事長ト商議按定シテ之ヲ農商務卿ニ差出シ以テ其認可ヲ請フヘシ

書式第四號出品解説産額ノ次へ左ノ一欄ヲ加フ

(△印ハ朱書)

販額
△明治十五年十六年十七年三ヶ年間ノ賣上品高及其代價ヲ記スヘシ
△十五年以後開業セシモノハ其開業ノ時ヨリ十七年マテノ分ヲ記スヘシ

右布達候事

○第二十九號 (十二月二十二日 農商務卿連署)

今般第三拾號布告ヲ以テ西洋形船舶検査規則制定候ニ付テハ在來ノ船舶ハ明治十九年六月三十日

迄ニ検査ヲ受クヘシ

右布達候事

○第三十號 (十二月二十七日 工部卿連署)

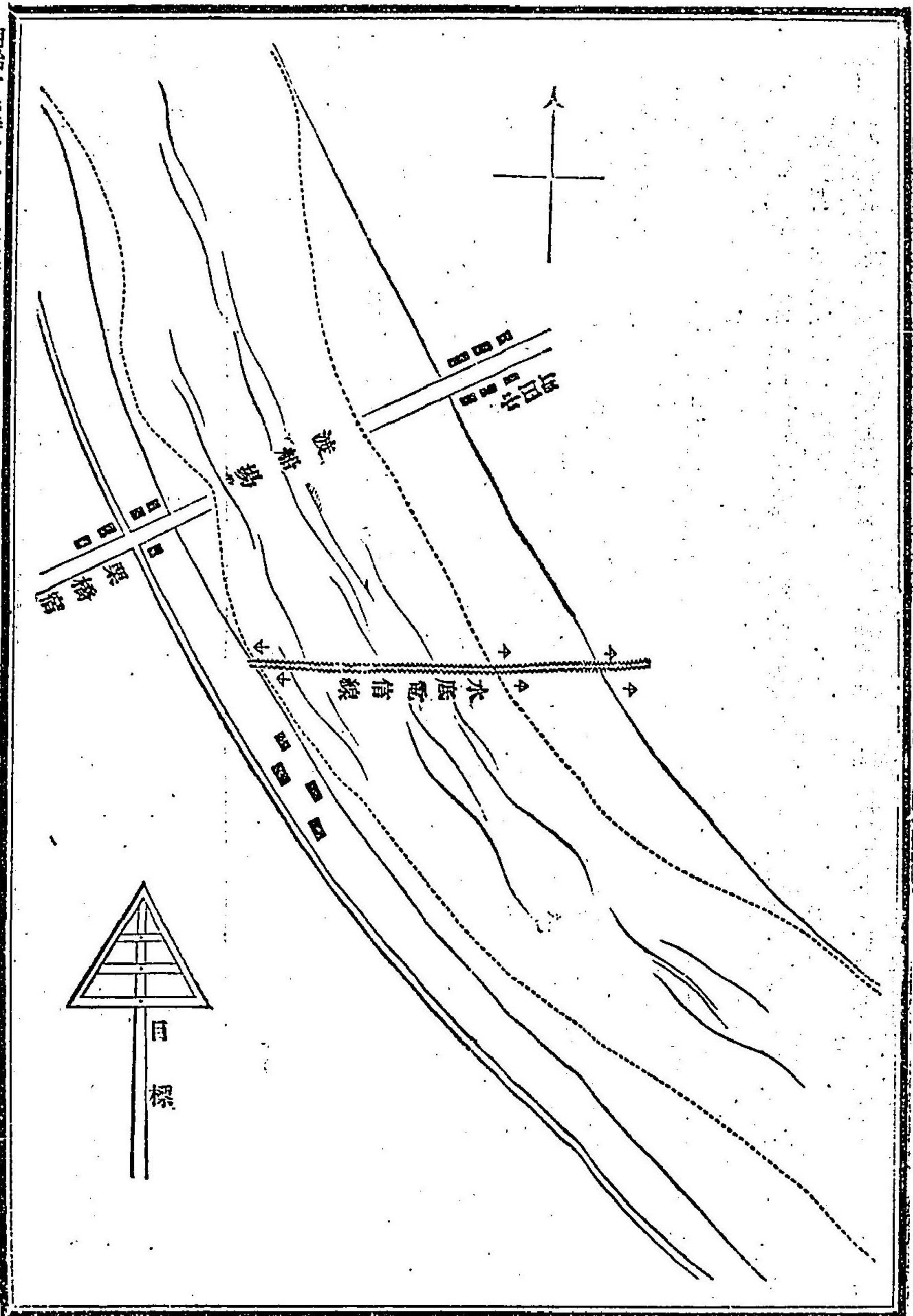
埼玉縣下武藏國北葛飾郡栗橋宿ヨリ茨城縣下下總國西葛飾郡中田町へ別紙圖面ノ通水底電信線布

設候條右線路左右各式拾間以内ニ於テ船筏ノ繫留及漁業土砂堀取等ヲ禁止ス

右布達候事

(別紙)

十八年第八號布告  
參看



○第三十一號 (十二月二十七日 農商務卿連署)  
今般第三十三號ヲ以テ布告候内國郵便往復葉書及萬國郵便聯合往復葉書ハ別紙見本ノ通トス(別紙見本)  
右布達候事

達

○第一號 (二月四日)

官省院廳府縣

官吏恩給令左ノ通相定候條此旨相達候事  
官吏恩給令

第一條 官吏恩給ハ文官勅任官奏任官判任官其本官奉職ノ年數及ヒ其年齡ニ依リ退官後之ヲ支給ス但出仕ハ本官ニ準ス

第二條 恩給ハ官吏滿十五年以上奉職シ年齡六十歳ニ至リテ退官ヲ許シタル者又ハ年齡六十歳ニ至ラスト雖モ滿十五年以上奉職シタル後廢官廢廳若クハ不治ノ疾病ニ罹リ其職ニ堪ヘサル確證アル者ニ終身之ヲ給ス  
大臣參議各省卿元老院議長參事院議長ハ滿二年以上奉職シタルノ後退官スル時ハ特旨ヲ以テ終身恩給ヲ支給スルコトアル可シ

第三條 在職滿十五年以内ト雖モ公務ニ依リ不治ノ病ニ罹リ又ハ重傷ヲ負ヒ其職ニ堪ヘス退官セシメタル者亦終身恩給ヲ支給ス

第四條 公務ニ依リ重傷ヲ負ヒ若クハ不治ノ病ニ罹リ開業醫ノ診斷書ヲ具ヘテ其職ニ堪ヘサル旨ノ當否ヲ判定ス可シ

ヲ證明スルコトヲ得ル時ハ其退官ヲ許シ在職年數ニ拘ハラズ終身恩給ヲ支給ス

第二條及ヒ前項ノ場合ニ於テ盲聾或ハ一肢以上ノ用ヲ失ヒ不治ノ症ニ罹リタル者ハ其退官ヲ命シタルト又ハ退官ヲ許シタルトニ拘ハラズ其情狀ニ依リ特旨ヲ以テ現官相當恩給ノ外ニ猶其最下金額十分ノ七迄ヲ増給スルコトアル可シ  
開業醫ノ診斷書ニ就キ疑フ可キモノアルトキハ本廳長官ハ更ニ醫員ヲ派遣シ其診斷ニ依リ事實ノ當否ヲ判定ス可シ

第五條 恩給ハ退官現時ノ俸額ニ依ル其給額ハ奉職滿十五年ニシテ俸給年額ノ四分ノ一即チ二百四十分ノ六十トシ爾後滿一年毎ニ二百四十分ノ一ヲ加ヘ滿三十五年ニ至リ二百四十分ノ八十即チ俸給年額ノ三分ノ一ニ至ツテ止ム但非職中退官スル者ト雖モ恩給ハ其在職俸給ノ年額ニ照シテ之ヲ支給ス

第二條ノ第二項並ニ第三條第四條ニ掲クル所ノ十五年未滿ノ奉職者ニ恩給ヲ支給スルコトアルトキハ其給額ハ俸給年額二百四十分ノ六十ニ當ルノ額ヲ以テス  
進級後一年未滿ニシテ退官シタル者ハ前官ノ俸給ニ依リ恩給ヲ支給ス但公務ニ起因スル傷痍疾病ノ爲メ退官シタル者ハ此限ニ在ラス

第六條 奉職滿十五年ニ起ル者ト雖モ年齡未タ六十歳ニ至ラスシテ自己ノ便宜ニ依リ退官ヲ請フ者又ハ服務紀律ニ違ヒタル者ノ諭旨退官及ヒ懲戒處分若クハ刑事裁判ニ依リ免官セシ者ハ恩給ヲ支給セス

第七條 奉職年數ノ計算ハ明治四年八月ヨリ起算ス其以後任官ノ者ハ其拜命ノ月ヨリ起算ス但年齡二十歳未滿ノ奉職年數ハ算入セス  
明治四年八月以前ヨリ奉職シタル者ハ明治四年七月ノ現官等ニ對スル月俸ノ半額ヲ以テ奉職年

第三十五號ヲ以テ第七條中刪除

十八年大政官第十  
五號達第三十三  
年法律第四十三號  
ニ依リ消滅



數ノ一箇年ニ當テ其年數ニ應スルノ金額ヲ以テ恩給支給ノ際別ニ一時賜金トシテ給與ス  
 第八條 武官ヨリ文官ニ轉シ若クハ退官後再ヒ任官シタル者ハ前官後官ノ奉職年數ヲ通算ス但御  
 用滞在中ノ年月及ヒ嘗テ滿年賜金若クハ退官一時賜金ヲ受ケタル者ノ前官年數ハ算入セス  
 第九條 恩給ヲ受クル者再ヒ官ニ就キ爾後退官ノ節其俸額前官ヨリ少キトキハ仍ホ前官ノ俸額ニ  
 依リ恩給ヲ支給ス

第十條 勅奏任官奉職中既ニ恩給ヲ受ク可キ期ニ至リタル者及ヒ其退官恩給ヲ受クル者死去セシ  
 トキ又ハ其期ニ至ラズト雖モ公務ニ依リ死去セントキハ其情狀ニ依リ特旨ヲ以テ其寡婦ニ扶助  
 料トシテ死者生存中ノ恩給年額四分ノ二以内ヲ終身支給スルコトアル可シ寡婦ナケレハ其繼嗣  
 ノ孤兒養子ヲ問ハスニ限ルハ滿二十歳ニ至ル迄之ヲ給スルコトアル可シ但寡婦ハ其本夫ノ在官中ニ入籍  
 シタル者ニ限ル

判任官ハ奉職中既ニ恩給ヲ受ク可キ期ニ至リタル者ニシテ公務ニ依リ死去セントキハ其情  
 狀ニ依リ特旨ヲ以テ本條ニ準スルコトアル可シ但其扶助料ハ寡婦ニ止マリテ孤兒父母祖父母兄  
 弟姉妹ニ及ハス

第十一條 寡婦復籍若クハ再嫁シ又ハ死去シタルトキハ其扶助料ハ更ニ繼嗣ノ孤兒二十歳未ニ給  
 滿ノ者ニ給  
 ス

扶助料ヲ受クル孤兒既ニ嫁娶若シクハ官廳ヘ奉職シ俸給ヲ受ケ又ハ諸官立學校ノ官費生徒ト爲  
 リタルトキハ其扶助料ヲ給セス

第十二條 扶助料ヲ受ク可キ寡婦孤兒ナク又ハ扶助料ヲ受ケタル寡婦復籍若クハ再嫁シテ孤兒ナ  
 ク尙ホ從來死者ニ依リテ生活セル父母又ハ祖父母アリテ他ニ之ヲ奉養スルノ子孫ナキトキハ其  
 情狀ニ依リ特旨ヲ以テ寡婦ニ相當セル扶助料三分ノ二以内ヲ終身支給スルコトアル可シ

十八年大政官第四  
十二號達ヲ以テ第  
二項改正

第十三條 其扶助料ハ父母祖父母共ニ存在スルトキハ先ツ之ヲ父ニ給シ其父死歿若クハ其恩典ヲ  
 失フコトアレハ轉シテ之ヲ母ニ給ス以下其母ヨリ祖父ニ祖父ヨリ祖母ニ順次此例ニ依リ之ヲ轉  
 給ス可シ但父及ヒ祖父ハ年滿五十歳以上其未滿ハ癡疾又ハ不具ニシテ產業ヲ營ムコト能ハサル  
 者又母及ヒ祖母ハ夫ナキ者孰レモ本人死歿ノ際年滿五十歳以上ニシテ其戶籍ニ在リシ者ニ限ル

第十四條 扶助料ヲ受ク可キ寡婦孤兒又ハ父母祖父母ナクシテ從來死者ニ依リ生活セル二十歳未  
 滿又ハ二十歳以上ト雖モ癡疾不具ノ兄弟姉妹アリテ之ヲ教育スルノ親族ナキ者ハ其情狀ニ依リ  
 特旨ヲ以テ寡婦ニ相當セル扶助料一箇年分ヨリ少カラズ五箇年分ヨリ多カラサル額ヲ一時限リ  
 支給スルコトアル可シ

第十五條 恩給ハ在官者退官ノ翌月ヨリ支給ス扶助料ハ恩給ヲ受ケ又ハ受ク可キ者死去ノ翌月ヨ  
 リ支給ス其轉給スル者亦同シ

第十六條 恩給及ヒ扶助料ノ給否ハ本屬長官若クハ其所管地方長官ノ證明ニ依リ恩給局ノ審査ヲ  
 經テ太政大臣之ヲ裁定ス  
 恩給及ヒ扶助料ノ給與ニ關シ若シ穩當ナラサル廉アルコトヲ覺知シタル者ハ之ヲ其本屬長官若  
 クハ地方長官ニ請願シ而シテ猶ホ穩當ノ指令ヲ得サルトキハ本人ヨリ直ニ之ヲ太政官恩給局ニ  
 請願スルコトヲ得但之ヲ裁判所ニ訴フルコトヲ許サス

第十七條 恩給若クハ扶助料ヲ給スル本人ニハ太政官ヨリ其證書ヲ下付ス

第十八條 恩給ヲ受クル者公權ヲ剝奪セラレタルトキハ全ク之ヲ止メ又左ノ各項ニ該ルトキハ其  
 時間ノミ之ヲ停ム  
 一 公權ヲ停止セラレタル時  
 二 再ヒ官ニ就キ俸給ヲ受クル時

三事故アリテ日本人タルノ分限ヲ失フ時

四政府ノ許可ナクシテ日本國外ニ出タル時

第十九條 扶助料ヲ受クル者禁錮以上ノ刑ニ處セラルトキ又ハ第十八條ノ第三項若クハ第四項ニ該ルトキハ之ヲ止ム

第二十條 恩給ヲ支給ス可キ退官者アルトキハ本屬長官ハ本人ノ履歷書其傷疾疾病ニ起因スルモ

ノハ其證書ヲ具シ且事實ヲ證明シテ之ヲ太政官ヘ進達シ以テ恩給ノ下付ヲ請求ス可シ

第二十一條 扶助料ヲ願ハントスル者ハ本人主名ヲ以テ親族二名後見人アルハ其親族ナキトキハ

同郷ノ戸主二名連署セシ願書ニ其戸籍ノ寫ノ恩給若クハ扶助料給與ノ證書アル者ハ其證書又公務ニ依リ死亡セル者ハ其

原因症候等照査ニ供ス可キ證據書ヲ添ヘ之ヲ所管地方廳ニ出願ス可シ地方長官ハ其實實ヲ證明

シテ之ヲ太政官ニ進達シ以テ扶助料ノ下付ヲ請求ス可シ但一箇年經過ノ後出願スル者ハ之ヲ受

理セズ

第二十二條 恩給若クハ扶助料ノ支給ヲ止ムルトキハ恩給局ヨリ所管地方廳ニ達シ二週日以内ニ

其給與ノ證書ヲ收メシム又恩給若クハ扶助料ヲ受クル者死去又ハ除籍シ扶助料ヲ繼受スル者ナ

キトキハ遺族若クハ親屬ヨリ其死亡又ハ除籍ノ證書ヲ添ヘ一箇月以内ニ之ヲ所管地方廳ニ届出

テ該長官ハ事由ヲ具シ其證書ト共ニ之ヲ恩給局ニ進達ス可シ

第二十三條 恩給及ヒ扶助料ノ金額ハ毎年六月十二月ニ於テ其前半年分半年ニ滿タサルモノヲ大

藏省ヨリ本人所在ノ地方廳ヲ經由シテ之ヲ交付ス

第二十四條 恩給若クハ扶助料ノ金額ヲ受領セントスル者ハ其證書及ヒ本人生存證書ヲ表證シ別

ニ受領證書ヲ差出ス可シ

第二十五條 恩給若クハ扶助料ヲ受クル者其金額受領ノ地ヲ轉セントスルトキハ金額交付期月ノ

二十一年間令第二十條ヲ以テ第二十二條別除

第三十五號達ヲ以テ第二十九條第三十條追加

十八年内閣第七十六號達ヲ以テ廢止

十八年大政官第二十九號達ヲ以テ文中改正  
十九年閣令第一號  
大藏省令第十七號  
參看

三個月前ニ其所在ノ地方廳ニ願出可シ若シ其期ヲ過クル者ハ仍ホ元所在地ニ於テ之ヲ交付ス  
第二十六條 恩給並ニ扶助料ハ一個年以上其受領ヲ請求セサルトキハ其時間ノ金額ハ支給セズ  
第二十七條 恩給並ニ扶助料ニ關スル願書ハ郡區長戸長證書ハ戸長ノ奥印ヲ要ス  
第二十八條 盜難若クハ水火災等ニテ恩給若クハ扶助料給與ノ證書ヲ失ヒタルトキハ速ニ所管地方廳ヲ經テ恩給局ニ其旨届出可シ

官省院廳府縣

○第二號 (二月四日)  
太政官中ニ恩給局ヲ設置シ職制左ノ通相定候條此旨相達候事

恩給局職制

長官一員 二等官

恩給ノ支給方法ヲ管理シ陸軍海軍並ニ官吏一般ノ恩給ニ關スル事務ヲ掌ル

局中官員奏任官以上ノ進退ヲ具狀シ判任官以下ハ之ヲ專行ス

主事一員 四等官

長官ヲ輔テ事務ヲ施行シ長官事故アルトキハ其代理者タルヲ得

書記官二員 四等官相當ヨリ  
七等官相當ニ至ル

長官ノ命ヲ受ケ其事務ヲ幹理ス

屬二員

上官ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス

○第三號 (二月四日)  
官省院廳府縣

官吏非職條例左ノ通相定候條此旨相達候事

官吏非職條例

第三十九號達ヲ以テ第一條中廢止以下六條刪除十八年大政官第六十九號達參看

第一條 官吏判任官以上位ニ出仕奉職中廢廳廢官又ハ各官廳ノ事務張弛其他疾病等ノ事故ニ因リ本屬長官ハ其僚屬ノ官吏ニ非職ヲ命スルコトヲ得但勅任官ノ非職ハ上裁ニ依リ奏任官ハ太政大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ命ス

第二條 非職員ハ其本官ヲ奉シテ常ニ其職務ニ從事セシ其他總テ在職官吏ニ異ナルコトナシ

第三條 本屬長官ハ事務ノ都合ニ依リ何時ニテモ非職員ヲシテ更ニ其職務ニ從事セシムルコトヲ得

非職員復職スルトキ勅任官ハ上裁ニ依リ奏任官ハ太政大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ命ス

第四條 非職ハ三年ヲ一期トス期滿レハ其官ヲ免ス

第五條 非職中ノ俸給ハ現俸三分ノ一ヲ支給ス

第六條 廢廳廢官ノ際御用滞在ヲ命スル者アルトキハ本條例ニ準據ス

第七條 非職員ハ特ニ本屬長官ノ許可ヲ得テ地方病院學校及農工商陸海運輸等會社ノ業務ニ從事シ其役員ト爲ルコトヲ得

第八條 非職員ハ特ニ本屬長官ノ許可ヲ得テ市町村及學校病院會社其他法人ノ業務ニ從事シ其役員ト爲ルコトヲ得

本屬長官ハ其非職員ノ勅任官ニ係ルモノハ上裁ニ依リ奏任官ニ係ルモノハ太政大臣ノ許可ヲ經テ之ヲ許可ス

第九條 非職中第七條ノ業務ニ從事シ其給料ヲ受ルノ時間ハ第五條ノ俸給ヲ支給セシ

第十條 陸海軍大將滿貳年以上在官ノ者退職若クハ死亡スル時ハ特旨ヲ以テ恩給ヲ支給スルコトアル可シ

官省院廳府縣

○第四號 (一月四日)

陸海軍大將滿貳年以上在官ノ者退職若クハ死亡スル時ハ特旨ヲ以テ恩給ヲ支給スルコトアル可シ

官省院廳府縣

○第四號 (一月四日)

陸海軍中將少將並ニ同等ノ軍人ニシテ特別ノ功績アル者ハ服役實期十一年未滿ト雖特旨ヲ以テ恩給ヲ支給スルコトアル可シ

二十年勅令第四十七號ヲ以テ三項以下改正

陸海軍中將少將並ニ同等ノ軍人ニシテ特別ノ功績アル者ハ服役實期十一年未滿ト雖特旨ヲ以テ恩給ヲ支給スルコトアル可シ

陸海軍武官ヨリ文官ヲ兼任スル者武官現役十一年以上十五年以上十五年以上二十年以上二十年以上二十五年以上二十五年以上三十年以上三十年以上三十五年以上三十五年以上四十年以上四十年以上四十五年以上四十五年以上五十年以上五十年以上五十五年以上五十五年以上六十年以上六十年以上六十五年以上六十五年以上七十年以上七十年以上七十五年以上七十五年以上八十年以上八十年以上八十五年以上八十五年以上九十年以上九十年以上九十五年以上九十五年以上

ハ死亡スル時ハ陸海軍恩給令ニ依リ恩給ヲ支給シ其現役滿十五年以上ノ者ニハ本兼官ノ内ニテ其俸給ノ多キ額ニ就テ恩給ヲ支給ス可シ

恩給金額ノ增加年數ニ依リ及寡孀孤兒トニ轉給スルコトハ總テ陸海軍恩給令ノ例ニ依リ右相達候事

○第五號 (一月四日)

官省院廳府縣

月俸規則第二十二條ヲ廢シ更ニ左ノ兩條追加候條此旨相達候事

第二十二條 官吏滿五年以上十五年未滿奉職ノ者死去又ハ廢官廢廳若クハ職官退官セシメタルトキハ左ノ金額ヲ一時限リ支給ス可シ但恩給ヲ受クル者及ヒ等外吏御用掛履又ハ罪ヲ犯シ官職ヲ失フ者並ニ懲戒ニ因リ免官ノ者ハ之ヲ支給セシ

滿五年以上十年未滿ニシテ死去又ハ退官ノ者 現俸給 三個月分

滿十年以上十五年未滿ニシテ死去又ハ退官ノ者 同 四個月分

第二十三條 等外吏奉職滿五年以上ニシテ死去又ハ退官シタルトキハ其月俸半額ヲ以テ奉職年數ノ一個年ニ當テ勤績年數ニ應スルノ金額ヲ一時限リ支給ス可シ但犯罪若クハ懲戒ニ因リ免官ノ者ハ之ヲ支給セシ

○第六號 (一月四日)

官省院廳府縣

旅費定則中左ノ通改正候條此旨相達候事

第五章第二項中(及ヒ免職歸郷)ノ六字ヲ刪ル

官省院廳府縣

○第六號 (一月四日)

旅費定則中左ノ通改正候條此旨相達候事

第五章第二項中(及ヒ免職歸郷)ノ六字ヲ刪ル

官省院廳府縣

○第六號 (一月四日)

旅費定則中左ノ通改正候條此旨相達候事

第五章第二項中(及ヒ免職歸郷)ノ六字ヲ刪ル

官省院廳府縣

○第六號 (一月四日)

旅費定則中左ノ通改正候條此旨相達候事

第五章第二項中(及ヒ免職歸郷)ノ六字ヲ刪ル

官省院廳府縣

○第六號 (一月四日)

旅費定則中左ノ通改正候條此旨相達候事

第五章第二項中(及ヒ免職歸郷)ノ六字ヲ刪ル

官省院廳府縣

○第六號 (一月四日)

旅費定則中左ノ通改正候條此旨相達候事

第五章第二項中(及ヒ免職歸郷)ノ六字ヲ刪ル

官省院廳府縣

第七章

地方在勤ノ者免職ノ節復命セシムル時ハ其地ヨリ復命スル地迄ハ前官相當ノ旅費ヲ給ス  
第九章第二項中(並罷免)ノ三字及(但)以下四十六字ヲ刪ル

二十一年勅令第九十一號ヲ以テ條列廢止

同上

第十七號達ヲ以テ第三十五號達廢止

二十二年法律第十七號ニ依リ消滅

十八年大政官第六十九號達ニ依リ大政官達第七十二號

同内閣第七十二號達ヲ以テ文書局ヲ廢シ以テ文書局ノ事務ハ内閣書記局ノ主管トス

○第七號 (一月四日)

官省院廳府縣

明治十年二月 第貳拾五號達陸軍將校免職條例第二十條第三十五條刪除候條此旨相達候事

官省院廳府縣

○第八號 (一月四日)

府 縣

明治十五年六月 第三拾四號達海軍將校免職條例第二十八條刪除候條此旨相達候事

府 縣

○第九號 (二月四日)

府 縣

明治十一年八月 第三拾五號達府縣官任期例中第三項刪除候條此旨相達候事

警視廳 府縣東京府

本年第壹號布告ニ據リ懲罰ニ處シタル賭博犯人ハ明治十四年九月 第八拾壹號達監獄則第一條第五項 禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ニ準シ服役其他ノ方法共總テ該則ニ依テ處分スヘシ此旨相達候事

官省院廳

○第十號 (二月二十一日)

但取扱手續左ノ通可心得事

官省院廳

一官省院廳ノ書籍地方ニ在ルハ一切文庫へ蒐集ス但陸海軍省用書籍及各省附屬ノ圖書館博物館並 學校用書籍其他譯書記録類ニ屬スル日常必要ノ書冊ハ此限ニアラス尤此種ノ書籍ニ至ル迄其書 目ハ詳細太政官ニ届出ツヘキ事

一文庫ハ太政官内ニ設立可相成ニ付落成迄各官廳從來所藏ノ書籍ハ其官廳ニ預リ置クヘキ事

一各官廳ニ於テ今後新ニ書籍購入致度分ハ太政官へ請求可致但代價ハ當分其官廳ノ支出タルヘキ事  
一借覽其他詳細ノ手續ハ文書局へ打合スヘキ事  
○第十二號 (二月二十六日) 府 縣東京府

明治十五年二月 第拾三號達警部長以下正帽正服制表圖式ノ通改正候條此旨相達候事

警部長以下正帽正服制表圖式

府 縣東京府

官等	帽	襟	袖	袴	鈕	釦	地色
警部長	前章金日章 徑一寸五分 橫線金幅五分二條	金幅 五分一條	金幅 五分二條	金幅 三分二條	金日章 徑七分 數定限ナシ	紺	紺
警部	同 眞鍮 橫線金幅二分三條	銀幅 五分一條	銀幅 五分一條	銀 五分一條	同	同	同
警部補	同 眞鍮 橫線金幅二分二條	同 五分一條	同 五分一條	同 五分一條	同	同	同

(正改)

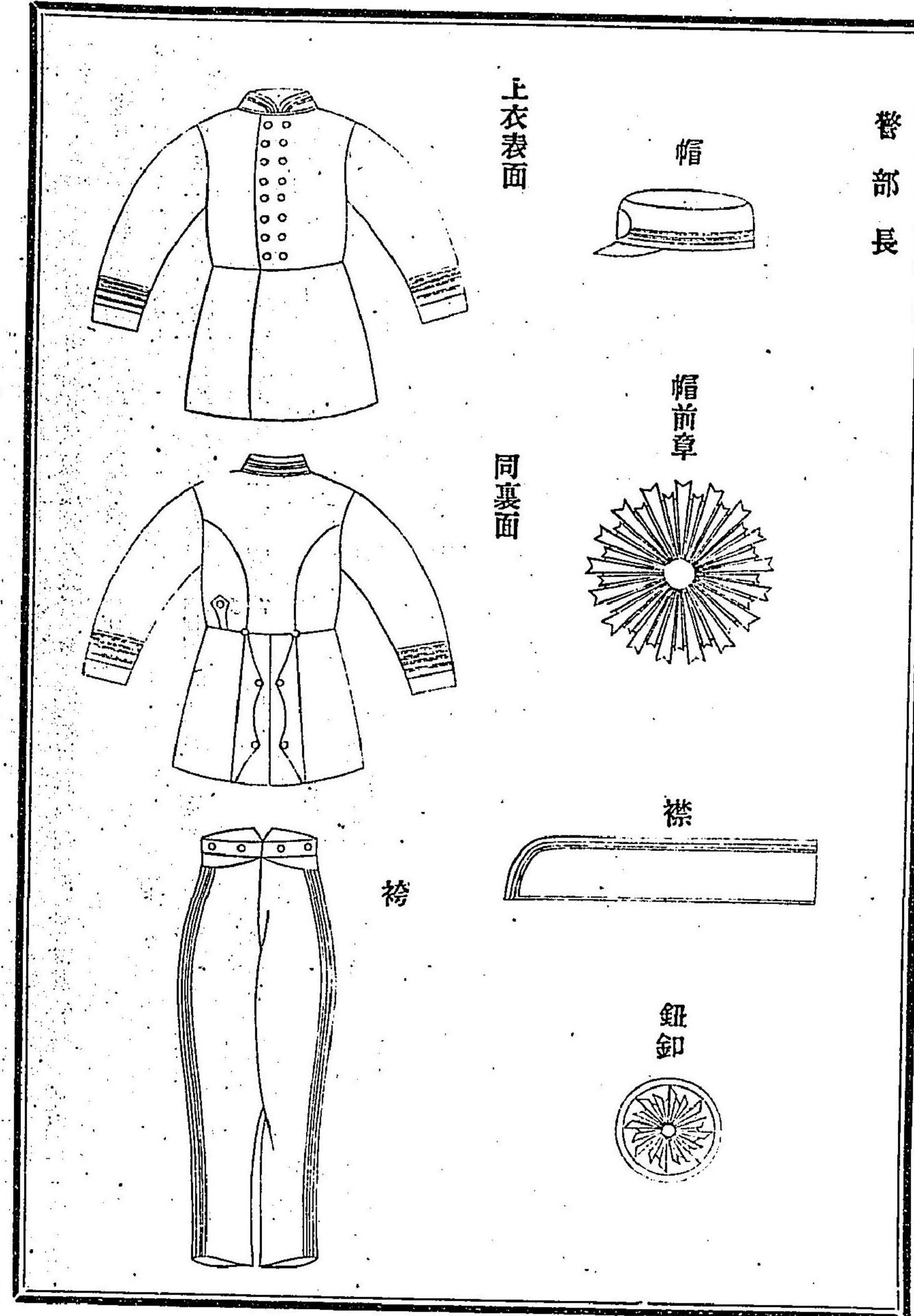
警部	帽	襟	袖	袴	鈕	釦	地色
警部	前章金日章 徑一寸五分 橫線金幅二分三條	銀 三分一條	銀 五分一條	銀 五分一條	金日章	紺	紺
警部補	同 眞鍮 橫線金幅二分二條	同 三分一條	同 五分一條	同 五分一條	同	同	同

凡例

一正服ハ大禮服並通常禮服ニ適用スルモノトス  
一監臨檢視又ハ出火其他非常ノ場合ニ在テハ便宜正帽ノミヲ用フルヲ得

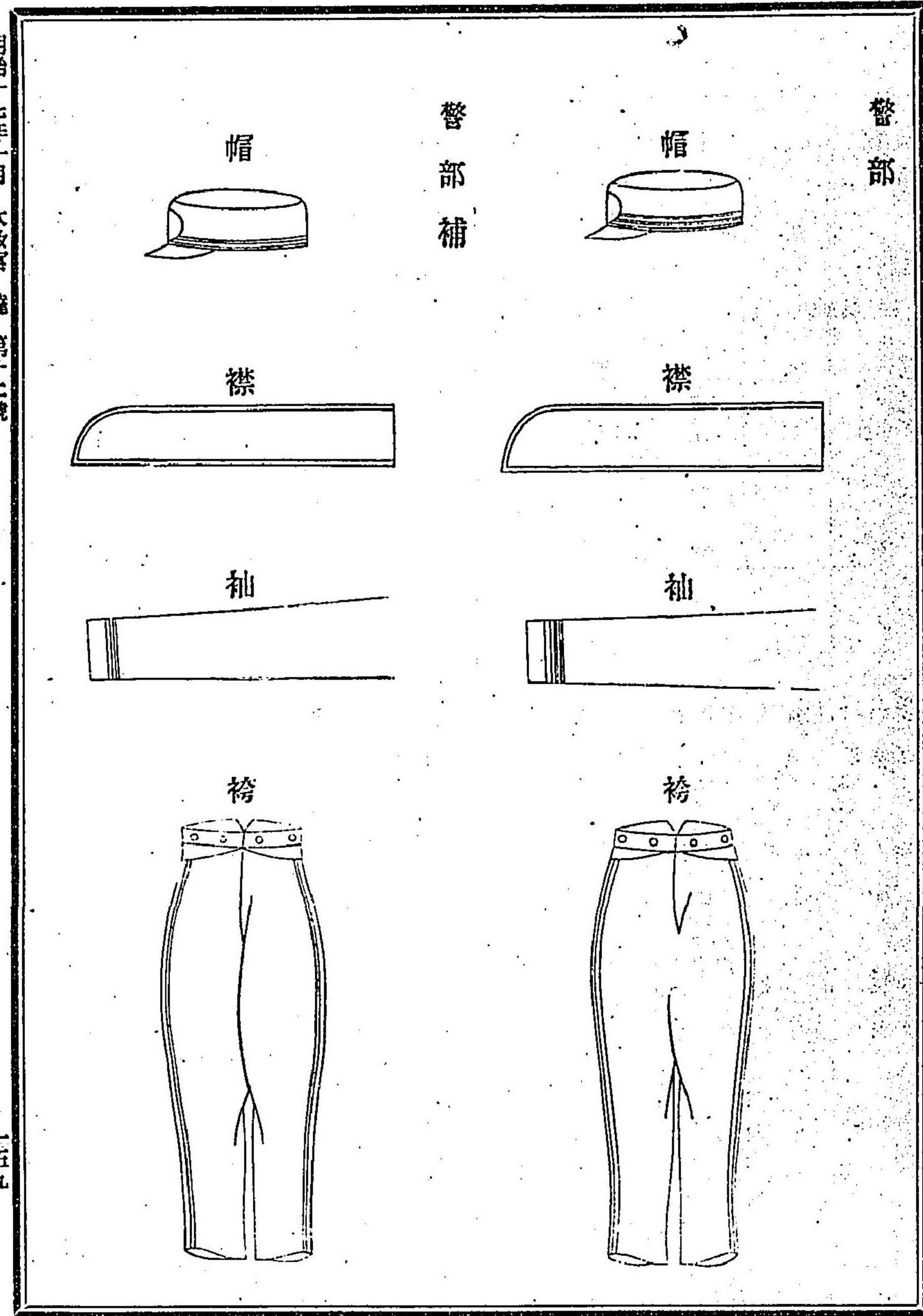
十八年大政官第五十九號達ヲ以テ表正中警部以下被章改

警部長



警部

警部補



十八年大政官第二十一號達ニ依リ消

明治十七年一月 大政官 達 第十三號

○第十三號 (二月三十一日)  
 七軍管疆域左表ノ通改定候條此旨相達候事  
 但軍管疆域ニ關シ左表ニ矛盾スルモノハ總テ廢止ト心得ヘシ

官省院廳府縣

一六〇

七軍管疆域表		軍管	鎮	師	管	所	分	管	陸	海	要	塞
第	三	第	二	第	一	第	一	第	二	第	一	第
大	屋	古	名	仙	京	東	東	東	佐	東	高	高
七	六	五	四	三	二	一	一	二	一	一	一	一
大	金	名	青	仙	佐	東	東	佐	東	高	高	高
大	津	澤	森	森	倉	京	京	倉	倉	高	高	高
大	津	澤	森	森	倉	京	京	倉	倉	高	高	高
大	津	澤	森	森	倉	京	京	倉	倉	高	高	高
近山	加尾	志信	羽陸	岩陸	下安	武	伊	武	伊	武	伊	武
江城	賀張	津渡	後前	代前	野房	野房	豆	豆	豆	豆	豆	豆
伊賀	能登	紀伊	陸中	越後	野房	野房	野房	野房	野房	野房	野房	野房
和泉	越飛	伊勢	陸中	越後	野房	野房	野房	野房	野房	野房	野房	野房
和泉	越飛	伊勢	陸中	越後	野房	野房	野房	野房	野房	野房	野房	野房

十九年勅令第二號ニ依リ消滅

○第十四號 (二月三十一日)  
 明治十四年十一月十九日第九拾四號達諸省事務章程通則第十條左ノ通改正候條此旨相達候事  
 第十條 各省卿事故アルトキハ臨時命ヲ受ケテ他ノ省卿其事務ヲ管理スヘシ  
 ○第十五號 (二月五日)  
 明治十三年四月第貳拾六號達廢止候條此旨相達候事  
 官省院廳府縣

考 備	七 第	六 第	五 第	四
本表中空位ノ部分ハ追テ撰定ヌ可キモノトス		本 熊	島 廣	阪
		二十第	十第	八第
	小倉	熊本	松山	姫路
	福岡		丸龜	
	北見	肥前	阿波	石安
	根室	豐後	讚岐	備前
	千島	筑前	伊豫	美丹
	十勝	筑後	土佐	備後

明治十七年一月二日 大政官 達 第十四號 第十五號

一六一

十九年勅令第五十四號ニ依リ消滅

明治十七年二月 大政官 達 第十六號 第十七號 第十八號 第十九號

○第十六號 (二月六日)

明治十一年七月 第三拾貳號 達 府縣官職制中左ノ通追加候條此旨相達候事

府 縣

知事 一人

令 一人

初任月俸貳百圓其治績ヲ考ヘ職ニ稱フ者ハ滿三年毎二月俸五拾圓ヲ加ヘ滿九年ニ至リ月俸三百五拾圓ヲ給シ勅任トス

第一 府知事縣令云々

○第十七號 (二月六日)

明治十一年八月 第三拾五號 達 相廢候條此旨相達候事

府 縣

十九年勅令第五十五號ニ依リ消滅

○第十八號 (二月七日)

警部長ト奏任郡區長トノ席次左ノ通相定候條此旨相達候事

府 縣

警部長ハ奏任郡區長<sup>東京府區ノ上席トス</sup>ヲ除ク

○第十九號 (二月二十二日)

明治九年六月 第六拾四號 達 旅費定則 第九章 旅費定則

官省院廳府縣

第九章

一 御用掛<sup>准委任</sup> 准委任<sup>准等外</sup> ハ各其本官ニ準シテ支給シ無等ノ出仕又ハ術業其他備抱等ノ名義ヲ以テ出仕セシ

十九年勅令第二號 第三十八號ニ依リ消滅

ムル者ハ月俸金額ノ多寡ヲ以テ左ノ通支給スヘシ  
以下從前ノ通

○第二十號 (二月二十六日)

明治十六年十一月 第五拾三號ヲ以テ相達候大阪府下憲兵來ル三月一日ヨリ勤務執行セシメ候條此旨相達候事

官省院廳府縣

○第二十一號 (二月二十七日)

海軍省中ニ工手監護ヲ置キ等級左表ノ通相定候條此旨相達候事

官省院廳府縣

工 手 監 護 等 級 表		外	
一等工手	二等工手	三等工手	工手補
一等監護	二等監護	三等監護	四等監護

○第二十二號 (二月二十九日)

明治十六年三月 第三拾七號 達 金銀木杯金圓賜與手續第二條中拾圓未滿ノ項ニ左ノ但書追加候條此旨相達候事

官省院廳府縣

但書圓未滿ハ褒詞ヲ以テ褒狀ニ換フルコトアルヘシ

○第二十三號 (三月十七日)

今般宮中ニ制度取調局ヲ設置候條此旨相達候事

官省院廳府縣

○第二十四號 (三月十九日)

八等官相當判事檢事及判任官十六等十七等官大禮服飾章左ノ通相定候條此旨相達候事

官省院廳府縣

十八年勅令第三十一號 達ヲ以テ廢止  
十九年勅令第三十六號ヲ以テ判任官官等改正同第四十號ニ依リ八等官相當判事檢事消滅

明治十七年二月 大政官 達 第二十號 第二十一號 第二十二號 第二十三號 第二十四號

八等官相當

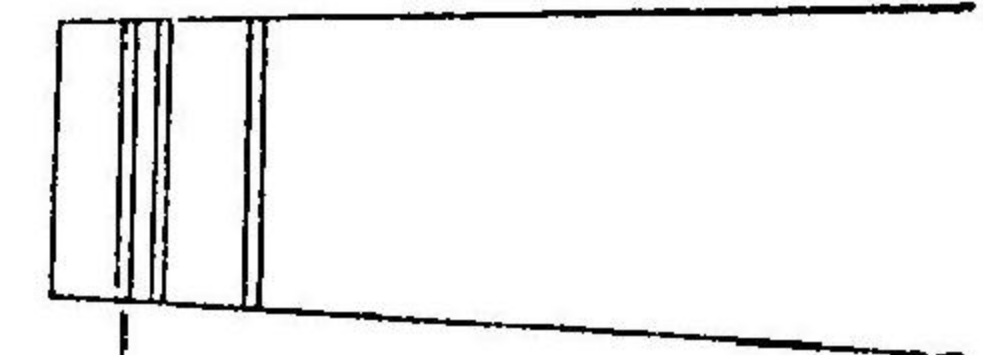
判任

同

判事  
檢事

十六等官

十七等官



飾章(藍色等)  
線五厘(委任一般)  
例ニ從フ



五三桐表各二個(唐草ヲ  
附セテ)  
線無之



五三桐表各一個(唐草ヲ  
附セテ)  
同

十九年宮内省達第一號ニ依リ消滅

○第二十五號 (三月二十一日)

官省院廳府縣

宮内省中侍從長侍從侍補ヲ廢シ更ニ侍從職ヲ被置官等左ノ通被定候條此旨相達候事

侍從長勅任 一等相當

侍從 奏任 自四等相當

內暨 奏任 至七等相當

○第二十六號 (三月二十二日)

官省院廳府縣

明治十年七月第五拾號達各廳爲換方命令書案第十七條中爲換切符ノ儀自今送金手形ト改稱候條此旨相達候事

○第二十七號 (三月二十四日)

內務省 警視廳 府縣(東京府)

軍人軍屬賭博犯處分ノ儀ニ付左ノ通陸海軍兩省へ相達候條爲心得此旨相達候事

陸軍省 海軍省

二十二年法律第十七號ニ依リ消滅

海軍省丙第六十八號達參看

明治十七年三月二十四日

太政大臣三條實美

○第二十八號 (三月二十九日)

官省院廳府縣

明治十四年四月第三十四號達歲入科目中郵便稅ノ次へ訴訟用印紙料ノ大科目ヲ增加ス

但訴訟野紙諸稅ノ大小科目トモ十七年度ヨリ刪除ス

右相達候事

○第二十九號 (四月一日)

官省院廳府縣

海軍裁判所被廢候條此旨相達候事

○第三十號 (四月二日)

官省院廳府縣

明治十四年九月第八拾壹號達監獄則第二十七條左ノ通改正候條此旨相達候事

第二十七條 假出獄ヲ許サレタル者ニハ證票ヲ與ヘ最近ノ警察署へ護送スヘシ

監署ニ領置セシ金錢ハ出獄者ニ携帶セシメス其金員ヲ錄シテ居住スヘキ地ノ警察署ニ送致ス

其居住スヘキ地ノ隔遠スル者ニハ途中支用トシテ前項ノ金員若干ヲ交付スヘシ

○第三十一號 (四月十二日)

官省院廳府縣

皇居御造營事務局中總裁副總裁自今被廢候條此旨相達候事

二十年宮内省達第七號ヲ以テ皇居御造營事務局廢止

明治十七年三月四月 大政官 達 第二十八號 第二十九號 第三十號 第三十一號

一六五



二十年宮内省選第  
七號ヲ以テ皇居御  
造管事務局廢止  
十九年宮内省選第  
一號ニ依リ消滅

十八年大政官第七  
十一號ニ依リ消  
滅

○第三十二號 (四月十二日)

皇居御造營事務局自今宮内省直轄ニ被付候條此旨相達候事

官省院廳府縣  
官省院廳府縣

○第三十三號 (四月二十一日)

宮内省中内藏寮ヲ被置官等左ノ通被定候條此旨相達候事

- |       |     |            |     |
|-------|-----|------------|-----|
| 内藏頭   | 二等  | 内藏權頭ヲ置アレハ之 | 四等  |
| 内藏助   | 五等  | 内藏權助ヲ置アレハ之 | 六等  |
| 内藏一等屬 | 八等  | 内藏二等屬      | 九等  |
| 内藏二等屬 | 十等  | 内藏四等屬      | 十一等 |
| 内藏三等屬 | 十二等 | 内藏六等屬      | 十三等 |
| 内藏四等屬 | 十四等 | 内藏八等屬      | 十五等 |
| 内藏七等屬 | 十六等 | 内藏十等屬      | 十七等 |
| 内藏九等屬 |     | 官省院廳府縣     |     |

○第三十四號 (四月二十二日)

參事院章程左ノ通改正候條此旨相達候事

參事院章程

- 第一條 參事院ハ太政官ニ屬シ内閣ノ命ニ依リ法律規則ノ草定審査ニ參預スルノ所トス
- 第二條 參事院ノ職員ハ議長一人副議長一人議官及議官補員外議官補トス
- 第三條 議官ノ中議長ノ命ヲ以テ部長六人ヲ置キ各部ノ事務ヲ提理ス
- 第四條 議官補ハ各部ニ分屬シ議案ヲ造リ及會議ニ列シ本案ノ趣旨ヲ辨明ス
- 第五條 員外議官補ハ諸省書記官ノ中ヲ以テ兼テ之ニ充ツ本職主任ノ件ニ限り臨時議事ニ列席ス

第六條 書記官ハ議官補ノ中ヲ以テ之ニ充テ内局ノ事ヲ幹ス

第七條 參事院ノ事務左ノ如シ

- 第一 本院ハ内閣ノ命ニ因リ法律規則案ヲ起草シ理由ヲ具ヘテ内閣ニ上申ス
- 第二 各省ヨリ上稟スル所ノ法律規則案ヲ審按シ意見ヲ具ヘ或ハ修正ヲ加ヘ内閣ニ上申ス
- 第三 元老院ニ於テ議決スル所ノ法案ヲ審査シ時宜ニ依リ意見書ヲ具ヘテ内閣ノ命ヲ請ヒ元老院ノ再議ヲ求ムルコトヲ得或ハ内閣ノ命ニ依リ本院ノ委員ヲ差シ元老院ト叶議スルコトヲ得
- 第四 省院廳府縣ヨリ上稟シタル諸般ノ文書ヲ内閣ヨリ下付スルトキハ意見ヲ具ヘテ上申ス
- 第五 各省ノ年報及諸般ノ報告ヲ勘査ス
- 第八條 前條ノ外參事院ハ仍ホ左ノ事務ヲ行フ
  - 地方議會ト地方官トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ爭フコトアルトキハ之ヲ審理ス
- 第九條 議官議官補及員外議官補ハ内閣ノ命ニ依リ内閣委員トナリテ元老院ニ出頭シ議案ヲ辨明スルコトアルヘシ
- 第十條 本院中左ノ事務ヲ分掌スル爲メニ内局及六部ヲ置ク
  - 内局 院中ノ庶務及圖書ノ事
  - 外務部 外交ノ事
  - 内務部 内治勸業工業教育ノ事
  - 軍事部 陸海軍ノ事
  - 財務部 歲出歲入及國債貨幣租稅ノ事

司法部 恩赦特典及裁判ノ章程權限並行政裁判ノ事

法制部 民法訴訟法商法刑法治罪法ノ事

第十一條 本院ノ議事ハ分テ部會議總會ノ二類トス部會議ハ一部ノ議官議官補會議シ若シ兩部以上關係アル議案ニ就テハ兩部以上ノ議官議官補聯合會議スルモノトス總會ハ六部ノ議官議官補共同會議スルモノトス

第十二條 法律及外國條約案ニ係ルモノハ總會ヲ用フヘシ其他議長ニ於テ重要事件ト思惟スルモノハ總會之ニ準スヘシ

第十三條 部會議ノ成案ニ就キ議長ニ於テ異見アルトキハ更ニ總會ニ付スヘシ

第十四條 總會ニ於テ議長事故アリテ闕席スルトキハ副議長上席スヘシ議長副議長共ニ事故アリテ闕席スルトキハ議長ノ撰ヲ以テ假ニ上席人ヲ定ムヘシ

第十五條 部會議ニ於テ部長事故アリテ闕席スルトキハ該部長ノ撰ヲ以テ假ニ上席人ヲ定ムヘシ

第十六條 凡ソ會議ニ上席スルモノハ議事可否共ニ多數ヲ得サルトキニ當リ判決ノ權ヲ有ス

第十七條 内閣へ上申スルモノハ總會議長ノ名ヲ以テスヘシ

○第三十五號 (四月二十五日)

官省院廳府縣

本年一 第壹號達官吏恩給令中左ノ通刪除及ヒ追加候條此旨相達候事

第七條中(恩給支給ノ際)ノ六字ヲ刪ル

第二十九條 官吏滿五年以上奉職ノ者十一年未滿ニシテ退官セン時ハ現俸給三個月分ヲ給シ其滿十一年以上十五年未滿ニシテ同上ノ者ニハ現俸給四個月分ヲ給ス但恩給ヲ受ル者並ニ自己ノ便宜ニ依リ退官ヲ請フ者又ハ服務紀律ニ違ヒタル者ノ諭旨退官及ヒ懲戒處分若クハ刑事裁

二十三年法律第四十三號ニ依リ消滅

十九年勅令第六號第三十六號ニ依リ第三十條消滅

二十三年法律第四十五號ニ依リ消滅

同上

判ニ依リ免官セシ者ニハ總會之ヲ給セス

第三十條 官吏在官中死去ノ者ハ現俸給ニケ月分ヲ給ス

○第三十六號 (四月二十五日)

官省院廳府縣

本年一 第五號達月俸規則第二十二條相廢候條此旨相達候事

○第三十七號 (四月二十五日)

官省院廳府縣

明治十六年九 第三拾七號達陸軍恩給令中左ノ通更正候條此旨相達候事

第三條中(會計卒者病卒樂生)ノ八字ヲ刪リ(憲兵卒)ノ下(雜卒諸工)ノ四字ヲ加フ

第十六條中(監軍部長)ノ上(檢閱)ノ二字ヲ加フ

第五十一條中(若クハ扶助料)ノ六字ヲ刪ル

乙號表面中(卒)ノ上ニ(證)ノ一字ヲ加フ

丁號表面中(死亡)ノ下ニ(者)ノ一字ヲ加フ

官省院廳府縣

○第三十八號 (四月二十五日)

明治十六年九 第三拾八號達海軍恩給令中左ノ通更正候條此旨相達候事

第五十一條中(若クハ扶助料)ノ六字ヲ刪ル

丁號表面中(死亡)ノ下(者)ノ一字ヲ加フ

官省院廳府縣

本年一 第三號達官吏非職條例第一條中(廢廳廢官又ハ)ノ六字ヲ刪除シ左ノ一條追加候條此旨相達候事

第六條 廢廳廢官ノ際御用滞在ヲ命スル者アルトキハ本條例ニ準據ス

○第四十號 (五月六日)

內務省 陸軍省 司法省

十九年勅令第五十七號ニ依リ消滅

明治十七年四月五日 大政官 達 第三十六號 第三十七號 第三十八號 第三十九號 第四十號

警視廳 府 縣

明治十二年十月 第五拾貳號 陸軍檢閱條例中左ノ通改正候條此旨相達候事

第一條 審ニシノ下ニ出師準備ノ整否ヲ監シノ十字ヲ加フ

第二條 六軍管ヲ七軍管ニ改メ 裁判所ヲ憲兵本部ニ改ム

同條東部中第二軍管ノ下ニ第七軍管ノ四字ヲ加ヘ 衛戍ノ下ニ憲兵隊ノ三字ヲ加フ

同條中部中衛戍ノ下ニ憲兵隊ノ三字ヲ加フ

同條西部中砲兵方面工兵方面ノ八字ヲ削ル

第三條 削除

第四條ヲ第三條ニ改メ 一日以下十九字ヲ十月十一月中ニ之ヲ施行スノ十二字ニ改ム

第五條ヲ第四條ニ改メ 傳令使以下十二字ヲ同尉官副官傳令使各一員ヲ派遣シ別ニ步兵佐尉官二員ノ二十四字ニ改メ 隨屬ヲ隨行ニ改ム

第六條ヲ第五條トシ左ノ如ク改ム

前條ノ外會計部軍醫部ノ士官各一員 監軍部書記二員ヲ隸屬シ檢閱ノ事務ヲ助ケシム

第七條 削除

第八條ヲ第六條ニ改メ 報知シノ下ニ 休暇ノ者ハ檢閱ノ期ニ先タチ其所管ニ歸ラシメノ二十一字ヲ加ヘ但書ヲ削ル

第九條ヲ第七條ニ改メ 第二ノ次ハ 第三停年以上士官下士學術檢查查書類ノ一項ヲ加ヘ 第三ヲ第四ヲ第五ヲ第六ヲ第六ニ改メ 陣營具ノ下ニ 出納ヲ員數ニ改メ 第六ヲ第七ヲ第七ヲ第八ニ改ム

第十條ヲ第八條ニ改メ 東京警視本署及ヒ上等裁判所ヲ警視廳及ヒニ改ム

第十一條ヲ第九條ニ改メ 儀仗衛兵ヲ番兵ニ改ム

第十二條ヲ第十條ニ改ム

同條第二節中 一人員馬匹ノ次 一下士以下武學校入學請願ノ書類ノ一項ヲ削リ 右ハノ下 監軍部長之ヲ其書類ニ改ム

同條第三節中 講議ヲ對策ニ改メ 製圖ノ下 及ヒノ二字ヲ削リ 記載スヘシヲ記載シニ改メ 其下ニ 第十六條ニ示ス所管長官ヨリ差出ス所ノ學術檢查查帖ト参照スノ二十七字ヲ加フ

同條第五節中 材料ノ下ニ 其他給與品ノ五字ヲ加ヘ 一切ノ物品ノ下ニ 竝ニ糧食草秣其他給與品ノ十一字ヲ加ヘ 野營器具ノ次ハ 糧食草秣ノ一項ヲ加ヘ 檢實スヲ檢實シニ改メ 其下ニ 又計算表ニ照シテ現貨ヲモ査實スヘシノ十七字ヲ加フ

同條第六節 削除

同條第七節ヲ第六節ニ改ム

同條第八節ヲ第七節ニ改メ 右ハ主任ノ次ハ 右諸節ノ中事細目ニ涉ル者ハ監軍部長主任屬員ヲ派シテ代理セシムルコトヲ得ノ一項ヲ加フ

第十三條ヲ第十一條ニ改メ 之ヲ監軍部長ニ呈ス以下ヲ 旅團長 旅團ニ編成セサル隊ニ在テハ直ニ司令官ニ呈ス 更ニ決定拔擢名簿二本ヲ製シ一ヲ司令官ニ附シ一ヲ陸軍卿ニ移スニ改ム

第十四條ヲ第十二條ニ改メ 審問查明ノ下ニ 自己ノ所見ヲ抄記ノ九字ヲ削リ 但書 諸隊及ヒノ下ニ 憲兵隊ノ三字ヲ加ヘ 第十三條ヲ第十一條ニ改ム

第十五條ヲ第十三條ニ改メ 監軍部ヲ監軍本部ニ改ム

第十六條ヲ第十四條ニ改ム

第十七條ヲ削除シ左ノ條項ヲ加フ

第十五條 各隊各部ニ於テ拔擢スヘキ人員ハ年々陸軍卿之ヲ限定シ監軍部長ヲ經テ豫メ之ヲ告達スヘシ

第十六條 監軍部長ハ豫メ所管長官ニ委シテ検査委員ヲ編成セシメ俸年以上ナル士官下士ノ學術ヲ検査シ其検査帖ヲ製セシメ部長到著ノ節拔擢名簿ト共ニ之ヲ差出サシム

第十七條 検査委員ノ編成左ノ如シ

其一 下士ノ學術検査ハ各聯隊各獨立隊中ニ於テ之ヲ行フ

委員長 聯隊長

委員 大隊長

中隊長

右大隊長中隊長ハ各大隊ヨリ一名ツ、ヲ取ルヘシ獨立ノ大隊中隊及ヒ小隊ニ在テハ検査委員ノ編成亦右ニ準スルモノトス

其二 士官ノ學術検査ハ近衛及ヒ各鎮臺ニ於テ之ヲ行フ

委員長 近衛都督或ハ鎮臺司令官

近衛或ハ鎮臺參謀佐官

旅團長

步兵聯隊長

步兵大隊長

騎兵隊長

砲兵隊長

委員

砲兵隊長

内務省第七第二十五號  
達二十一一年法律  
第一號參看

十八年内閣第七十九號  
達以テ工部省ヲ渡道局ト改ム  
十九年勅令第三十八號ニ依リ消滅

工兵隊長  
輜重兵隊長  
會計部長  
病院長或ハ聯隊醫官  
馬醫官

右聯隊長ハ各旅團ヨリ一名大隊長ハ各聯隊ヨリ一名ツ、ヲ取リ各獨立隊及會計部長ニハ其部下將校及同等官一名ヲ附シテ助官トナスヲ得ヘシ

其三 陸軍省參謀本部監軍本部及ヒ東京諸官解ニ在テハ前項ノ例ニ準シ検査委員ヲ編成スヘシ若シ委員ニ充ツヘキ人員寡少ナル官解ニ在テハ數箇ヲ合併シテ編成スルヲ得又東京外ニ在ル官解及ヒ憲兵隊調馬隊等ニ在テハ該地所管ノ鎮臺ニ合併シテ検査ヲ行フモノトス然ルトキハ官解若クハ該隊ヨリ將校一名ヲ派シテ委員ニ加フヘシ

第二十一條 「各軍管」以下十七字ヲ削ル

第二十六條 「願書」ヲ「書類」ニ改ム

○第四十一號 (五月七日) 府縣沖繩縣ヲ除ク

戶長ハ府知事縣令之ヲ選任ス但町村人民ヲシテ三人乃至五人ヲ選舉セシメ府知事縣令其中ニ就テ選任スルコトヲ得ヘシ此旨相達候事

○第四十二號 (五月十二日) 官省院廳府縣

工部省各科工術等級並月給表左ノ通更正候條此旨相達候事

工部省各科工術等級並月給表

一級	四七〇	三三〇	二五〇	一七〇	六拾圓	五拾圓	四拾圓	三拾圓	二拾圓	一拾圓	七圓
二級	四四〇	三〇〇	二二〇	一五〇	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓
三級	四一〇	二七〇	一九〇	一二〇	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓
四級	三八〇	二四五	一七五	一〇〇	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓
五級	三五〇	二二〇	一五〇	一〇〇	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓
原官定額	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二

○技監以下ノ者ハ在職ト休職トニ分チ在職ハ其月給ヲ賜ヒ休職ノ者ハ月給三分ノ二以下ヲ賜フヘシ○一等技手以下ノ者ハ其科施行ノ都合ニヨリ其月給ヲ日割ニシテ給與シ或ハ其月給ノ内幾分ヲ日給トシ適宜區別シテ支給スルヲ得一日ノ就業時間ハ十二時間以内トス其餘ノ時間ハ増給ヲ支給ス但月給賜方凡例ノ如シ○免職死亡等ノ賜金ハ本給ヲ以テ規則ニ照シ支給ス

凡例

○月給ヲ日給ニスルハ其月ノ現日數ニ除シテ之ヲ出勤日數ニ應ジ支給ス但一般休暇日ハ支給ス故ニ事業ノ都合ニヨリ出勤ヲ命スルトモ増給セズ或ニ病氣引ハ不給○日給ノ者ハ其日給ニ當ルヘキ金額ヲ其月ノ現日數ニ除シ出勤日數ニ應ジ支給ス但前同前○一日ノ就業時間ヲ十二時間以内トス其餘ノ時間就業ハ増給ヲ支給ス○工業上ニ於テ怪我ノ爲メ出勤スル能ハサル節ハ全額日給ノ者ハ其半額ヲ支給シ日給ノ者ハ其本給ノ半額ヲ支給ス但折傷ノ輕重ニ依テ永ク治癒ニ日ヲ經過スル者ハ扶助料ヲ賜リ職務ヲ免ス等臨時ノ評議タルヘシ○新任ノ者日給ハ其日ヨリ免職ノ者ハ其日迄ヲ給ス日給ノ者ハ月俸規則ノ通十五日前後ヲ區分シ支給ス昇級ノ者月給ハ前條ノ通十五日前後ヲ區分シ日給ハ其日ヨリ何レモ増給ノ割合ヲ以テ支給ス○歸省中日給ノ者ハ其日給ニ不拘給與全額ノ半額ヲ支給ス但恩引中モ亦本文ニ同シ○月俸ヨリ日給ニ轉スル者ハ月俸規則第四條但書ニ準シ支給ス

○第四十二號 (五月十四日)

官内省中内藏寮職制左ノ通被定候條此旨相達候事

官省院廳府縣

十九年官内省達第一號ニ依リ消滅

十八年太政官第六號達看十九年勅令第四號ニ依リ消滅

内藏寮ハ帝室一般ノ財務ヲ掌リ竝ニ貴重ノ物品等ヲ保管スル所トス

頭 擔任ノ事務ヲ整理シ所管判任官以下ノ勤惰ヲ正シ其進退黜陟ヲ卿ニ具狀スルヲ得

權頭 職掌頭ニ同シ

助 職掌頭ニ亞ク頭事故アルトキハ代理スルヲ得

權助 職掌頭ニ同シ

職掌助ニ同シ

屬 諸務ニ從事ス

○第四十四號 (五月十四日)

官省院廳府縣

陸軍武官等表中下士ノ部左ノ通改正候條此旨相達候事  
但會計軍醫馬醫軍樂各部下士ハ従前ノ通

下		上	
憲兵曹長	二等	憲兵一等軍曹	二等
步兵曹長	二等	步兵一等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵一等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵二等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵三等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵四等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵五等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵六等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵七等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵八等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵九等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十一等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十二等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十三等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十四等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十五等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十六等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十七等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十八等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵十九等軍曹	二等
騎兵曹長	二等	騎兵二十等軍曹	二等



今般第四拾五號達中主税監吏補月俸左ノ通相定候條此旨相達候事

一等主税監吏補 月俸拾三圓 二等主税監吏補 月俸拾貳圓

三等主税監吏補 月俸拾壹圓 四等主税監吏補 月俸拾圓

○第四十七號 (五月二十日)

府 縣

府縣官中收税長收税屬ヲ置キ官等俸給左ノ通相定候條此旨相達候事

收税長 奏任 八等官相當

但月俸八拾圓七拾圓六拾圓ニ區別ス

收税屬 判任 九等官相當ヨリ

但月俸五拾圓四拾五圓四拾圓三拾五圓三拾圓貳拾五圓貳拾圓拾五圓拾貳圓ニ區別ス

○第四十八號 (五月二十日)

府 縣

府縣官職制中左ノ通増補候條此旨相達候事

警部長ノ下第二項ノ次へ

收税長

第一收税長ハ事ヲ府知事縣令ニ承ケ收税ニ關スル一切ノ事務ヲ管理ス

第二收税長ハ收税檢査ノ景況報告書及ヒ收入金員科目ヲ記載シタル計算書ヲ作り府知事縣令ノ檢印ヲ受ケ之ヲ主税官長ニ報告ス

第三收税長ハ收税事務ニ付直ニ主税官長ノ指揮ヲ受ケ又ハ直ニ之ヲ具申スルコトアルヘ

警部ノ次へ

收税屬

十八年大政官第三十九號達ヲ以テ改訂

十九年勅令第五十四號ニ依リ消滅

十八年大政官第三十九號達ヲ以テ改訂

各其主務ニ従事ス  
○第四十九號 (五月二十日)

官省院廳府縣

大藏省職制中左ノ通追加候條此旨相達候事

卿職掌第二項

專行スノ「ス」ヲ「シ」ニ作り「兼テ收税長ノ進退黜陟ニ關シ内務卿ト協議意見ヲ上陳スルコトヲ得」ノ二十字ヲ加フ

○第五十號 (五月二十日)

官省院廳府縣

主税官中主税監吏主税監吏補服制ハ警監吏監吏補ノ制ヲ用フヘシ此旨相達候事

○第五十一號 (五月二十二日)

官省院廳府縣

明治十四年第三拾四號達歲入科目中地稅ハ十六年度ヨリ證券印紙諸稅ハ十七年度ヨリ左ノ通り更正ス

大科目	小科目
地 租	田租
	畑租
	郡村宅地租
	市街宅地租
	鹽田租
	鑛泉地租
	池沼山林原野雜種地租

證券印稅

地券證印稅  
延納年賦

印紙稅  
手形用紙稅  
押印稅

右相達候事

○第五十二號 (五月二十二日)

官省院廳府縣

明治七年月十二 第百七十五號同九年月七 第六拾八號達廢止候條此旨相達候事

○第五十三號 (五月二十三日)

官省院廳府縣

明治十六年五月 第貳拾號達內務省技術等級並月給表一等技師ノ上へ左ノ通追加候條此旨相達候事

十九年勅令第三十八號ニ依リ消滅

三	等
技	監
一級	四百圓
二級	三百五十圓

○第五十四號 (五月二十九日) (明治十七年五月十三日裁定)

官省院廳府縣

明治十七年度歳入出豫算ノ儀別冊ノ通決定候條此旨相達候事

(別冊)

明治十七年度歳入出豫算書

例言

本年度ノ歳入出ヲ以テ前年度ニ比シ各項増減ノ事由ヲ列叙スルニ當リ先ツ歳計ノ大綱ヲ左ニ提記ス

本年度ノ歳入豫算額ハ七千五百九拾八萬貳千九百六拾九圓ニシテ之ヲ前年度ノ豫算額七千五百六拾萬六千五百九拾九圓ニ比スレハ三拾七萬六千九百九拾圓ノ増加ナリ今此増加セシ所以ヲ略述スレハ烟艸稅ニ於テ六拾壹萬四千壹圓訴訟用印紙料ニ於テ五拾三萬五百七拾六圓減價繰入及ヒ經常臨時ノ雜入等ニ於テ百六拾五萬六千六百六拾六圓合計貳百八拾萬千九百九拾七圓ヲ増加スト雖モ會社稅ニ於テ七拾四萬八千六拾壹圓北海道物產稅ニ於テ貳拾萬七千五百三拾七圓工部省鐵道益金諸貸出金返納及ヒ官有物拂下代等ニ於テ百四拾六萬八千六百八拾五圓合計貳百四拾貳萬四千貳百八拾三圓ヲ減少スルアリテ差引前記ノ増加ヲ見ルニ至レリ而シテ又歳出ノ豫算額ハ七千五百九拾八萬貳千五百六拾貳圓ニシテ之ヲ前年度ノ豫算額七千五百六拾萬六千五百九拾九圓ニ比スレハ三拾七萬六千五百三圓ノ増加ナリ然ル所以ハ帝室費ニ於テ四拾七萬貳千八百七拾壹圓紙幣消却ニ於テ百六拾三萬圓外國債償還陸海軍兩省經費及ヒ經常臨時ノ雜出等ニ於テ六百八拾九萬八千九拾壹圓合計八百九拾九萬三千七百六拾貳圓ヲ増加スト雖モ內國債償還ニ於テ三百拾六萬九千九百九拾圓軍備部繰入ニ於テ百六拾貳萬五千五百拾三圓官內省府縣費及ヒ豫備等ニ於テ三百八拾貳萬五千七百五拾六圓合計八百六拾壹萬七千貳百五拾九圓ヲ減少スルアリテ差引前記ノ増加ニ止レリ而シテ紙幣消却及ヒ其元資繰入ノ如キモ彼此ノ緩急ヲ量リ該兩項ノ間ニ於テ増減スルモノアリト雖モ從來計畫ノ主旨ヲ承繼スルニ至リテハ復前年度ト異ナル所アルコトナシ

○本年度ノ歳入豫算ニ於テ増加スルモノ、事由ヲ左ニ列記ス但シ事ノ異條ナキモノ及ヒ金額ニ大



差ナキモノハ之ヲ略ス

- 一海關稅ハ輸入物品ノ量ヲ減シ輸入稅ニ五萬五千六百六拾九圓ヲ減少スト雖モ輸出物品ノ量ヲ増シ輸出稅ニ六萬貳千九百貳拾圓諸收入ニ貳千四百拾九圓合計六萬五千三百三拾九圓ヲ増加スルニ由ル
- 一酒造稅ハ十五年第六拾壹號ノ布告以來營業者ノ減セルヲ以テ免許稅ニ拾七萬八千四百圓ヲ減少スト雖モ前年度ニ於テハ稅率改正ノ影響ヲ受ケ造石高ニ幾分ノ減少アリシモ本年度ハ稍平常ニ復スヘキ身況アルヲ以テ造石稅ニ七萬五百五拾三圓自家用料酒鑑札ヲ受ル者ノ多キヲ加ルカ爲メ鑑札料ニ貳拾萬九千八百貳拾四圓合計貳拾八萬三千七百七拾七圓ヲ増加スルニ由ル
- 一營麴營業稅ハ自家用料酒製造高ノ増スニ隨ヒ營業者ノ増加スルニ由ル
- 一煙草稅ハ十五年第六拾三號ノ布告以來營業者ノ減セルヲ以テ營業稅ニ拾壹萬九千六百三拾貳圓ヲ減少スト雖モ前年度ノ實收額ヲ豫算額ニ超過シタルヲ以テ之ヲ參酌シテ印紙稅ニ七拾三萬三千六百三拾三圓ヲ増加スルニ由ル
- 一郵便稅ハ前年度ノ實收ニ徵シ切手賣下料ニ貳萬三千六百圓私書函料ニ千五百五拾六圓合計貳萬五千五百五拾六圓ヲ減少スト雖モ爲換員數增加ノ爲メ爲換手數料ニ貳萬七千八百六拾四圓ヲ増加スルニ由ル
- 一訴訟用印紙料ハ本年第五號布告アリシカ爲メ本項ヲ新設セシニ由ル
- 一船稅ハ十六年第六拾三號ノ布告ニ因リ蒸汽船稅ト西洋形風帆船稅トニ於テ四拾三圓ヲ減少スト雖モ亦該布告ノ爲メ日本形船稅ニ貳萬四千九百三圓解流船並海川小回船稅ニ三萬七千五百五拾四圓合計六萬貳千五百七拾七圓ヲ増加スルニ由ル
- 一車稅ハ諸車ノ輛數多キヲ加フルニ由ル

- 一海外旅券其他免許手數料ハ外國人貸地券及ヒ内地旅行券手數料ヲ雜收入ニ移算スルカ爲メ該手數料ニ千三圓ヲ減少スト雖モ太政官十六年第六拾八號達ニ因リ米商會所及株式取引所ノ仲買人認許料ニ千三百八拾圓同年第三拾五號布告ニ因リ醫師開業免狀手數料ニ壹萬三千貳百拾壹圓同年第四拾五號布告ニ因リ海員雇入手數料ニ三千九拾九圓合計壹萬七千六百九拾圓ヲ増加スルニ由ル
- 一陸軍省兵器製造益金ハ東京砲兵工廠ノ事業進歩シタルニ由ル
- 一海軍省造船益金ハ橫須賀造船所第二船渠ノ落成スルカ爲メ船艦修繕ノ數ヲ加フルニ由ル
- 一減價繰入ハ減價方按ニ據リ國債償還ノ支出額多キヲ加フルニ由ル
- 一官有物貸下料ハ北海道事業管理局ノ馬車轆工部省ノ附屬船貸下料等ノ減スルカ爲メ物品貸下料ニ六百貳拾貳圓ヲ減少スト雖モ東京府下河岸地ヲ新ニ貸下ルモノ等アリテ地所貸下料ニ三萬六千五百五拾貳圓橫濱港揮發物貯庫ノ藏敷料等ニ増加スルモノアルカ爲メ家屋貸下料ニ壹萬八千八百六拾壹圓合計五萬五千四百拾三圓ヲ増加スルニ由ル
- 一雜入(經)ハ太政官十六年第六拾貳號達ヲ以テ官報賣下料ヲ收入スルニ由ル
- 一雜入(時)ハ十六年第四拾六號布告ヲ以テ徵兵代人料ヲ廢シタルカ爲メ拾壹萬三千六百七拾圓ヲ減少スト雖モ贓贖追徵金ニ貳萬八千八拾圓雜收ニ五拾三萬三千貳百五拾三圓合計五拾六萬千三百三拾三圓ヲ増加スルニ由ル

以上拾五件ノ外鑛山稅、版權免許料、廣島鑛山益金及ヒ開港場官地貸下料ノ四件ヲ併セ其増加ノ總額ハ貳百八拾萬千九百九拾三圓ナリ

○又歳入豫算ニ於テ減少スルモノ、事由ヲ左ニ列記ス但シ事ノ異條ナキモノ及ヒ金額ノ大差ナキモノハ之ヲ畧ス

一 地租ハ土地賣買ノ繁多ナルカ爲メ地券證印稅ニ九萬千貳拾貳圓開墾鐵下年期明等ニ於テ壹萬七千八百七拾五圓合計拾萬八千八百九拾七圓ヲ增加スト雖モ沖繩縣稅品價格ノ低落ニヨリ其稅額ニ拾九萬貳千九百拾圓延納年賦ニ於テ返納ヲ了セシモノアリテ五萬七千六百六拾六圓合計貳拾五萬七拾六圓ヲ減少スルニ由ル

一 北海道物產稅ハ稅品價格ノ低落セシニ由ル

一 訴訟用紙諸稅ハ本年第五號布告アリシカ爲メ本項ヲ削除セシニ由ル

一 代官免許料ハ前年度ノ實收ヲ參酌スルニ由ル

一 會社稅ハ前年度ノ實況ニ參照シ米商會所仲買人稅ニ貳萬七千三百貳拾四圓ヲ增加スト雖モ國立銀行ノ鎖店スルモノアリテ該稅ニ貳百八拾圓又既往ノ狀勢ヲ酌量シ米商會所株式取引所及同所仲買人ノ三稅ニ七拾七萬五千五百五圓合計七拾七萬五千三百八拾五圓ヲ減少スルニ由ル

一 銃獵稅ハ遊獵者ノ漸次多キヲ加フルカ爲メ遊獵稅ニ三百九拾圓ヲ增加スト雖モ職獵者ハ之ニ反スルカ爲メ職獵稅ニ四千八百四拾六圓ヲ減少スルニ由ル

一 牛馬賣買免許稅ハ下附鑑札ノ枚數減少スルニ由ル

一 賣藥稅ハ印紙稅ニ於テ前年度ノ實況ヲ酌量スルニ由ル

一 大藏省造幣益金ハ硫酸輸出ノ減少スル等ニ由ル

一 海軍省石炭益金ハ炭價ノ低落スルニ由ル

一 農商務省製糖益金ハ千住製糖所ニ於テ工場火災ノ爲メ工事ノ減縮シタルト愛知紡績所ニ於テ製品價格ノ低落セシトニ由ル

一 工部省鐵山益金ハ鑛物價格ノ低落スル等ニ由ル

一 工部省鐵道益金ハ敦賀關ヶ原間ノ線路連接ノ成功ヲ告ケ其收入ニ九萬五千七百四拾圓ヲ增加

スト雖モ乘客貨物等ノ減スルカ爲メ東京橫濱間ニ五萬五千七百九拾三圓神戸大津間ノ收入ニ貳拾壹萬千四百圓合計貳拾六萬七千九百九拾三圓ヲ減少スルニ由ル

一 工部省電信益金ハ商況不振ノ爲メ通信ノ減少スルニ由ル

一 工部省造船益金ハ兵庫造船局ニ於テ工場ノ整備シタルニ因リ貳千四百九拾六圓ヲ增加スト雖モ長崎造船局ニ於テハ工事ノ少キカ爲メ四千七百貳拾圓ヲ減少スルニ由ル

一 諸貸出金返納ハ本年度ヨリ之ヲ準備金ノ收入ニ移スニ由ル

一 官方及舊藩々貸金返納ハ前項ニ同シ

一 石高貸下返納ハ諸貸出金返納ノ事由ニ同シ

一 官有物拂下代ハ建物拂下代ニ三千壹圓ヲ增加スト雖モ官地拂下代ニ壹萬七千七百九拾圓郵便船拂下代ノ前年度ニ完納セシモノ等アリテ物品拂下代ニ拾三萬四千三百拾七圓合計拾五萬貳千七百七圓ヲ減少スルニ由ル

以上拾九件ノ外度量衡稅ノ壹件ヲ併セ其減少ノ總額ハ貳百四拾貳萬四千貳百八拾三圓ナリ右增加ノ員額ヨリ減少ノ員額ヲ扣除スレハ本年度歳入増加ノ實額ハ三拾七萬六千九百拾圓ナリ

○本年度ノ歳出豫算ニ於テ増加スルモノ、事由ヲ左ニ列記ス但シ事ノ異條ナキモノ及ヒ金額ニ大差ナキモノハ之ヲ畧ス

一 外國債償還ハ毎歲同一ノ金額ヲ以テ元利漸崩シノ方法ナルカ故ニ其元金ノ償還額ヲ遞加スルニ由ル

一 紙幣消却ハ紙幣銷却元資繰入ノ項ニ貳百萬圓ヲ移算スト雖モ減價方按ニ據リ消却額三百六拾三萬圓ヲ增加スルニ由ル

一 內國債利子ハ新公債、金祿公債、舊神官配當祿公債、起業公債ノ元金減少シ且秩祿公債ノ償還ヲ

了セシニヨリ三拾三萬千四百六拾壹圓ヲ減少スト雖モ金札引換公債ニ於テ壹萬四千九拾七圓十六年第四拾七號ノ布告ニ因リ中山道鐵道公債ニ於テ三拾五萬圓同年第四拾八號布告ニ因リ金札引換無記名公債ニ於テ三拾萬圓合計六拾六萬四千九拾七圓ヲ増加スルニ由ル

一内國債雜費ハ中山道鐵道公債、金札引換無記名公債ノ發行スルモノアルニ由ル

一帝室費ハ官内省ノ一項ヲ廢シ之ヲ本項ニ併算スル等ニ由ル

一沖繩縣土族金祿ハ遞減處分ノ爲メ七百四拾三圓ヲ減少スト雖モ祿高算出ノ米價ヲ訂正シタルカ爲メ壹萬九千四百三拾六圓相對掛増高等ヲ金祿ニ編入セシモノアルカ爲メ貳萬七百六拾四圓合計四萬貳百圓ヲ増加スルニ由ル

一一時賜金ハ文官ノ退職等ニ際シ賜フ所ノ金額ト陸海軍ノ給助金賑恤金トヲ集計シテ本項ヲ新設スルニ由ル

一陸軍省ハ太政官十七年第五號及第三十六號達アリシカ爲メ滿年賜金壹萬五千七百拾六圓ヲ減少スト雖モ兵員増加ノ爲メ五拾萬圓陸軍卿歐洲行ノ爲メ貳萬五千圓合計五拾貳萬五千圓ヲ増加スルニ由ル

一海軍省ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金八千六百五拾四圓ヲ減シ及ヒ現金ヲ大藏省ニ於テ管守スルカ爲メ貨幣取扱手数料千五拾八圓ヲ同省ニ移算シ合計九千七百拾貳圓ヲ減少スト雖モ新艦隻數ノ増加スルニ隨ヒ其維持費拾五萬三千八百五拾圓ヲ増加スルニ由ル

一文部省ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金三千三百七拾圓ヲ減少スト雖モ東京大學教授法改正ノ爲メ五千圓ヲ増加スルニ由ル

一工部省ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金貳千四百五拾圓ヲ減少スト雖モ宗谷岬ニ燈臺露笛ノ建築費ヲ要スルカ爲メ貳萬八千圓ヲ増加スルニ由ル

一司法省ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金壹萬三千九百八拾八圓ヲ減少スト雖モ裁判所及ヒ官舎修築等ノ爲メ貳拾三萬五百七拾六圓ヲ増加スルニ由ル

一元老院ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金五百圓ヲ減少スト雖モ議員ノ増員アリシカ爲メ三萬貳千四百九拾四圓ヲ増加スルニ由ル

一在外公館ハ佛國里昂領事館ノ新設アルト清國芝罘領事館ニ増員アルトニ由ル

一租稅局ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金貳千三百七拾五圓ヲ減少スト雖モ前年度ノ實費ヲ參酌シ印紙類製造費等拾七萬千八百八拾五圓ヲ増加スルニ由ル

一驛遞局ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金六百圓ヲ減少スト雖モ朝鮮國仁川港ノ航海費補助八千八百圓外國行諸費壹萬四千五百五拾五圓其他事務擴張ノ爲メ四萬千七百七拾七圓合計六萬五千七拾貳圓ヲ増加スルニ由ル

一營繕費ハ橫濱港揮發物貯庫其他ノ修繕ニ於テ九百六拾壹圓ヲ減少スト雖モ東京府小笠原島出張所改築ノ爲メ五千二百圓ヲ増加スルニ由ル

一土木費ハ工事ノ緩急ニ應ジ澱川、富士川、庄川、大井川等ノ改築工費ト福島縣道路開鑿費補助、兵庫縣隧道工費補助、熊本縣堤防修繕費補助トニ於テ拾萬四千七百五拾壹圓皇城土手其他修繕費ヲ皇城周圍修繕費ニ移算シタルカ爲メ千五百圓陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金五拾六圓合計拾萬六千三百七圓ヲ減少スト雖モ亦其緩急ニ應ジ阿賀野川、吉野川、筑後川、最上川等ノ改築工費ト沖繩縣諸工費トニ於テ六萬九千五百九拾圓新ニ清水越道路開鑿費ト山口縣樵野川改修工費補助兵庫縣柵木縣宮城縣山形縣新潟縣秋田岩手兩縣山口縣等ノ道路開鑿費補助及東京府川後費補助トヲ要スルモノアリテ貳拾九萬六千六百拾六圓合計二拾六萬六千貳百六圓ヲ増加スルニ由ル

- 一 府縣徵稅費ハ、府縣費中ニ在リシ國稅徵收費ヲ移シタルモノト諸稅檢査ノ周到ヲ要スルカ爲メ之レカ費用ノ増加ト併セ本項ヲ新設スルニ由ル
- 一 府縣警察費ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金五千七百七拾七圓地方費豫算原按ニ對スル割合額ノ少キ等ノ爲メ府縣下渡金ニ三千五百六拾圓合計九千三百三拾七圓ヲ減少スト雖モ警部増加ノ爲メ三萬八千三百三拾圓又伊豆七島ニ巡查ヲ配置スルカ爲メ千五百八拾三圓合計二萬九千九百拾三圓ヲ増加スルニ由ル
- 一 東京集治監ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金三百七拾圓ヲ減少スト雖モ囚徒ノ多キヲ加フルカ爲メ已決囚諸費等ニ三萬貳千四百拾九圓ヲ増加スルニ由ル
- 一 官城集治監ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金貳百圓ヲ減少スト雖モ囚徒ノ多キヲ加フルカ爲メ已決囚諸費等ニ三萬七拾四圓ヲ増加スルニ由ル
- 一 三池集治監ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金貳百五拾圓ヲ減少スト雖モ囚徒ノ多キヲ加ヒ隨テ官吏ヲ増員スルカ爲メ俸給等ニ於テ七千貳百八拾四圓ヲ増加スルニ由ル
- 一 空知集治監ハ陸軍省同一ノ事由ニ因リ滿年賜金二千五百圓其他已決囚諸費ニ貳千七百五拾貳圓合計四千貳百五拾圓ヲ減少スト雖モ俸給等ニ於テ貳萬七百八拾壹圓ヲ増加スルニ由ル
- 一 神社費ハ二荒山神社ヲ國幣中社ニ列セシト太政官十六年第五拾七號達ニ因リ宮司俸給ノ増加セシ等ニ由ル
- 一 皇城周圍修繕費ハ土木費ヨリ皇城土手ノ修繕費ヲ移算スルニ由ル
- 一 勳章賞牌及賜金費ハ雜出(幣)ヨリ移算シ且前年度ノ實費ヲ參酌シテ本項ヲ新設スルニ由ル
- 一 賞盃賜金費ハ警視廳及ヒ府縣ノ管理ニ係ル金額ヲ集計シテ本項ヲ新設スルニ由ル
- 一 雜出(幣)ハ勳章賞牌及賜金費ヲ別項ニ移シタルカ爲メ四萬六千九百八拾圓ヲ減少スト雖モ金

- 錢遞送費ニ大藏省ヨリ移算シタル八萬六千圓新ニ支出スル官報刊行費四萬八千圓合計拾三萬四千圓ヲ増加スルニ由ル
- 一 工部省電信興業費ハ札幌根室間等ノ架線ニ其費用ヲ要スルノ多キニ由ル
  - 一 農商務省于住製鐵所興業費ハ火災ノ爲メ新ニ工場ヲ建築シ器械ヲ裝置スルモノアルニ由ル
  - 一 軍艦製造費ハ本年度ニ於テ製造ノ隻數多キヲ加フルニ由ル
  - 一 日本鐵道會社補助金ハ漸次其營業ノ收入ヲ増加スルモノアリト雖モ線路ノ延長スルニ隨ヒ拂込ノ株金ヲ増加シ未タ工事ノ落成セサルモノアルニ由ル
  - 一 雜出(幣)ハ商法講習所補助費、沖繩縣社寺役俸、勸業資本年制額、及ヒ朝鮮國繫泊軍艦費ニ減スルモノアリテ四萬貳千貳百拾五圓又桓武天皇柏原陵修築費、司法裁判所建築費、姫路城内土族移轉費、外國留學生費、地租改正費補助、製茶共進會及集談會費ノ前年度限リ支辨ヲ了セシモノアリテ拾六萬九千七拾五圓合計貳拾壹萬千貳百九拾圓ヲ減少スト雖モ新ニ國後諸島渡航船補助費、船舶檢査所費、繭絲織物陶漆器共進會費米國ニウラルレヤンス府博覽會費、北海道蠶蟲驅除費、各國技藝品交換費、東京師範學校再築費屯田兵増殖移住費及警察官訓練費ヲ要スルカ爲メ拾六萬三千四百貳拾圓又府縣聯合共進會賞與費、根室縣下土人救濟費其他雜件ニ増スモノアリテ拾八萬九千三圓合計三拾五萬貳千四百貳拾三圓ヲ増加スルニ由ル
  - 一 紙幣銷却元資繰入ハ紙幣銷却ノ項ヨリ移算ノ金額アルニ由ル
- 以上三拾五件ノ外軍人恩給ノ壹件ヲ併セ其増加ノ總額ハ八百九拾九萬三千七百六拾貳圓ナリ
- 又歳出豫算ニ於テ減少スルモノ、事由ヲ左ニ列記ス但シ事ノ異條ナキモノ及ヒ金額ニ大差ナキモノハ之ヲ畧ス
- 一 内國債償還ハ舊公債ニ八拾圓金札引換公債ニ六萬七千七百五拾圓舊神官配當祿公債ニ壹萬貳

千七拾五圓起業公債ニ壹萬八千八百圓合計九萬八千七百五圓ヲ増加スト雖モ新公債ニ四百圓  
 金祿公債ニ貳千貳百貳拾圓秩祿公債ノ償還結了セシカ爲メ三百貳拾六萬六千七拾五圓合計三  
 百貳拾六萬八千六百九拾五圓ヲ減少スルニ由ル

- 一 外國債利子ハ元金額ノ減少セシニ由ル
- 一 賞勳年金ハ之ヲ受ルモノ、死亡等アルニ由ル
- 一 社寺祿ハ前年度ニ於テ遞減シ盡シタルニ由ル
- 一 本政官ハ太政官十七年第五號及第三拾六號達アリシカ爲メ滿年賜金ヲ減少スルニ由ル
- 一 外務省ハ前項同一ノ事由アルト貨幣取扱ニ係ル手数料ヲ大藏省ニ移算スルトニ由ル
- 一 内務省ハ太政官ノ事由ニ同シ
- 一 大藏省ハ外務省海軍省其他ノ各廳ヨリ現金取扱ニ係ル手数料壹萬三千三百九拾圓ト各府縣ヨリ  
 紙幣交換費九千三百圓トヲ移算スルカ爲メ合計貳萬四百貳拾圓ヲ増加スト雖モ爲換方保險料  
 及爲換方出張取場往復手當ヲ雜出(經)ノ金錢遞送費ニ移算スルカ爲メ八萬六千圓太政官同一  
 ノ事由ニ因リ滿年賜金七千六百五拾五圓合計九萬三千六百五拾五圓ヲ減少スルニ由ル
- 一 農商務省ハ新ニ東京商業學校ヲ設立シ之カ爲メ壹萬圓ヲ増加スト雖モ遞減支出ノ方法ニ據リ  
 下總種畜場ニ壹萬四千八百三拾七圓太政官同一ノ事由アルヲ以テ滿年賜金三千六百六拾六圓合  
 計壹萬八千三百圓ヲ減少スルニ由ル
- 一 宮内省ハ皇室費等ニ移算スルニ由ル
- 一 關稅局ハ太政官ノ事由ニ同シ
- 一 北海道事業管理局ハ太政官同一ノ事由ト新冠牧馬場ノ經費ヲ皇室費ニ移算スル等ニ由ル
- 一 府縣費ハ太政官同一ノ事由ヲ以テ滿年賜金ノ減少ト陵墓守俸給ヲ皇室費ニ貨幣交換費ヲ大藏

省ニ國稅徵收費ヲ府縣徵稅費ニ移算スルト救助費其他沖繩縣地方費等ニ減少スルモノアルト  
 ニ由ル

- 一 警視廳ハ太政官ノ事由ニ同シ
- 一 樺戶集治監ハ太政官同一ノ事由ト物價低落ノ爲メ已決囚諸費等トニ於テ減少スルモノアルニ  
 由ル
- 一 在府縣獄囚徒費ハ太政官同一ノ事由ト囚徒ノ減少スルトニ由ル
- 一 海軍省造船興業費ハ横須賀第二船渠ノ落成ヲ告ル等ニ由ル
- 一 海軍省火藥興業費ハ前年度ニ於テ支出ヲ了シタルニ由ル
- 一 工部省鑛山興業費ハ前項ニ同シ
- 一 工部省鐵道興業費ハ前年度限リ常用ノ支出ヲ止メタルニ由ル
- 一 假皇居御造營費ハ營テ獻納アリシ金額(從來雜入ニ收納シタル金額ヲ十五年度ニ於)ヲ併用ス  
 ルカ爲メ年割額ヲ減少スルニ由ル
- 一 神宮式年御造營費ハ伐木工事ヲ了シタルカ爲メ年割額ノ減少スルニ由ル
- 一 軍備部繰入ハ軍備皇張ノ爲メ支出スル金額ノ多キニ由ル
- 一 豫備ハ本年度ニ於テ必須ノ費途多キカ爲メ之ヲ置サルニ由ル

以上貳拾四件ノ減少總額ハ八百六拾壹萬七千貳百五拾九圓ナリ  
 右増加ノ員額ヨリ減少ノ員額ヲ扣除スレハ本年度増加ノ實額ハ三拾七萬六千五百三圓ナリ

明治十七年度歳入出豫算

歳入之部

經常歳入

第一款 租 稅 金七千貳拾六萬七百七拾六圓

内譯

- 海關稅 金貳百六拾壹萬圓
- 地租 金四千貳百八拾八萬八千五百六拾六圓
- 鑛山稅 金壹萬六千九拾貳圓
- 北海道物産稅 金六拾五萬六千六百五拾六圓
- 酒造稅 金千六百八拾壹萬三千六百拾貳圓
- 醬麴營業稅 金六萬五千八百五拾圓
- 烟草稅 金百五拾八萬八千貳百圓
- 證券印稅 金八拾八萬六千三百三拾六圓
- 郵便稅 金貳百貳拾五萬貳千七百八圓
- 訴訟用印紙料 金五拾三萬五百七拾六圓
- 代官免許料 金壹萬貳百七拾圓
- 船稅 金拾九萬八千四百拾五圓
- 車稅 金四拾五萬三千八百四拾七圓
- 會社稅 金五拾三萬千四百八拾三圓
- 鈹獵稅 金八萬六千六百六拾貳圓

第二款

作業益金 金百五拾八萬千貳百九拾六圓

内譯

- 大藏省造幣 金三拾五萬五千七百圓
- 陸軍省兵器製造 金壹萬七千七百七拾圓
- 海軍省造船 金拾萬七千八百圓
- 海軍省石炭 金千五百九拾貳圓
- 農商務省製作 金壹萬四千三百五拾圓
- 工部省鑛山 金六萬五千貳百八拾八圓
- 工部省鐵道 金九拾八萬八千五百八拾圓
- 工部省電信 金五千五百圓
- 工部省造船 金六千貳拾七圓
- 廣島縣鑛山 金壹萬九千貳百八拾九圓

第三款

減價繰入金 金貳百拾九萬九百貳拾六圓

第四款

雜收入 金四拾八萬五千九百拾三圓

內譯

森林收入 金貳拾三萬貳千七百六拾七圓

官有物貸下料 金拾貳萬五千九拾貳圓

開市官地貸下料 金八萬五拾四圓

雜入 金四萬八千圓

經常歲入合計金七千四百五拾壹萬八千九百拾壹圓

臨時歲入

第五款 雜收 入 金百四拾六萬四千五拾八圓

內譯

官有物拂下代 金五拾四萬七千七百六拾三圓

雜入 金九拾壹萬六千貳百九拾五圓

臨時歲入合計金百四拾六萬四千五拾八圓

歲入總計金七千五百九拾八萬貳千九百六拾九圓

歲出之部

經常歲出

第一款 國債償還 金七百貳拾八萬貳千六百七拾壹圓

內譯

內國債償還 金百八拾五萬千九百九拾九圓

外國債償還 金四拾六萬六百七拾貳圓

紙幣消却 金四百九拾七萬圓

第二款 國債利子并雜費 金千四百九拾萬八千貳百五拾五圓

內譯

內國債利子 金千四百貳拾九萬四千百壹圓

內國債雜費 金壹萬五千百六拾七圓

外國債利子 金五拾九萬三千三百貳拾六圓

外國債雜費 金五千六百六拾壹圓

第三款 帝室費 金貳百貳拾貳萬千六百五拾六圓

第四款 年金恩給諸祿 金四拾三萬七千六百六拾五圓

內譯

賞勳年金 金拾四萬六千七百四拾九圓

軍人恩給 金拾三萬七千八百三拾壹圓

沖繩縣土族金祿 金拾五萬三千八拾五圓

第五款 一時賜金 金三萬五千圓

第六款 官省院局費 金貳千五百四拾三萬六千三百三拾九圓

內譯

太政官 金六拾貳萬七千貳百三拾貳圓

外務省 金拾九萬三千四百貳拾圓

內務省 金六拾三萬七千四百貳拾五圓

大藏省 金五拾九萬六千五百九拾四圓  
 陸軍省 金千六拾壹萬五千五百五拾六圓  
 海軍省 金三百貳拾貳萬五千八百三拾圓  
 文部省 金九拾三萬八千六百六拾五圓  
 農商務省 金八拾九萬五千貳百九拾四圓  
 工部省 金四拾九萬三千八百四拾四圓  
 司法部 金貳百貳拾八萬七千四百四拾四圓  
 元老院 金貳拾壹萬七千四百九拾四圓  
 在外公館 金五拾五萬貳千九百九拾四圓  
 租稅局 金七拾九萬三千四拾七圓  
 關稅局 金貳拾萬三千六百六拾壹圓  
 驛遞局 金貳百五拾貳萬九千四百七拾貳圓  
 北海道軍警管理局 金六拾貳萬八千八百六拾七圓  
 第七款 營繕土木費 金百七萬三千九百八拾貳圓  
 內譯  
 營繕 金拾萬五千貳百七拾圓  
 土木 金九拾六萬八千七百拾貳圓  
 第八款 府縣費 金四百拾七萬七千九百六拾貳圓  
 第九款 府縣徵稅費 金百三拾四萬八千九拾五圓

第十款 警察費 金貳百五拾萬八百四拾圓

內譯

警視廳 金三拾八萬七千三百五拾八圓

三府各縣 金貳百拾壹萬三千四百八拾貳圓

第十一款 集治監 金六拾四萬七千三百三拾壹圓

內譯

東京集治監 金八萬四千七百三拾七圓

宮城集治監 金八萬三千貳百七拾貳圓

三池集治監 金四萬貳千五百貳拾三圓

樺戶集治監 金拾九萬五千六百六拾三圓

空知集治監 金拾八萬四千百貳拾四圓

在府縣獄囚徒費 金五萬六千八百拾貳圓

第十二款 神社費 金拾五萬四千貳百七拾三圓

第十三款 備荒貯蓄 金百貳拾萬圓

第十四款 雜支 出 金四拾萬千七百貳拾九圓

內譯

皇城周圍修繕費 金七千六拾六圓

勳章賞牌及賜金費 金四萬五千六百六拾圓

賞盃賜金費 金三萬三千三百三拾貳圓

雜出 金三拾壹萬七千六百七拾壹圓



經常歳出合計金六千八百八拾貳萬五千三百九拾八圓  
臨時歳出

第十五款 興業費 金貳拾五萬五千三百三拾九圓

內譯

海軍省造船 金九萬八千八百圓

工部省電信 金七萬六千四百七拾六圓

農商務省千住製紙所 金八萬六拾三圓

第十六款 雜支 出 金六百七拾萬七千貳百五圓

內譯

假皇居御造營費 金三拾貳萬九千八百圓

軍艦製造費 金四百三拾八萬七千八百六拾八圓

砲臺建築費 金貳拾四萬圓

神宮式年御造營費 金三萬七百四拾三圓

紙幣改造費 金拾三萬六千六百五拾圓

日本鐵道會社補助金 金貳拾貳萬七千六百圓

雜出 金百三拾五萬五千三拾八圓

第十七款 紙幣銷却元資繰入 金七百萬圓

第十八款 軍備部繰入 金拾九萬四千六百貳拾圓

臨時歳出合計金千四百拾五萬七千六百六拾四圓

歳出總計金七千五百九拾八萬貳千五百六拾貳圓



備考

○表中十四十五兩年度ハ本年三月三十一日ノ現計ヲ以テ掲ス  
○各年度ノ殘餘金ハ會計決算ノ際準備金ハ挿入スルモノトス

Table with multiple columns listing various government departments and their financial data. Columns include categories like 'Foreign Loans', 'Imperial Expenses', 'Annual Allowances', 'Military Expenses', 'Police', 'Judiciary', 'Education', 'Agriculture', 'Industry', 'Transportation', 'Public Works', 'Social Welfare', 'Religion', 'Miscellaneous', and 'Reserves'. Each row contains numerical values representing the budget or expenditure for that category.

歲出之部

年度	十六年度豫算		十五年度現計		十四年度現計		十三年度決算		比較			差
	額	率	額	率	額	率	額	率	十一年	十二年	十三年	
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

考

○表中十四十五兩年度ハ本年三月三十一日ノ現計ヲ以テ掲上ス  
○各年度ノ殘餘金ハ會計決算ノ際準備金ハ挿入スルモノトス

1914	1915	1916	1917	1918	1919	1920	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1927	1928	1929	1930	1931	1932	1933	1934	1935	1936	1937	1938	1939	1940	1941	1942	1943	1944	1945	1946	1947	1948	1949	1950	1951	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079	2080	2081	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088	2089	2090	2091	2092	2093	2094	2095	2096	2097	2098	2099	2100
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

歲入出豫算累年比較表

歲入之部

Table with 14 columns: 科目 (Category), 十七年度豫算 (17th Year Budget), 十六年度豫算 (16th Year Budget), 十五年度現計 (15th Year Actual), 十四年度現計 (14th Year Actual), 十三年度決算 (13th Year Actual), and 比較 (Comparison). Rows include categories like 租稅 (Taxes), 雜收 (Miscellaneous Income), 官有物排下代 (Government Assets), and 歲入總計 (Total Income).

出豫算累年比較表

歲入之部

Table with columns for fiscal years (十六年度豫算, 十五年度現計, 十四年度現計, 十三年度決算) and comparison periods (比, 較, 差). Rows list various categories of income with numerical values.

歲入明細表

經常歲入		租		關稅		海關稅		地租		鑛山		北海道物產稅		酒造稅		營業稅		煙草稅		
海關	海關	海關	田	畑	郡	市	町	地	地	鑛	山	延	地	免	酒	酒	營	煙	草	
入稅	入稅	入稅	租	租	租	租	租	租	租	租	租	年	納	許	稅	稅	稅	稅	稅	
1,136,307	1,136,307	1,136,307	3,070,294	6,911,370	2,610,910	7,906,000	4,381,600	1,310,000	6,735,596	3,589,994	7,950,466	7,950,466	3,589,994	6,278,700	1,567,591	5,098,240	3,545,677	1,333,333	1,333,333	
000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000
2,610,000	2,610,000	2,610,000	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566	4,288,566
000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歲入出豫算書)



明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

證券印稅	郵便稅	訴訟用印紙料	代官免許料	船稅	車稅	會社稅	銃獵稅	牛馬賣買免許稅	賣藥稅										
切手賣下代	私書函料	爲換手收料	蒸汽船稅	西洋形帆船稅	日本形帆船稅	解漁船并海川小回船稅	馬車稅	人力車稅	牛車稅	荷車稅	國立銀行稅	米商會所仲買人稅	米商會所仲買人稅	株式取引所稅	株式取引所仲買人稅	遊獵稅	職獵稅	印管紙稅	
二二七〇〇〇〇〇	三九四〇〇〇〇	三二九八四〇〇	五九三二〇〇〇	六六四八〇〇〇	五九三二〇〇〇	二八、九〇七〇〇〇	七三三六八〇〇	三三六二八〇〇	三三六二八〇〇	三三六二八〇〇	二六、二八八〇〇〇	三三、九二〇〇〇	一五、五四七〇〇〇	一五、五四七〇〇〇	四、五四五〇〇〇	七、八三二〇〇〇	六、九四〇〇〇〇	七、九三三〇〇〇	四七、〇〇〇〇〇〇
八八六、三三六〇〇〇	二二、五二七〇〇〇	五三〇、五七六〇〇〇	一〇、二七〇〇〇〇	一九八、一四九〇〇〇	四、五三、八四七〇〇〇	五三、一四八三〇〇〇	八六、一六二〇〇〇	八七、七八九〇〇〇	五五、六四九五〇〇〇										
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	

二〇〇

度量衡稅	版權免許料	海外旅券其他	免許手續費合計	大藏省造幣	陸軍省兵器製造	海軍省造船	海軍省石炭	農商務省製作	工部省鑛山	工部省鐵道	工部省電信	工部省造船				
權枳尺	權枳尺	權枳尺	權枳尺	東京砲兵工廠	橫須賀造船所	千住製鐵所	佐野渡	生野	院內	三油	小阪	油戸	東橫濱	神戶	賀關ヶ原	兵庫
四九九〇〇〇〇	五七二〇〇〇〇	一三七二〇〇〇		三、五五七〇〇〇〇	一、七七一〇〇〇〇	一、〇七八〇〇〇〇	一、五九三〇〇〇〇	一、四、三三〇〇〇〇	六、五二八六〇〇〇	二、〇〇〇〇〇〇〇	二、〇〇〇〇〇〇〇	一、三、三三〇〇〇〇	二、九六三三〇〇〇	五、七、二七〇〇〇〇	一、九、五八〇〇〇〇	三、六、四七〇〇〇〇
二、四四三〇〇〇〇	二、四四三〇〇〇〇	二、四四三〇〇〇〇	二、四四三〇〇〇〇	三、五五七〇〇〇〇	一、七七一〇〇〇〇	一、〇七八〇〇〇〇	一、五九三〇〇〇〇	一、四、三三〇〇〇〇	六、五二八六〇〇〇	二、〇〇〇〇〇〇〇	二、〇〇〇〇〇〇〇	一、三、三三〇〇〇〇	二、九六三三〇〇〇	五、七、二七〇〇〇〇	一、九、五八〇〇〇〇	三、六、四七〇〇〇〇
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

二〇一

明治十七年五月 大政官 遷 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

廣島縣鑛山	減價繰入	作樂益金合計	1,581,296.00
	雜收	森林諸拂下料	3,777,975.00
減價繰入	森林諸拂下料	森林諸貨下料	4,947,000.00
	地所貨下料	地所貨下料	8,041,000.00
官有物貸下料	家屋貨下料	物品貸下料	4,177,000.00
	開港市場官地貸下料	雜入合計	3,151,000.00
臨時歳入合計	臨時歳入合計	臨時歳入合計	4,855,913.00
	臨時歳入合計	臨時歳入合計	7,451,819.11
官有物拂下代	地所拂下代	家屋拂下代	9,511,900.00
	物品拂下代	雜入合計	1,967,763.00
雜入合計	雜入合計	臨時歳入合計	1,967,763.00
	臨時歳入合計	臨時歳入合計	7,451,819.11
歲入總計	歲入總計	歲入總計	1,967,763.00
			7,451,819.11

11011

歲出明細表

經常歳出	國債償還	舊公債	2,944,000.00
	新公債	新公債	9,960,000.00
內國債償還	新公債	新公債	1,675,000.00
	金札引換公債	金札引換公債	9,977,800.00
外國債償還	起債	起債	3,307,500.00
	起債	起債	3,307,500.00
紙幣消却	國債償還合計	國債償還合計	4,600,672.00
	國債償還合計	國債償還合計	4,600,672.00
內國債利子	新公債利子	新公債利子	4,878,790.00
	金札引換公債利子	金札引換公債利子	3,598,836.00
外國債利子	起債利子	起債利子	1,472,333.00
	金札引換公債利子	金札引換公債利子	1,136,000.00
內國債雜費	起債利子	起債利子	6,655,654.00
	起債利子	起債利子	6,655,654.00
外國債雜費	起債利子	起債利子	3,307,500.00
	起債利子	起債利子	3,307,500.00
總計	總計	總計	5,933,325.00

明治十七年五月 大政官 遷 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

11013



會圖		衛生			土社戶		地	警								
計	書	局			局	局	局	局	局							
雜俸	俸	藥品	牛痘	橫濱	大塚	東洋	檢疫局	勸業	廳	雜俸	雜俸	雜俸	氣象	測	雜俸	俸
給	給	試製所	種痘所	試驗所	試驗所	試驗所	所	所	所	給	給	給	給	給	給	給
6,178	3,959	700	500	300	1,500	1,400	1,500	500	1,000	3,000	1,000	5,215	9,985	3,342	16,985	3,300
000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000
1,850	1,850				1,886					4,206	10,000	1,000	7,987	10,000	20,000	000
000	000				000					000	000	000	000	000	000	000
206																

出納局		本國省			古社寺保存費			中央衛生會		監獄局		庶務局	
貨幣	廳	雜俸	大依	公債	廳	雜俸	外管	廳	雜俸	雜俸	雜俸	管	廳
取	取	給	出	證	給	給	行	給	給	給	給	給	給
給	給	給	張	書	給	給	給	給	給	給	給	給	給
費	費	費	所	製	費	費	費	費	費	費	費	費	費
8,340	9,659	6,520	7,269	4,794	6,330	4,876	3,150	4,000	3,150	2,549	4,275	3,000	10,150
000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000
	1,583				8,296								
	000				000								
207													

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

監軍本部										參謀本部																				
彈藥	陣被	馬被	演習	試俸	雜俸	外行	外國	外行	學生	大測	電俸	雜俸	被服	檢閱	雜俸	管領	藥具	衣服	習服	驗習	俸給	俸給	俸給	俸給	俸給	俸給	俸給	俸給	俸給	俸給
費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
一八,九四四	一六,九〇三	一〇,八五三	四〇,六二九	六二,一五九	七六,〇〇〇	一一,〇六九	三三,一三五	二九,一九八	四三,六四〇	九,五〇七	一五,七一九	六五,〇〇〇	五六,三九六	二七,九二六	三三,一五七	一六,百七三	八,三〇〇	三六,六一	一六,百七三	三三,一五七	二七,九二六	五六,三九六	六五,〇〇〇	一五,七一九	九,五〇七	四三,六四〇	二九,一九八	三三,一五七	一六,百七三	三六,六一
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
										三,八八四,五〇〇																				
										七,九四三,〇〇〇																				

二〇九

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

本 省										陸軍省										大藏省合計										出納局大阪出張所										
兵糧	外學	外學	管領	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸
費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	
八〇〇,〇〇〇	四八,三二二	一七,九二六	一七,九二六	二二,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	二二,一九七	九,七五〇	二七,七三九	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇		
										三,七四〇,〇〇〇										五,九六五,九四〇										二〇,九八七,〇〇〇										
										二,七六二,九七三										三,七四〇,〇〇〇										五,九六五,九四〇										

二〇八

近衛局		近衛步兵隊		近衛騎兵隊		近衛砲兵隊	
陣被	演被	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸
武庫	供	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸
習服	習服	服具	服具	服具	服具	服具	服具
費	費	費	費	費	費	費	費
二四八〇〇〇	五一〇七八〇〇	一〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇
三三、七、一四〇〇〇	一〇、〇〇〇〇〇	二、八、九、五〇〇	五、一〇、七	五、四、三〇一	二、八、九、五〇一	二、八、九、五〇一	二、八、九、五〇一

第一軍管官廳		士官學校		近衛軍樂隊		近衛工兵隊	
陣被	演被	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸	雜俸
習服	習服	習服	習服	習服	習服	習服	習服
費	費	費	費	費	費	費	費
一七、〇〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇〇
三三、四、一五〇〇〇	二〇、二、八〇〇	二〇、二、八〇〇	二〇、二、八〇〇	二〇、二、八〇〇	二〇、二、八〇〇	二〇、二、八〇〇	二〇、二、八〇〇

第一軍管砲兵隊			第一軍管騎兵隊			第一軍管步兵隊		
雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧
給	給	給	給	給	給	給	給	給
一五〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	二四九、〇〇〇	二四九、〇〇〇	二四九、〇〇〇
九六四、九五〇			五七二、二〇〇			五三三、五三三		

第一軍管工兵隊			第一軍管輜重兵隊			第二軍管官廳		
雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧	雜糧
給	給	給	給	給	給	給	給	給
一七〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	一八七、〇〇〇	一八七、〇〇〇	一八七、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
三三三、三三三			一九六、〇〇〇			二四八、八五〇		

第二軍管砲兵隊				第二軍管工兵隊				第二軍管輜重兵隊				第二軍管步兵隊							
雜	俸	馬	被	陣	糧	雜	俸	馬	被	陣	糧	雜	俸	馬	被	陣	糧	雜	
給				給				給				給							
三九	九六	九	〇	〇	〇	四七	九二	〇	〇	〇	〇	六九	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇				〇〇〇〇				〇〇〇〇				〇〇〇〇							
四六八三三				五六〇五九				一九八七四				一四九二〇							
〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇							

第三軍管砲兵隊				第三軍管步兵隊				第三軍管官廨											
雜	俸	馬	被	陣	糧	雜	俸	馬	被	陣	糧	雜	俸	馬	被	陣	糧	雜	
給				給				給				給							
六八	八六	六	〇	〇	〇	一〇	一三	〇	〇	〇	〇	二七	二九	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇				〇〇〇〇				〇〇〇〇				〇〇〇〇							
四三八三三				四七九三七				二四九〇七				二四九〇七							
〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇							



明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出決算書)

第三軍管工兵隊				第三軍管輜重兵隊				第四軍管官廨							
糧	被	陣	雜	糧	被	陣	雜	給	費	費	費	給	費	費	費
馬	馬	馬	兵	馬	馬	馬	兵	病	武	監	行	演	被	陣	營
食	食	食	看	食	食	食	病	院	庫	獄	軍	習	服	具	繕
費	費	費	卒	費	費	費	卒	費	費	費	費	費	費	費	費
四、六、四〇〇〇〇	五、四、四〇〇〇〇	五、四、四〇〇〇〇	五、四、四〇〇〇〇	四、六、四〇〇〇〇	五、四、四〇〇〇〇	五、四、四〇〇〇〇	五、四、四〇〇〇〇	四、八、三〇〇〇〇	四、八、三〇〇〇〇	四、八、三〇〇〇〇	四、八、三〇〇〇〇	四、八、三〇〇〇〇	四、八、三〇〇〇〇	四、八、三〇〇〇〇	四、八、三〇〇〇〇
一、四、五、九〇〇〇				一、七、八、九〇〇〇				三、二、三、七〇〇〇							

第四軍管步兵隊				第四軍管砲兵隊				第四軍管工兵隊				第四軍管輜重兵隊			
糧	被	陣	雜	糧	被	陣	雜	糧	被	陣	雜	糧	被	陣	雜
馬	馬	馬	兵	馬	馬	馬	兵	馬	馬	馬	兵	馬	馬	馬	兵
食	食	食	看	食	食	食	病	食	食	食	卒	食	食	食	卒
費	費	費	卒	費	費	費	卒	費	費	費	卒	費	費	費	卒
三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三	三、三、三、三、三、三、三、三
三、三、三、三、三、三、三、三				三、三、三、三、三、三、三、三				三、三、三、三、三、三、三、三							

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出決算書)



明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

第六軍管步兵隊				第六軍管砲兵隊				第六軍管工兵隊				第六軍管輜重兵隊			
被	陣	糧	雜	被	陣	糧	雜	被	陣	糧	雜	被	陣	糧	雜
俸	俸	俸	俸	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給
費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
一五七二七三	二四一九七	二一九八三	三九五六七	八九五三	二二八八八	四八五七	二四六九	一五〇七四	一五九二〇	一六九九	一六九九	一六九九	一六九九	一六九九	一六九九
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
四〇五四二九	〇〇	〇〇	〇〇	九三六五四	〇〇	〇〇	〇〇	三三三〇七	〇〇	〇〇	〇〇	一八、五八九	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

戶山學校				教導團官廨				教導團步兵隊				教導團騎兵隊			
被	陣	糧	雜	被	陣	糧	雜	被	陣	糧	雜	被	陣	糧	雜
學	學	學	學	兵	兵	兵	兵	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸
習	習	習	習	看	看	看	看	給	給	給	給	給	給	給	給
費	費	費	費	庫	庫	庫	庫	費	費	費	費	費	費	費	費
一八九三四	一八一	六五	三三〇〇	二八〇	三九八四	四〇八〇	七	二八七八	三九一六四	二七七八	二七五八三	七二五九	三、五八二	四、六〇五	一、二二三
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
六六、九八五	〇〇	〇〇	〇〇	九六八四三	〇〇	〇〇	〇〇	八〇三六六	〇〇	〇〇	〇〇	一九、二五三	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出決算書)

軍醫本部		教導團軍樂隊		教導團工兵隊		教導團砲兵隊	
被服	學費	雜費	俸給	被服	糧食	雜費	俸給
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
服者	生	服具	食	匹服	具食	匹服	具食
費	費	費	費	費	費	費	費
給	給	給	給	給	給	給	給
二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇
三三、四三三	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	一六、八三八	〇〇〇	一六、三三三	〇〇〇

三三二

東京陸軍病院		砲兵第一方面		砲兵第二方面		工兵第一方面	
被服	陣具	雜費	俸給	被服	糧食	雜費	俸給
兵	看	兵	兵	兵	兵	兵	兵
服	病	服	服	服	服	服	服
費	卒	費	費	費	費	費	費
給	給	給	給	給	給	給	給
三三、〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
八、三三三	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出決算書)

三三三

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歲入出豫算書)

本省		陸軍省合計		屯田事務局		憲兵隊	
外國留學生	雜俸	監開被彈兵管	雜俸	雜俸	救監探被	助款債服	
費	費	費	費	費	費	費	費
六八三〇〇	一九八一八五	三〇〇〇〇	九三〇〇〇	一〇六一四〇	二八七三三〇	二四八一五〇	二五、五七〇
	三九三、一〇〇		七、五三四				二七、五四一〇〇
							一〇、六二五、一五六〇〇

二二五

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歲入出豫算書)

病馬廐		軍馬局		工兵第二方面	
雜俸	被彈	雜俸	被陣糧學	雜俸	被兵管
馬	馬	馬	馬	馬	馬
費	費	費	費	費	費
二、三三、七九〇	九、五八、一三三	七、五三四	六、四九九	一、六八、七〇〇	八、七三〇

二二四

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出簿算書)

長崎出張所	東海鎮守府				機關學校				兵學校				水雷局													
	廳	雜	俸	雜	因	徵	管	廳	雜	俸	學	管	教	雜	俸	學	管	教	雜	俸	管	廳	雜	俸		
						獄兵繕					生繕場					生繕場										
費	給	給	件	費	費	費	費	給	給	費	費	費	給	給	費	費	給	給	費	費	給	費	費	給	給	
九六〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
八二八〇	〇〇〇			〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇		〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇				
				一〇一八八三				〇〇〇				〇〇〇		〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇				
				〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇		〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇				

二二七

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出簿算書)

兵器局	醫務局				水路局				主船局							
	兵	管	廳	雜	俸	恩	學	管	廳	雜	俸	船	管	廳	雜	俸
器繕					者生繕				具繕				船炭服只繕			
費	費	費	給	給	費	費	費	費	給	給	費	費	費	費	給	
二〇七三	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
三六九二	〇〇〇			〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇				
〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇				〇〇〇				

二二六

海軍省合計									
各艦諸費					文部省				
石炭	學費	外行	管行	廳結	雜給	俸給	管給	總給	雜給
七〇〇〇〇〇〇	四七五九一〇〇	一八二五五〇〇	四〇〇〇〇〇	四二〇〇〇〇	一四〇〇〇〇〇	八六九三〇〇	二八八九四〇〇	三八九四〇〇〇	三九四三〇〇〇
三三三、五九六、〇〇〇									
本省					音樂取調所				
石炭	學費	外行	管行	廳結	雜給	俸給	管給	總給	雜給
一七、七二二〇〇	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇
一一七、一三〇、〇〇〇									

東京大學					大阪中學校					東京外國語學校					東京師範學校					東京女子師範學校				
學費	管費	總給	雜給	俸給	學費	管費	總給	雜給	俸給	學費	管費	總給	雜給	俸給	學費	管費	總給	雜給	俸給	學費	管費	總給	雜給	俸給
五八七、九〇〇	二四七、二五〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
三、五八八、五二〇					二、五〇〇、〇〇〇					四、五〇〇、〇〇〇					四、三、五五〇					二、七五〇、〇〇〇				

明治十七年五月 大政官 逓 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省	
農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省	
雜俸	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給
四九、五八三	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
九三、九五四	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八、五〇〇		八、二七〇		一、九四〇		九、七八〇		三、九八〇		〇〇〇		〇〇〇		〇〇〇		〇〇〇	
〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇	
九三、八六五		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇	
〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇	

二三〇

農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省	
農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省		農商務省	
雜俸	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給
四三、五八六	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
一八、九五〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
二〇、三三三		一〇、七三三		二一、〇〇一		二一、〇〇四		一〇、六七五		一〇、六七五		〇〇〇		〇〇〇		〇〇〇		〇〇〇	
〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇	
二〇、七三三		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇	
〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇		〇〇	

明治十七年五月 大政官 逓 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

二三一





明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

工部省合計 司法省	鐵道局		電信局		燈臺局		大學校	
	管	廳雜俸	管	廳雜俸	管	廳雜俸	管	廳雜俸
	給	給	給	給	給	給	給	給
	費	費	費	費	費	費	費	費
	1,211,000	1,011,000	1,711,000	1,711,000	1,711,000	1,711,000	1,711,000	1,711,000
	7,640,000	7,640,000	14,990,000	14,990,000	14,990,000	14,990,000	14,990,000	14,990,000
	8,851,000	8,651,000	16,701,000	16,701,000	16,701,000	16,701,000	16,701,000	16,701,000
	9,388,000	9,661,000	18,411,000	18,701,000	18,411,000	18,701,000	18,411,000	18,701,000

二三四

本省	大審院		東京控訴裁判所		大阪控訴裁判所		長崎控訴裁判所		函館控訴裁判所	
	管	廳雜俸	管	廳雜俸	管	廳雜俸	管	廳雜俸	管	廳雜俸
	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給
	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
	5,589,000	1,499,000	5,589,000	1,499,000	5,589,000	1,499,000	5,589,000	1,499,000	5,589,000	1,499,000
	27,133,000	27,133,000	27,133,000	27,133,000	27,133,000	27,133,000	27,133,000	27,133,000	27,133,000	27,133,000
	32,722,000	28,632,000	32,722,000	28,632,000	32,722,000	28,632,000	32,722,000	28,632,000	32,722,000	28,632,000

二三五

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

名古屋控訴裁判所	宮城控訴裁判所	廣島控訴裁判所	東京区内治審安裁判所及	横濱区内治審安裁判所及	千葉区内治審安裁判所及
管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸
給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給
二四一、五〇〇	一八、四〇〇	二〇、〇〇〇	八四、九〇〇	四八、〇〇〇	三三、八〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
二八、一八〇	二一、三〇〇	二四、九〇〇	八四、九〇〇	四八、〇〇〇	三三、八〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
二八、一八〇	二一、三〇〇	二四、九〇〇	八四、九〇〇	四八、〇〇〇	三三、八〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

水戸区内治審安裁判所及	栃木区内治審安裁判所及	浦和区内治審安裁判所及	前橋区内治審安裁判所及	靜岡区内治審安裁判所及	甲府区内治審安裁判所及
管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸
給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給	給 給 給 給 給 給
二五、八〇〇	二二、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
二五、八〇〇	二二、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
二五、八〇〇	二二、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出算書)

其長野 區內始 治審裁 判所及	其新潟 區內始 治審裁 判所及	其京都 區內始 治審裁 判所及	其大阪 區內始 治審裁 判所及	其神戶 區內始 治審裁 判所及	其岡山 區內始 治審裁 判所及
管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸
結	結	結	結	結	結
費 給 給	費 給 給	費 給 給	費 給 給	費 給 給	費 給 給
三三〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	四三〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	四三〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	四三〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	五七〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	七九〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇
五八、九五〇 〇〇〇〇	五、七〇〇 〇〇〇〇	四九、九八六 〇〇〇〇	六、四〇五 〇〇〇〇	六、〇八八 〇〇〇〇	三、七〇七 〇〇〇〇

二三八

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出算書)

其大津 區內始 治審裁 判所及	其福岡 區內始 治審裁 判所及	其金澤 區內始 治審裁 判所及	其富山 區內始 治審裁 判所及	其和歌山 區內始 治審裁 判所及	其德島 區內始 治審裁 判所及
管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸	管 廳 雜 俸
結	結	結	結	結	結
費 給 給	費 給 給	費 給 給	費 給 給	費 給 給	費 給 給
二、〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	二、〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	二、〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一、九〇〇 〇〇〇〇〇〇	二、〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	三、〇〇〇 〇〇〇〇〇〇
二、〇〇〇 〇〇〇〇	二、〇〇〇 〇〇〇〇	二、〇〇〇 〇〇〇〇	一、九二八 〇〇〇〇	二、〇〇八 〇〇〇〇	二、七三八 〇〇〇〇

二三九



明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

其福區內始治審安裁判所及		其仙區內始治審安裁判所及		其宮區內始治審安裁判所及		其鹿兒島區內始治審安裁判所及		其熊本區內始治審安裁判所及		其大分區內始治審安裁判所及			
管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳
雜	俸	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳
雜	俸	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳
給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給
費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
二六六四〇〇〇〇	二七九四〇〇〇〇	三五四八〇〇〇〇	一一三四五〇〇〇	一八二二九〇〇〇〇	一五一三一〇〇〇〇	一〇六八八〇〇〇〇	三七三三九〇〇〇〇	三八四四五〇〇〇〇	三八八〇九〇〇〇〇	二六二二五五〇〇〇〇	一〇九七七一〇〇〇〇	四〇四三三〇〇〇〇	二二九〇一〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
二六六四〇〇〇〇	二七九四〇〇〇〇	三五四八〇〇〇〇	一一三四五〇〇〇	一八二二九〇〇〇〇	一五一三一〇〇〇〇	一〇六八八〇〇〇〇	三七三三九〇〇〇〇	三八四四五〇〇〇〇	三八八〇九〇〇〇〇	二六二二五五〇〇〇〇	一〇九七七一〇〇〇〇	四〇四三三〇〇〇〇	二二九〇一〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	

二四二

其山形區內始治審安裁判所及		其盛岡區內始治審安裁判所及		其秋田區內始治審安裁判所及		其弘前區內始治審安裁判所及		其函館區內始治審安裁判所及		其札幌區內始治審安裁判所及			
管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳
雜	俸	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳
雜	俸	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳
給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給	給
費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
二二九三五〇〇〇〇	二二七五八〇〇〇〇	二二五五二〇〇〇〇	一八二一九〇〇〇〇	二二六八五〇〇〇〇	二二〇七九〇〇〇〇	一六八六六〇〇〇〇	二二八九〇〇〇〇	三三三六四〇〇〇〇	五九九〇〇〇〇〇	一四九九七〇〇〇〇	二八六四〇〇〇〇	二二六四九〇〇〇〇	二二七一九〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
二二九三五〇〇〇〇	二二七五八〇〇〇〇	二二五五二〇〇〇〇	一八二一九〇〇〇〇	二二六八五〇〇〇〇	二二〇七九〇〇〇〇	一六八六六〇〇〇〇	二二八九〇〇〇〇	三三三六四〇〇〇〇	五九九〇〇〇〇〇	一四九九七〇〇〇〇	二八六四〇〇〇〇	二二六四九〇〇〇〇	二二七一九〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

二四三

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

元 老 院		本 院		在 外 公 館		英 國 倫 敦 公 使 館		魯 國 比 特 堡 公 使 館		佛 國 巴 里 公 使 館		米 國 華 盛 頓 公 使 館	
管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳	管	廳
費	給	費	給	費	給	費	給	費	給	費	給	費	給
一〇、三三六	〇〇〇	一〇、三三六	〇〇〇	一〇、三三六	〇〇〇	一〇、三三六	〇〇〇	一〇、三三六	〇〇〇	一〇、三三六	〇〇〇	一〇、三三六	〇〇〇
二五、九四一	〇〇〇	二五、九四一	〇〇〇	二五、九四一	〇〇〇	二五、九四一	〇〇〇	二五、九四一	〇〇〇	二五、九四一	〇〇〇	二五、九四一	〇〇〇
三二、七七一	〇〇〇	三二、七七一	〇〇〇	三二、七七一	〇〇〇	三二、七七一	〇〇〇	三二、七七一	〇〇〇	三二、七七一	〇〇〇	三二、七七一	〇〇〇
二八、四二五	〇〇〇	二八、四二五	〇〇〇	二八、四二五	〇〇〇	二八、四二五	〇〇〇	二八、四二五	〇〇〇	二八、四二五	〇〇〇	二八、四二五	〇〇〇
二七、四九四	〇〇〇	二七、四九四	〇〇〇	二七、四九四	〇〇〇	二七、四九四	〇〇〇	二七、四九四	〇〇〇	二七、四九四	〇〇〇	二七、四九四	〇〇〇

獨 國 伯 靈 公 使 館		伊 國 羅 馬 公 使 館		澳 國 維 也 納 公 使 館		和 蘭 國 海 牙 公 使 館		清 國 北 京 公 使 館		朝 鮮 國 京 城 公 使 館		清 國 上 海 總 領 事 館	
判	及	判	及	判	及	判	及	判	及	判	及	判	及
費	給	費	給	費	給	費	給	費	給	費	給	費	給
三、九七〇	〇〇〇	三、九七〇	〇〇〇	三、九七〇	〇〇〇	三、九七〇	〇〇〇	三、九七〇	〇〇〇	三、九七〇	〇〇〇	三、九七〇	〇〇〇
二六、二四八	〇〇〇	二六、二四八	〇〇〇	二六、二四八	〇〇〇	二六、二四八	〇〇〇	二六、二四八	〇〇〇	二六、二四八	〇〇〇	二六、二四八	〇〇〇
二四、五八〇	〇〇〇	二四、五八〇	〇〇〇	二四、五八〇	〇〇〇	二四、五八〇	〇〇〇	二四、五八〇	〇〇〇	二四、五八〇	〇〇〇	二四、五八〇	〇〇〇
二五、〇〇〇	〇〇〇	二五、〇〇〇	〇〇〇	二五、〇〇〇	〇〇〇	二五、〇〇〇	〇〇〇	二五、〇〇〇	〇〇〇	二五、〇〇〇	〇〇〇	二五、〇〇〇	〇〇〇
三、二二八	〇〇〇	三、二二八	〇〇〇	三、二二八	〇〇〇	三、二二八	〇〇〇	三、二二八	〇〇〇	三、二二八	〇〇〇	三、二二八	〇〇〇
二〇、二九六	〇〇〇	二〇、二九六	〇〇〇	二〇、二九六	〇〇〇	二〇、二九六	〇〇〇	二〇、二九六	〇〇〇	二〇、二九六	〇〇〇	二〇、二九六	〇〇〇
三、一四八	〇〇〇	三、一四八	〇〇〇	三、一四八	〇〇〇	三、一四八	〇〇〇	三、一四八	〇〇〇	三、一四八	〇〇〇	三、一四八	〇〇〇
一、四三三	〇〇〇	一、四三三	〇〇〇	一、四三三	〇〇〇	一、四三三	〇〇〇	一、四三三	〇〇〇	一、四三三	〇〇〇	一、四三三	〇〇〇
一、〇六〇	〇〇〇	一、〇六〇	〇〇〇	一、〇六〇	〇〇〇	一、〇六〇	〇〇〇	一、〇六〇	〇〇〇	一、〇六〇	〇〇〇	一、〇六〇	〇〇〇

朝鮮國釜山總領事館	英國倫敦領事館	佛國里昂領事館	米國紐約領事館	米國桑港領事館	清國香港領事館	清國天津領事館
雜 給	裁 判	醫 院	醫 院	醫 院	醫 院	醫 院
費 費	費 費	費 費	費 費	費 費	費 費	費 費
三,〇〇〇 〇〇〇	九,二七三 〇〇〇	二,一六六 〇〇〇	一,六七八 〇〇〇	二,六七八 〇〇〇	三,五五〇 〇〇〇	五,九二〇 〇〇〇
二,二五九 〇〇〇	一,一七九 〇〇〇	一,一七九 〇〇〇	一,〇五四 〇〇〇	八,三八二 〇〇〇	七,七〇 〇〇〇	六,六七三 〇〇〇

清國芝罘領事館	魯國浦潮貿易事務館	朝鮮國元山領事館	朝鮮國仁川領事館	伊國未蘭領事館	伊國威尼斯貿易事務館
雜 給	雜 給	雜 給	雜 給	醫 院	裁 判
費 費	費 費	費 費	費 費	費 費	費 費
三,〇〇〇 〇〇〇	四,〇〇〇 〇〇〇	八,六八〇 〇〇〇	三,〇〇〇 〇〇〇	四,一〇〇 〇〇〇	一,〇〇〇 〇〇〇
七,八二〇 〇〇〇	四,一七二 〇〇〇	五,七六六 〇〇〇	二,二二三 〇〇〇	二,二五九 〇〇〇	三,六〇〇 〇〇〇







札幌農學校		紋籠製糖所		七重農事務所		根室農事務所	
管	總	管	總	管	總	管	總
管	給	管	給	管	給	管	給
費	費	費	費	費	費	費	費
五、四三〇〇〇	一、九六七五〇	三、一五八〇〇	九、二九〇〇〇	七、六一四〇〇	八、一九五〇〇	六、二四六〇〇	四、二四四〇〇
三、一五八〇〇	九、二九〇〇〇	七、六一四〇〇	八、一九五〇〇	六、二四六〇〇	四、二四四〇〇	四、五二二〇〇	三、四〇〇〇〇
一、九六七五〇	三、一五八〇〇	九、二九〇〇〇	七、六一四〇〇	八、一九五〇〇	六、二四六〇〇	四、二四四〇〇	四、五二二〇〇
五、四三〇〇〇	一、九六七五〇	三、一五八〇〇	九、二九〇〇〇	七、六一四〇〇	八、一九五〇〇	六、二四六〇〇	四、二四四〇〇
五、四三〇〇〇	一、九六七五〇	三、一五八〇〇	九、二九〇〇〇	七、六一四〇〇	八、一九五〇〇	六、二四六〇〇	四、二四四〇〇
六、二八八六七〇〇〇							
二、五四三六一九三〇〇							

營		營	
管	總	管	總
管	給	管	給
費	費	費	費
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
八、四六九〇〇	五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇
五、六〇〇〇〇	四、八五〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
九、六八、七三〇〇〇	一〇、五二七〇〇〇		







栃木縣			三重縣			愛知縣		
恩賜	招給	雜費	恩賜	招給	雜費	恩賜	招給	雜費
助社	魂	籍區	助社	魂	籍區	助社	魂	籍區
長諸	兵諸	編給	長諸	兵諸	編給	長諸	兵諸	編給
費與	費賜	費給	費與	費賜	費給	費與	費賜	費給
二四九六三〇〇〇	一六三三四〇〇〇	四五五九〇〇〇	二〇二一九一〇〇〇	一五九八八〇〇〇	一六六一〇〇〇〇	二〇二一九一〇〇〇	一五九八八〇〇〇	一六六一〇〇〇〇
五〇二一九一〇〇〇			六六九八八〇〇〇			七〇二一九一〇〇〇		

静岡縣			山梨縣			滋賀縣		
恩賜	招給	雜費	恩賜	招給	雜費	恩賜	招給	雜費
助社	魂	籍區	助社	魂	籍區	助社	魂	籍區
長諸	兵諸	編給	長諸	兵諸	編給	長諸	兵諸	編給
費與	費賜	費給	費與	費賜	費給	費與	費賜	費給
三三三三三〇〇〇	二二二二二〇〇〇	一一一一一〇〇〇	三三三三三〇〇〇	二二二二二〇〇〇	一一一一一〇〇〇	三三三三三〇〇〇	二二二二二〇〇〇	一一一一一〇〇〇
三三三三三〇〇〇			三三三三三〇〇〇			三三三三三〇〇〇		

岐 卓 縣														長 野 縣													
地籍編纂費	恩賜費	救助費	招魂社費	雜件費	俸給費	廳費	郡費	徵兵費	史籍編纂費	地籍編纂費	恩賜費	救助費	招魂社費	雜件費	俸給費	廳費	郡費	徵兵費	史籍編纂費	地籍編纂費							
50000	4000	4000	4000	12000	4000	22000	22000	8000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000		
60,267														67,815													
500														500													

宮 城 縣														福 島 縣													
地籍編纂費	恩賜費	救助費	招魂社費	雜件費	俸給費	廳費	郡費	徵兵費	史籍編纂費	地籍編纂費	恩賜費	救助費	招魂社費	雜件費	俸給費	廳費	郡費	徵兵費	史籍編纂費	地籍編纂費							
50000	4000	4000	4000	12000	4000	22000	22000	8000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000	20000		
67,815														84,105													
500														500													



岩手縣		青森縣		山形縣	
地籍編纂費	〇〇〇〇	地籍編纂費	〇〇〇〇	地籍編纂費	一〇八〇〇
史籍編纂費	一五〇〇〇	史籍編纂費	〇〇〇〇	史籍編纂費	一〇〇〇〇
恩賜費	八六〇〇	恩賜費	〇〇〇〇	恩賜費	一〇〇〇〇
救護費	七五〇〇	救護費	〇〇〇〇	救護費	一〇〇〇〇
雜件費	一五〇〇	雜件費	一五〇〇	雜件費	一〇〇〇〇
俸給費	二八,九八五	俸給費	二八,九八五	俸給費	二八,九八五
郡區長諸給	一八,九九〇	郡區長諸給	一八,九九〇	郡區長諸給	一八,九九〇
徵兵諸給	六,二七八	徵兵諸給	六,二七八	徵兵諸給	六,二七八
史籍編纂費	二,五三八	史籍編纂費	二,五三八	史籍編纂費	二,五三八
地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇
恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇
救護費	五〇〇〇	救護費	五〇〇〇	救護費	五〇〇〇
雜件費	一四,四四〇	雜件費	一四,四四〇	雜件費	一四,四四〇
俸給費	一,一三六	俸給費	一,一三六	俸給費	一,一三六
郡區長諸給	三,二二二	郡區長諸給	三,二二二	郡區長諸給	三,二二二
徵兵諸給	八,九九八	徵兵諸給	八,九九八	徵兵諸給	八,九九八
史籍編纂費	三,八九七	史籍編纂費	三,八九七	史籍編纂費	三,八九七
地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇
恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇
救護費	一,五二二	救護費	一,五二二	救護費	一,五二二
雜件費	一,一三三	雜件費	一,一三三	雜件費	一,一三三
俸給費	三,二二二	俸給費	三,二二二	俸給費	三,二二二
郡區長諸給	五,七六六	郡區長諸給	五,七六六	郡區長諸給	五,七六六
徵兵諸給	二,五八〇	徵兵諸給	二,五八〇	徵兵諸給	二,五八〇
史籍編纂費	五,〇〇〇	史籍編纂費	五,〇〇〇	史籍編纂費	五,〇〇〇
地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇
恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇
救護費	一,〇九七	救護費	一,〇九七	救護費	一,〇九七
雜件費	一,〇九七	雜件費	一,〇九七	雜件費	一,〇九七
俸給費	一五,〇〇〇	俸給費	一五,〇〇〇	俸給費	一五,〇〇〇
郡區長諸給	一八,〇〇七	郡區長諸給	一八,〇〇七	郡區長諸給	一八,〇〇七
徵兵諸給	一八,〇〇六	徵兵諸給	一八,〇〇六	徵兵諸給	一八,〇〇六
史籍編纂費	四,九七三	史籍編纂費	四,九七三	史籍編纂費	四,九七三
地籍編纂費	一五,八四〇	地籍編纂費	一五,八四〇	地籍編纂費	一五,八四〇
恩賜費	九,五〇〇	恩賜費	九,五〇〇	恩賜費	九,五〇〇
救護費	五〇〇〇	救護費	五〇〇〇	救護費	五〇〇〇
雜件費	一八〇	雜件費	一八〇	雜件費	一八〇
俸給費	三〇,一三〇	俸給費	三〇,一三〇	俸給費	三〇,一三〇
郡區長諸給	一六,六一五	郡區長諸給	一六,六一五	郡區長諸給	一六,六一五
合計	六四,九九四	合計	六四,九九四	合計	六四,九九四
合計	一〇〇,〇〇〇	合計	一〇〇,〇〇〇	合計	一〇〇,〇〇〇

秋田縣		福井縣	
地籍編纂費	〇〇〇〇	地籍編纂費	〇〇〇〇
史籍編纂費	一五〇〇〇	史籍編纂費	〇〇〇〇
恩賜費	八六〇〇	恩賜費	〇〇〇〇
救護費	七五〇〇	救護費	〇〇〇〇
雜件費	一五〇〇	雜件費	一〇〇〇〇
俸給費	二八,九八五	俸給費	二八,九八五
郡區長諸給	一八,九九〇	郡區長諸給	一八,九九〇
徵兵諸給	六,二七八	徵兵諸給	六,二七八
史籍編纂費	二,五三八	史籍編纂費	二,五三八
地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇
恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇
救護費	五〇〇〇	救護費	五〇〇〇
雜件費	一四,四四〇	雜件費	一四,四四〇
俸給費	一,一三六	俸給費	一,一三六
郡區長諸給	三,二二二	郡區長諸給	三,二二二
徵兵諸給	八,九九八	徵兵諸給	八,九九八
史籍編纂費	三,八九七	史籍編纂費	三,八九七
地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇
恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇
救護費	一,五二二	救護費	一,五二二
雜件費	一,一三三	雜件費	一,一三三
俸給費	三,二二二	俸給費	三,二二二
郡區長諸給	五,七六六	郡區長諸給	五,七六六
徵兵諸給	二,五八〇	徵兵諸給	二,五八〇
史籍編纂費	五,〇〇〇	史籍編纂費	五,〇〇〇
地籍編纂費	九,五〇〇	地籍編纂費	九,五〇〇
恩賜費	五〇〇〇	恩賜費	五〇〇〇
救護費	一,〇九七	救護費	一,〇九七
雜件費	一,〇九七	雜件費	一,〇九七
俸給費	一五,〇〇〇	俸給費	一五,〇〇〇
郡區長諸給	一八,〇〇七	郡區長諸給	一八,〇〇七
徵兵諸給	一八,〇〇六	徵兵諸給	一八,〇〇六
史籍編纂費	四,九七三	史籍編纂費	四,九七三
地籍編纂費	一五,八四〇	地籍編纂費	一五,八四〇
恩賜費	九,五〇〇	恩賜費	九,五〇〇
救護費	五〇〇〇	救護費	五〇〇〇
雜件費	一八〇	雜件費	一八〇
俸給費	三〇,一三〇	俸給費	三〇,一三〇
郡區長諸給	一六,六一五	郡區長諸給	一六,六一五
合計	六四,九九四	合計	六四,九九四
合計	一〇〇,〇〇〇	合計	一〇〇,〇〇〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

石川縣		富山縣		鳥取縣	
郡	區	郡	區	郡	區
郡區長諸給	五二七九〇〇〇	郡區長諸給	一八二三〇〇〇	郡區長諸給	八七〇〇〇〇
地籍編纂費	九五〇〇〇	地籍編纂費	五〇〇〇〇	地籍編纂費	三〇〇〇〇
史籍編纂費	一八二三〇〇〇	史籍編纂費	一〇〇〇〇	史籍編纂費	五〇〇〇〇
恩賜費	六八二五〇	恩賜費	三三〇〇〇	恩賜費	一〇〇〇〇
救護費	一三六〇〇〇	救護費	六八二五〇	救護費	一〇〇〇〇
雜費	三三〇〇〇	雜費	三三〇〇〇	雜費	三三〇〇〇
俸給費	二九九九四〇〇	俸給費	一八二八一〇〇	俸給費	一〇〇〇〇〇
郡費	三〇〇〇〇	郡費	三〇〇〇〇	郡費	三〇〇〇〇
徵費	三〇〇〇〇	徵費	三〇〇〇〇	徵費	三〇〇〇〇
史籍費	三〇〇〇〇	史籍費	三〇〇〇〇	史籍費	三〇〇〇〇
恩賜費	三〇〇〇〇	恩賜費	三〇〇〇〇	恩賜費	三〇〇〇〇
救護費	三〇〇〇〇	救護費	三〇〇〇〇	救護費	三〇〇〇〇
雜費	三〇〇〇〇	雜費	三〇〇〇〇	雜費	三〇〇〇〇
俸給費	三〇〇〇〇	俸給費	三〇〇〇〇	俸給費	三〇〇〇〇
總計	五六八五九二五〇	總計	五五〇八三五〇〇	總計	四八五四三五〇〇

鳥根縣		岡山縣	
郡	區	郡	區
郡區長諸給	六一〇〇〇〇	郡區長諸給	八六五三〇七五〇
地籍編纂費	一〇〇〇〇〇	地籍編纂費	一〇〇〇〇〇
史籍編纂費	一〇〇〇〇〇	史籍編纂費	一〇〇〇〇〇
恩賜費	一〇〇〇〇〇	恩賜費	一〇〇〇〇〇
救護費	一〇〇〇〇〇	救護費	一〇〇〇〇〇
雜費	一〇〇〇〇〇	雜費	一〇〇〇〇〇
俸給費	一〇〇〇〇〇	俸給費	一〇〇〇〇〇
郡費	一〇〇〇〇〇	郡費	一〇〇〇〇〇
徵費	一〇〇〇〇〇	徵費	一〇〇〇〇〇
史籍費	一〇〇〇〇〇	史籍費	一〇〇〇〇〇
恩賜費	一〇〇〇〇〇	恩賜費	一〇〇〇〇〇
救護費	一〇〇〇〇〇	救護費	一〇〇〇〇〇
雜費	一〇〇〇〇〇	雜費	一〇〇〇〇〇
俸給費	一〇〇〇〇〇	俸給費	一〇〇〇〇〇
總計	六一〇〇〇〇〇	總計	八六五三〇七五〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度廢入出豫算書)

愛媛縣											德島縣										
郡區	廳長	俸給	雜費	救恩	地籍	史誌	徵兵	郡區	廳長	俸給	雜費	救恩	地籍	史誌	徵兵	郡區	廳長	俸給	雜費	救恩	
四、一三〇〇〇〇	二、二〇〇〇〇	三、七五〇〇	二、四〇〇〇	二、〇〇〇〇	五、〇〇〇〇	九、五〇〇〇	五、九四〇〇	八〇、四九〇〇	二、三三九〇〇	三、七四八〇〇	二、〇〇〇〇	二、〇〇〇〇	五、〇〇〇〇	九、五〇〇〇	五、九四〇〇	八〇、四九〇〇	二、三三九〇〇	三、七四八〇〇	二、〇〇〇〇	二、〇〇〇〇	
八、一九三六〇〇〇											五、七三三六〇〇〇										
二六九																					

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度廢入出豫算書)

和歌山縣											山口縣											廣島縣										
地籍	史誌	徵兵	郡區	廳長	俸給	雜費	招魂	救恩	地籍	史誌	徵兵	郡區	廳長	俸給	雜費	招魂	救恩	地籍	史誌	徵兵	郡區	廳長	俸給	雜費	招魂	救恩						
五、〇〇〇〇〇	九、五〇〇〇〇	一、五〇〇〇〇	五、一六〇〇〇	五、一六〇〇〇	一、六四八三〇	五、二七五〇〇	九、〇〇〇〇〇	一、〇八〇〇〇	二、三〇〇〇〇	一、八五〇〇〇	五、〇〇〇〇〇	九、五〇〇〇〇	三、八八一〇〇	六、六七七〇〇	三、〇一一〇〇	三、三〇二〇〇	三、三〇二〇〇	五、〇〇〇〇〇	九、五〇〇〇〇	五、〇〇〇〇〇	三、三三九〇〇	三、三三九〇〇	二、三三六〇〇	一、三七〇〇〇	三、五〇〇〇〇	三、五〇〇〇〇	六、九七四〇〇	三、六六九〇〇				
五、三三六〇〇〇											七、四六五〇〇〇											七、七五三〇〇〇										
二六八																																

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出概算書)

高知縣		福岡縣		大分縣																				
徵	恩	救	雜	俸	廳	郡	史	地	籍	恩	救	雜	俸	廳	郡	史	地	籍	恩	救	雜	俸	廳	
兵	誌	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂
兵	誌	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂
費	賜	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
二,七三〇	〇〇〇	九,五〇〇	一,五〇〇	七,二〇〇	六,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇
六,五〇〇	〇〇〇	八,一〇〇	〇〇〇	八,一〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
二,七三〇	〇〇〇	九,五〇〇	一,五〇〇	七,二〇〇	六,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇

二七〇

佐賀縣		熊本縣																						
徵	恩	救	雜	俸	廳	郡	史	地	籍	恩	救	雜	俸	廳	郡	史	地	籍	恩	救	雜	俸	廳	
兵	誌	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂
兵	誌	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂	魂
費	賜	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
二,七三〇	〇〇〇	九,五〇〇	一,五〇〇	七,二〇〇	六,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇
六,五〇〇	〇〇〇	八,一〇〇	〇〇〇	八,一〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
二,七三〇	〇〇〇	九,五〇〇	一,五〇〇	七,二〇〇	六,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出概算書)

二七一

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

宮崎縣		鹿兒島縣		沖繩縣		本廳	
郡區長諸給與	五、四八八	郡區長諸給與	二、〇〇九	雜招魂社	二、四七九	雜招魂社	七、九二九
史誌編纂費	九、五〇〇	史誌編纂費	五、〇〇〇	地籍編纂費	四、九二五	地籍編纂費	一、四八〇
徵兵費	五、〇〇〇	徵兵費	四、五五五	徵兵費	三、六八三	徵兵費	九、五〇〇
郡區長諸給與	二、〇〇〇	郡區長諸給與	二、〇〇〇	郡區長諸給與	二、〇〇〇	郡區長諸給與	三、五〇〇
廳區長諸給與	三、六八三	廳區長諸給與	二、〇〇〇	廳區長諸給與	二、〇〇〇	廳區長諸給與	二、〇〇〇
史誌編纂費	九、五〇〇	史誌編纂費	五、〇〇〇	史誌編纂費	四、九二五	史誌編纂費	九、五〇〇
恩賜費	三、五〇〇	恩賜費	二、〇〇〇	恩賜費	二、〇〇〇	恩賜費	六、七五〇
救魂社	二、〇〇〇	救魂社	二、〇〇〇	救魂社	二、〇〇〇	救魂社	二、〇〇〇
雜招魂社	二、〇〇〇	雜招魂社	二、〇〇〇	雜招魂社	二、〇〇〇	雜招魂社	二、〇〇〇
總計	五、五七六	總計	二、〇〇〇	總計	七、九二九	總計	八、一八二

札幌縣		地方費		本廳	
雜生及病院費	二、六八〇	雜生及病院費	一、八四三	雜生及病院費	一、〇八一
衛生費	一、八四三	衛生費	一、〇〇〇	衛生費	一、〇〇〇
救護費	四、〇〇〇	救護費	一、〇〇〇	救護費	一、〇〇〇
浦役場及雜破船諸費	二、〇〇〇	浦役場及雜破船諸費	一、〇〇〇	浦役場及雜破船諸費	一、〇〇〇
諸遊藝及揭示諸費	三、七〇〇	諸遊藝及揭示諸費	一、〇〇〇	諸遊藝及揭示諸費	一、〇〇〇
勸業費	八、二二九	勸業費	一、〇〇〇	勸業費	一、〇〇〇
未決人諸費	一、一八六	未決人諸費	一、〇〇〇	未決人諸費	一、〇〇〇
已決人諸費	二、八一五	已決人諸費	一、〇〇〇	已決人諸費	一、〇〇〇
各役場所諸費	三、一六六	各役場所諸費	一、〇〇〇	各役場所諸費	一、〇〇〇
各役以下給料	一、〇二〇	各役以下給料	一、〇〇〇	各役以下給料	一、〇〇〇
地頭代以下給料	三、八四五	地頭代以下給料	一、〇〇〇	地頭代以下給料	一、〇〇〇
總計	四六、八〇七	總計	二、〇〇〇	總計	二、〇〇〇
廳區長諸給與	四、四九六	廳區長諸給與	二、〇〇〇	廳區長諸給與	二、〇〇〇
貨幣交換費	五、三〇七	貨幣交換費	一、〇〇〇	貨幣交換費	一、〇〇〇
史誌編纂費	九、五〇〇	史誌編纂費	一、〇〇〇	史誌編纂費	一、〇〇〇
恩賜費	一、五八〇	恩賜費	一、〇〇〇	恩賜費	一、〇〇〇
救魂社	六、七五〇	救魂社	一、〇〇〇	救魂社	一、〇〇〇
雜招魂社	一、〇〇〇	雜招魂社	一、〇〇〇	雜招魂社	一、〇〇〇
總計	一一三、二八〇	總計	二、〇〇〇	總計	二、〇〇〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

根室縣計		本廳		地方費補給		雜費		府縣徵稅費		警察費	
俸給	15,300.00	俸給	3,000.00	雜費	3,000.00	雜費	3,000.00	雜費	3,000.00	雜費	3,000.00
區長諸給與	2,300.00	區長諸給與	2,300.00	雜費	2,300.00	雜費	2,300.00	雜費	2,300.00	雜費	2,300.00
幣換費	800.00	幣換費	800.00	雜費	800.00	雜費	800.00	雜費	800.00	雜費	800.00
史誌編輯費	800.00	史誌編輯費	800.00	雜費	800.00	雜費	800.00	雜費	800.00	雜費	800.00
救助費	1,000.00	救助費	1,000.00	雜費	1,000.00	雜費	1,000.00	雜費	1,000.00	雜費	1,000.00
大助費	2,000.00	大助費	2,000.00	雜費	2,000.00	雜費	2,000.00	雜費	2,000.00	雜費	2,000.00
雜費	3,000.00	雜費	3,000.00	雜費	3,000.00	雜費	3,000.00	雜費	3,000.00	雜費	3,000.00
總計	27,800.00	總計	27,800.00	總計	27,800.00	總計	27,800.00	總計	27,800.00	總計	27,800.00

警視廳		本廳		三府各縣		警部給與		備外國人給與		伊豆七島警察費		東京府警察費		神奈川縣警察費		府縣下渡金		集治監		東京集治監	
俸給	28,320.00	俸給	4,850.00	俸給	3,110.00	俸給	3,600.00	俸給	1,500.00	俸給	1,500.00	俸給	1,500.00	俸給	1,500.00	俸給	1,500.00	俸給	1,500.00	俸給	1,500.00
雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00	雜費	4,850.00
總計	33,170.00	總計	9,700.00	總計	8,000.00	總計	8,400.00	總計	6,350.00	總計	6,350.00	總計	6,350.00	總計	6,350.00	總計	6,350.00	總計	6,350.00	總計	6,350.00

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)

官城集治監	三池集治監	樺戶集治監	空知集治監	在府縣獄囚徒費
已管 決 費 五八六五〇〇〇	已管 決 費 三八八四七〇〇	已管 決 費 三六〇〇〇〇〇	已管 決 費 二八〇〇〇〇〇	已管 決 費 五八八二〇〇〇
雜 俸 給 費 二八七九〇〇〇	雜 俸 給 費 二〇〇〇〇〇〇	雜 俸 給 費 一〇〇〇〇〇〇	雜 俸 給 費 一〇〇〇〇〇〇	雜 俸 給 費 一〇〇〇〇〇〇
已管 決 費 二八七九〇〇〇	已管 決 費 二〇〇〇〇〇〇	已管 決 費 一〇〇〇〇〇〇	已管 決 費 一〇〇〇〇〇〇	已管 決 費 一〇〇〇〇〇〇
總計 費 二八七九〇〇〇	總計 費 二〇〇〇〇〇〇	總計 費 一〇〇〇〇〇〇	總計 費 一〇〇〇〇〇〇	總計 費 一〇〇〇〇〇〇

集治監合計	神官司廳諸費	各官幣社諸費	各國幣社諸費	各社遷宮諸費	靖國神社寄附金	神社費合計	備荒儲蓄	府縣下渡金	中央儲蓄金	備荒儲蓄合計	雜支	皇城周圍修繕費	勳章賞牌及賜金費	賞盃賜金費	雜出	雜支出合計	經常歲出合計	臨時歲出	興業費	海軍省造船	橫須賀造船所	
六四六、一三二、〇〇〇	六、四二二、二五〇	一、一五三、三三〇	六、二二九、九四〇	三、七四九、〇三六	六、七五〇、〇〇〇	一、五二四、二七三	九、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	四、五六六、〇〇〇	三、一三三、〇〇〇	二、七六七、〇〇〇	一、二七六、七〇〇	六、四二二、二七三	六、四二二、二七三	〇	〇	〇	〇	九、八八〇、〇〇〇
六四六、一三二、〇〇〇	六、四二二、二五〇	一、一五三、三三〇	六、二二九、九四〇	三、七四九、〇三六	六、七五〇、〇〇〇	一、五二四、二七三	九、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	四、五六六、〇〇〇	三、一三三、〇〇〇	二、七六七、〇〇〇	一、二七六、七〇〇	六、四二二、二七三	六、四二二、二七三	〇	〇	〇	〇	九、八八〇、〇〇〇

明治十七年五月 大政官 達 第五十四號 (明治十七年度歳入出豫算書)





軍備部線入

臨時放出合計  
歳出總計

一九四、二〇〇
一四、一七、七、八、四
七、五、九、八、一、五、二
〇〇〇〇〇

附 錄

一 内外國債ノ未償額ハ(十七年四月三十日)三億貳千四百七拾萬九千九拾三圓八拾錢ニシテ之ヲ前年度ノ在高三億三千五百三拾六萬六千八百八拾六圓三拾錢ニ比スレハ實ニ千六百六拾五萬七千七百七拾貳圓五拾錢ヲ減少セリ然ル所以ハ金札引換公債ニ於テ三拾貳萬五千九百五拾圓金札引換無記名公債ニ於テ百貳拾五萬圓中山道鐵道公債ニ於テ三百九萬九千六百圓ヲ發行シ又各種公債ノ整理上ニ於テ五千三百圓ヲ増シ合計四百六拾七萬貳千八百五拾圓ヲ増加スト雖モ新公債金札引換公債秩祿公債其他各種ノ内國債ヲ償還スルモノ千貳萬三千六百拾五圓外國債ヲ償還スルモノ四拾三萬四拾六圓又流通紙幣ヲ消却スルモノ四百八拾七萬五千九百五拾圓換改紙幣ヲ引揚ルモノ四拾壹圓五拾錢合計千五百三拾三萬貳拾貳圓五拾錢ヲ減少スルニ由ル

一 本年度準備部ノ在高(十七年四月三十日)八千四百七拾萬二千五百五拾六圓四錢三厘ニシテ之ヲ前年度ノ在高五千二百四拾壹萬五千四百九拾圓四錢貳厘ニ比スレハ實ニ六百壹萬貳千三百三拾四圓三拾九錢九厘ヲ減少セリ然ル所以ハ十二年度常用ノ殘金拾三圓七拾四錢四厘十四年度常用ノ殘金壹萬千七百拾圓貳錢貳厘ヲ挿入シ又本部所有ノ公債證書ニ係ル利子及當籤差益金其他ノ諸收入ニ於テ九拾三萬八千六百七拾四圓八拾六錢七厘合計九拾五萬三千九拾八圓六拾三錢三厘ヲ増加スト雖モ曾テ征討費トシテ借入タル金額ヲ償却スル等ノ爲メ常用部ニ増入ヲ爲スモノ五百貳拾貳萬三千四百貳拾九圓四拾錢六厘正貨交換差損等ニ係ルモノ百七拾三萬九千三百三圓六拾貳錢六厘合計六百九拾六萬貳千七百三拾三圓三錢貳厘ノ減少アルニ由ル

一 貸付金ノ總額ハ貳千三百六拾九萬六千六百貳拾八圓四拾錢(十七年四月三十日)ニシテ之ヲ前年度ノ在高千九百六萬千五百五拾九圓貳拾九錢七厘ニ比スレハ四百六拾三萬四千五百六拾九圓拾錢三厘ヲ増加セリ然ル所以ハ救助貸付等ニ於テ還納ヲ了セシカ爲メ三拾七萬三千四百八拾貳圓六拾四錢五厘暨濟貸其他ニ於テ整理及ヒ棄捐等ノ爲メ六拾八萬三千九百九拾七圓六拾五錢七厘各廳營業資本ノ内欠損拂ノ處分ヲ爲セシカ爲メ五拾貳萬五千五百七圓七拾四錢貳厘合計百五拾八萬貳千九百八拾八圓四錢四厘ヲ減少スト雖モ營業資本等各廳ヘノ交付高四千三百八拾貳圓拾八錢四厘更正處分等ノ爲メ追加ニ係ルモノ三拾貳萬三千七百七拾四圓九拾六錢三厘從來準備金ヨリ貸付セシ金員ヲ常用ノ貸金ニ振替タルモノ五百八拾九萬圓合計六百貳拾壹萬七千五百五拾七圓四錢七厘ノ増加アルニ由ル

一 備荒儲蓄金ノ在高(十七年四月三十日)八百貳拾三萬五千五百五拾四圓七拾四錢三厘ニシテ之ヲ前年度ノ在高八百八拾九萬七千六百九拾五圓貳拾三錢八厘ニ比スレハ三拾二萬貳千八百五拾九圓五拾錢五厘ヲ増加セリ然ル所以ハ備荒儲蓄法ニ據リ各府縣ヘ配付セシ殘餘金十五年度下半年分及ヒ十六年度上半年分各拾五萬圓ヲ挿入シ並ニ曾テ購收セシ金札引換公債證書ヨリ生スル利子ノ收入等三萬貳千八百五拾九圓五拾錢五厘ヲ加算セシニ由ル

一 別途金ノ在高(十七年四月三十日)之ヲ前年度ノ在高八拾八萬四千五百八圓貳錢ニ比スレハ拾壹萬五千四百九拾壹圓九拾八錢ノ増加ナリ然ル所以ハ之ヲ金札引換公債證書ニ換ヘ(其紙幣ハ之)以テ漸次増殖ヲ謀ルカ爲メ銀貨ヲ紙幣ニ兌換セシニ由ル

國債之部

有利利息債 金貳億千四百四拾七萬九千三百拾圓

内

金千七拾五萬貳千四百五拾圓  
 金六百七萬三百五拾圓  
 金百貳拾五萬圓  
 金壹億七千八百八拾三萬五千八百三拾五圓  
 金三千百五萬三千三百四拾五圓  
 内 金貳千四百七拾壹萬三千貳百七拾五圓  
 金壹億六千九拾九萬九千七百圓  
 金九百七萬九千五百拾五圓  
 金拾四萬七千百貳拾五圓  
 金千三百三拾三萬九千九百五拾圓  
 金三百九萬九千六百圓  
 金千萬圓  
 無利息債 金八百三拾三萬九千貳百七拾壹圓  
 紙幣流通高 金九千三百四拾壹萬四千三百六拾圓八拾錢  
 合金三億千六百貳拾三萬貳千九百四拾壹圓八拾錢  
 内 金四百六拾七萬貳千八百五拾圓  
 内 金四百六拾六萬七千五百五拾圓

新 公 利 價  
 金 四 分 公 利 價  
 金 六 分 公 利 價  
 金 六 分 公 利 價  
 金 六 分 公 利 價  
 五 分 公 利 價  
 六 分 公 利 價  
 七 分 公 利 價  
 壹 分 公 利 價  
 舊 神 官 配 當 公 債  
 起 八 分 公 利 價  
 中 山 道 鐵 道 公 債  
 征 七 分 公 利 價  
 七 分 公 利 價  
 明 治 十 六 年 度 豫 算 表 出 高 ヲ ヲ 増  
 公 債 發 行 増

金三拾貳萬五千九百五拾圓

内 金百貳拾五萬圓

金三百九萬千六百圓

金五千三百圓

金五百圓

内 金貳百七拾五圓

金四千五百貳拾五圓

外 金千四百八拾九萬九千六百六圓五拾錢

内

金千貳萬三千六百拾五圓

金拾萬四百七拾五圓

金拾萬四百圓

金三百貳拾六萬五千五拾圓

金拾八萬五百三拾圓

金拾四萬四千五百貳拾圓

内 金六拾貳萬貳千四拾五圓

金五萬三千九拾五圓

金壹萬九千九百五拾圓

金三拾壹萬七千百圓

金 札 引 換 公 債  
 金 札 引 換 無 記 名 公 債  
 中 山 道 鐵 道 公 債  
 公 債 整 理 増  
 金 祿 公 債  
 舊 神 官 配 當 公 債  
 明 治 十 六 年 度 豫 算 表 出 高 ヲ ヲ 減  
 公 債 債 却 減  
 新 公 債  
 金 札 引 換 公 債  
 秩 祿 公 債  
 金 祿 公 債  
 同 五 分 公 債  
 同 六 分 公 債  
 同 七 分 公 債  
 同 壹 分 公 債  
 舊 神 官 配 當 公 債  
 起 業 公 債

金五百萬圓  
 金貳拾貳萬四百五拾圓  
 金四百八拾七萬五千九百九拾壹圓五拾錢  
 金三百三拾萬圓  
 內 金三拾貳萬五千九百五拾圓  
 金百貳拾五萬圓  
 金四拾壹圓五拾錢  
 外國債  
 金八百四拾七萬六千七拾貳圓  
 外金四拾三萬四百拾六圓  
 内外國債合計金三億貳千四百七拾萬九千九拾三圓八拾錢  
 準備之部  
 金四千七百四拾萬三千五百五拾六圓四錢三厘  
 貸付之部  
 金貳千三百六拾九萬六千百貳拾八圓四拾錢  
 中央儲蓄金之部  
 金貳百貳拾三萬五百五拾四圓七拾四錢三厘  
 別途金  
 金百萬圓

征討費借入  
 舊公債  
 紙幣  
 支  
 金札引換公債證書  
 交換無記名公債  
 金札引換無記名公債  
 證書交換  
 描改札引上

新分公債  
 明治十七年度豫算表  
 出高ノ内減





第八十六號達參看  
二十二年法律第四  
號第三十二號ニ依  
リ消滅  
十八年大政官第三  
十四號達ニ依リ消  
滅

十九年勅令第二號  
ニ依リ消滅

○第五十五號 (五月二十九日)

官省院廳府縣

本年一月第五號同月第三拾五號達ニ據リ十七年度以降官吏ノ退職死亡ニ係ル一時賜金陸軍恩給令及  
アル賑恤金ヲ要スルトキハ其都度大藏省ヘ可申出此旨相達候事

給助金トモ

官省院府縣

○第五十六號 (六月七日)  
明治十四年第一號壹號達警視廳官等俸給表中奏任官ノ月給ハ文官一般ノ例規ニ從フノ下ニ左ノ但書  
ヲ追加候條此旨相達候事

○第五十七號 (六月十三日)

官省院廳府縣

官吏職務上ニ係リ刑事裁判ノ證人トシテ裁判所ニ出頭スル時ハ治罪法ニ依リ旅費日當ヲ請求スル  
コトヲ得ルト雖トモ被告事件無罪又ハ免訴トナリタル時ハ請求セサル儀ト心得可シ  
但旅費日當ヲ請求シタル時其金額ハ雜收入トシテ大藏省ヘ納付ス可シ

右相達候事

○第五十八號 (六月十三日)

官省院廳府縣

大藏省中鑑定役ヲ主稅鑑定役見習ヲ主稅鑑定役見習ト改稱候條此旨相達候事  
但等級月俸從前ノ通

○第五十九號 (六月十四日)

官省院廳府縣

明治十年七月第五拾號及ヒ第五拾壹號達各廳爲換方命令書案第十七條左ノ通改正候條本年七月一日  
ヨリ施行スヘシ此旨相達候事

第十七條

一各地方ヘ爲換ヲ命シタルトキ無期限ノ分ハ送金手形該地ヘ到達後何日(二日又ハ三日ト)限リ相

明治十七年五月六月 大政官 達 第五十五號 第五十六號 第五十七號 第五十八號 第五十九號

納ムヘシ右手敷料ハ有期限無期限トモ一口金百圓未滿ハ遠近ニ拘ハラズ金壹錢ヲ下渡スヘシ  
又一ト口滿百圓以上ハ百圓ニ付拾里毎ニ金何錢(銀錢ヨリ取錢五厘迄ヲ)ト定メ毎年六月十二月  
ニ拂渡スヘシ  
但書從前ノ通

○第六十號 (六月十八日)

官省院廳府縣

明治十六年九月第三拾七號陸軍軍恩給令中左ノ通更正候條此旨相達候事

第十六條中(尙ホ檢閱監軍部長ノ審査ヲ經テ之ヲ陸軍卿ニ移ス)ヲ(所管長官ヨリ之ヲ陸軍卿ニ呈  
ス)ニ更ム

第四十三條中(檢閱監軍部長ヲ經テ)ノ九字ヲ刪ル

○第六十一號 (七月五日)

官省院廳府縣

經費金支出條規左ノ通相定來ル十八年度ヨリ施行候條此旨相達候事

經費金支出條規

第一條 各廳ノ經費金ハ總テ大藏省ニ於テ之ヲ管理シ其仕拂ヲ執行スヘシ

第二條 各廳ノ經費ハ其一周年度中ニ係ル支出ノ月額ヲ定ムヘシ但支出期節ノ豫定シ難キモノハ  
此限ニアラス

第三條 經費豫算額ノ裁定アルトキハ各廳長官ハ支出額ノ仕譯書ヲ大藏卿ヘ送付シ其調査ヲ受ク  
ヘシ

第四條 前條ノ調査ヲ受ルニアラサレハ各廳長官ハ仕拂ヲ請求スルコトヲ得ス但年度ノ初一ヶ月  
分ハ年額十二分ノ一ニ超ヘサレハ調査ヲ受サルモ仕拂ヲ請求スルコトヲ得

第五條 仕譯書ヲ出シタル後期節金員ニ變更ヲ要スルコトアルトキハ其都度訂正仕譯書ヲ大藏卿

二十三年法律第四  
十五號ニ依リ消滅

第九十號達參看十  
八年大政官第十一  
號達十九年閣令第  
三號ニ依リ消滅

ヘ送付シ更ニ調査ヲ受ルニアラサレハ仕拂ヲ請求スルコトヲ得ス

第六條 各廳長官ハ經費ノ支出ヲ要スル毎ニ仕拂請求書ヲ大藏卿ヘ差出シ其承認ヲ受クヘシ

第七條 各廳長官ハ大藏卿ヨリ仕拂請求書ノ承認ヲ得ルニアラサレハ仕拂切符ヲ發行セシムルコ  
トヲ得ス

第八條 大藏省ハ仕拂切符ヲ受ルニアラサレハ現金ヲ仕拂コトヲ得ス

第九條 經費金ノ支出ハ大藏省開廳時間ニ限ルモノトス但臨時急施ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第十條 在外各廳ノ經費ハ年額ヲ四分シテ大藏省ヨリ金員ヲ交付スヘシ但毎會計年度第一期分ノ  
交付額ハ前年度ノ豫算額ニ據ル

第十一條 在外各廳ハ毎月其仕拂タル金員ノ精算書ヲ製シ翌月七日マテニ其地ヲ發シテ之ヲ大藏  
省ヘ送付スヘシ

第十二條 陸軍ノ行軍費海軍ノ航海費ニ限リ計算書ニ依リ其都度現金ヲ交付スルコトアルヘシ

第十三條 前條ノ金員ヲ受取タル主任ノ會計官吏ハ毎月其仕拂タル金員ノ精算書ヲ製シ翌月七日  
マテニ其所在地若クハ碇泊地ヲ發シテ之ヲ大藏省ヘ送付スヘシ

第十四條 在地方各廳ハ第三條ノ仕譯書調査濟ノ通知ヲ得タル後經費ノ支出ヲ要スルトキハ支出  
金員ノ仕拂明細書ヲ大藏卿ノ指名シタル現金仕拂所ヘ送付シ仕拂切符ヲ發行スヘシ

第十五條 在地方各廳ハ毎月支出シタル金員ノ精算書ヲ製シ翌月七日マテニ其廳ヲ發シテ之ヲ大  
藏省ヘ送付スヘシ

第十六條 現金仕拂所ヲ設置セサル地方ニ各廳ノ支部局アルトキハ大藏省ハ便宜ノ方法ヲ設ケテ  
其經費金ヲ交付スヘシ

第十七條 前條ノ支部局ハ毎月仕拂タル金員ノ精算書ヲ製シ翌月五日マテニ其地ヲ發シテ之ヲ主

十八年大藏省第二十一號達察看

第六十三號達察看  
二年勅令第九十三號

十九年勅令第三十三號  
內務省令第二十號  
陸軍省令第二十號

十九年勅令第五十二號  
依リ消滅

二十一年勅令第八十九號  
依リ消滅

明治十七年七月八月 大政官 達 第六十二號 第六十三號 第六十四號 第六十五號 第六十六號

二八八

管廳へ送致シ主管廳ハ到達後三日以内ニ之ヲ大藏省へ送付スヘシ  
第十八條 此條規ニ關スル取扱ノ細則ハ大藏卿之ヲ定ムヘシ

第十九條 現行法規中此條規ニ抵觸スル條項ハ廢止ス

○第六十二號 (七月七日)

官省院廳府縣

兵庫縣下兵庫ニ假留監ヲ設置シテ內務省ノ直轄ト爲シ東京宮城三池ノ三集治監中ニ假留監ヲ附設

シ北海道集治監ニ發遣スヘキ囚徒ヲ一時拘禁スルノ所ト相定候條此旨相達候事

○第六十三號 (七月七日)

今般第六拾貳號ヲ以テ相達候假留監ニ典獄副典獄書記看守長看守ヲ置キ其官等俸給職制及ヒ服制

等ハ總テ明治十四年三月第拾四號第拾七號第拾九號達ニ依ル此旨相達候事

官省院廳府縣

○第六十四號 (七月十一日)  
明治十五年六月第三十三號達海軍武官官等表中掌砲上長掌砲長水兵上長水兵長填築工長填築工長屬

ヲ廢シ一等兵曹ノ上ニ左ノ官ヲ置キ候條此旨相達候事

九	等	十	等
判	士	官	任
准	兵曹上長	兵曹長	

○第六十五號 (七月十四日)

官省院廳府縣

明治十二年一月第一號達海軍會葬式第三條第七條中軍醫總監トアルヲ機關總監軍醫總監主計總監ト

改正候條此旨相達候事

官省院廳府縣

○第六十六號 (八月一日)

乘馬飼養令左ノ通相定候條此旨相達候事

乘馬飼養令

第一條 勅委任文武官ハ乘馬ヲ飼養ス可シ

但陸軍武官並ニ警視官等ニシテ乘馬本分ノ職ヲ奉スル者ハ其本分ノ馬匹ハ各其規則ニ依ル海

軍武官ハ海上勤務奉職中ノ者ヲ除ク

第二條 文武官飼養ノ馬匹ハ戰時若クハ事變ニ際シ軍用ニ供給スルノ義務アルモノトス

第三條 勅委任官ハ年俸ト月俸ト月間ハス一箇月俸給百圓以上ヲ受ル者モ包含スニ限リ左ニ掲

クル馬數ヲ飼養ス可シ

但各自ノ便宜ニ依リ定數以上ノ馬匹ヲ飼養スルコト及乘馬ヲ馬車馬ニ換フルコトハ妨ケナシ

俸給百圓以上三百圓未満ノ者 乘馬一頭

同 三百圓以上四百圓未満ノ者 同 二頭

同 四百圓以上五百圓未満ノ者 同 三頭

同 五百圓ノ者 同 四頭

同 六百圓ノ者 同 五頭

同 八百圓ノ者 同 六頭

第四條 乘馬ハ各自ノ望ニ任セ陸軍省ヨリ官馬ヲ拂下ク可シ

但百圓以上貳百圓未満ノ俸給ヲ受ル者ニ限リ其代價ハ月賦ニテ上納セシム

第五條 事故アリ定數ノ乘馬ヲ飼養スルコト能ハサル者ハ飼養料トシテ每一箇月金拾圓以上

百五拾圓未満ノ俸ノ割合ヲ以テ毎月本官廳ニ納メ本官廳ハ其金額ヲ取經メ翌月之ヲ陸軍省ニ送

付スヘシ

十八年大政官第二十八號達ヲ以テ第一條文武官ノ下(海軍武官ヲ除ク)ノ七字ヲ加ヘ但書ヲ削ル

十九年陸軍省令第一號第二十三號同訓令甲第十一號察看

明治十七年八月 大政官 達 第六十六號

二八九



但飼養料ヲ上納スル者ハ臨時陸軍省ヨリ官馬ヲ借用スルコトヲ得

第六條 陸軍省ニ於テハ第四條ノ官馬拂下ケ並ニ第五條ノ飼養料ニ充ツ可キ馬匹ヲ備ヘ置キ拂下ケ及臨時貸與ノ方法ヲ定ム可シ

第七條 各自乘馬ヲ飼養スル準備ノ爲メ本令頒布ノ日ヨリ左ニ掲クル年月間其飼養ヲ猶豫スルコトヲ得

十八年大政官第二十八號達ヲ以テ但書中起算ノ下又以下三十三字ヲ別

但本令頒布ノ後新任官シタル者若クハ百圓未滿ヨリ百圓以上ノ俸給ニ昇進シタル者ハ其新任若クハ昇進ノ日ヨリ起算ス又海軍武官ノ海上勤務ヨリ陸上勤務ニ轉シタル者ハ其轉職ノ日ヨリ起算ス可シ

俸給百圓以上百五十圓未滿ノ者 一箇年

同 百五十圓以上貳百圓未滿ノ者 十箇月

同 貳百圓以上三百圓未滿ノ者 六箇月

同 三百圓以上四百圓未滿ノ者 二箇月

同 四百圓以上ノ者 一箇月

十九年勅令第五十五號ニ依リ消滅

○第六十七號 (八月九日)

收稅長ノ席次ハ月俸ノ多寡ニ拘ラス警部長ノ次席奏任郡區長(東京府區)ノ上席ト相定候條此旨相達候事

○第六十八號 (八月十一日)

管長身分ノ儀ハ總テ勅任官取扱ノ例ニ依ル

右相達候事

○第六十九號 (八月十一日)

神佛各宗派一般

府 縣

今般教導職廢セラレ候ニ付テハ從前教導職タリシ者ノ身分ハ總テ其在職ノ時ノ等級ニ準シ取扱フ者トス

右相達候事

○第七十號 (八月十一日)

神佛各宗派管長及從前教導職タリシ者ノ身分取扱ノ儀第六十八號及第六十九號ノ通相定候條此旨爲心得相達候事

官省院廳府縣

○第七十一號 (八月二十三日)

官省院廳府縣

宮内省中正權命婦ヲ自今奏任官ト相定候條此旨相達候事

○第七十二號 (八月二十七日)

官省院廳府縣

宮内省中圖書寮ヲ被置職制左ノ通被定候條此旨相達候事

圖書寮ハ御系譜並ニ帝室一切ノ記録ヲ編輯シ内外ノ書籍古器物書畫ノ保存及ヒ美術ニ關スル事等ヲ掌ル所トス

頭勅任官ヲ以テ之ニ充ツ

擔任ノ事務ヲ整理シ所管判任官以下ノ勤惰ヲ正シ其進退黜陟ヲ卿ニ具狀スルヲ得

權頭ヲ置カス

五等

職掌頭ニ同シ

六等

助 職掌頭ニ亞ク頭事故アルトキハ代理スルヲ得

權助ヲ置カス

七等

職掌助ニ同シ

十九年宮内省達第一號ニ依リ消滅

- 圖書一等屬 八等
- 圖書二等屬 九等
- 圖書三等屬 十等
- 圖書四等屬 十一等
- 圖書五等屬 十二等
- 圖書六等屬 十三等
- 圖書七等屬 十四等
- 圖書八等屬 十五等
- 圖書九等屬 十六等
- 圖書十等屬 十七等

諸務ニ從事ス

○第七十三號 (九月三日)

官内省所轄學習院職制及ヒ職員名稱等級俸給左ノ通相定候條此旨相達候事

官省院廳府縣

十九年官内省達第八號ヲ以テ改定

長 官内卿ノ命ヲ受ケ學習院ノ事務ヲ總理シ職員ヲ指揮シ勤惰ヲ監督ス

副長 長ノ職掌ヲ輔ケ長事故アルトキハ其事務ヲ代理ス

幹事 長ノ命ヲ受ケ庶務ヲ幹理ス

教授

學生ノ教授ヲ掌ル

幹事補 職掌幹事ニ同シ

教授補 職掌教授ニ同シ

寮監 學生ノ品行勤惰ヲ監督ス

助教 教授ノ職掌ヲ助ク

書記 各庶務ニ從事ス

長	勤	任	
副長	奏	任	
幹事	奏	任	
教授	奏	任	月俸 百四十五圓四角
幹事補	奏	任	
教授補	奏	任	
寮監	奏	任	月俸 六十三圓四角
助教	奏	任	
書記	判	任	月俸 五拾五圓四角
書記	判	任	月俸 五拾二圓四角

二十年勅令第四十三號ニ依リ消滅

明治十七年九月 太政官 達 第七十四號 第七十五號

官省院廳府縣

二九四

十九年勅令第六十九號ニ依リ消滅

○第七十四號 (九月六日)  
明治十六年十月第四十四號達海軍服制中左ノ通改正刪除候條此旨相達候事  
表中(掌砲上長)ヲ(兵曹上長)ニ(掌砲長)ヲ(兵曹長)ニ改メ(水兵上長)(水兵長)ノ二欄ヲ刪ル  
圖中(掌砲上長大禮服)ヲ(兵曹上長大禮服)ニ改メ  
○第七十五號 (九月十一日)  
官省院廳府縣

明治十二年十月二十五號達中央衛生會職制第一項左ノ通改正候條此旨相達候事  
一本會ハ左ノ人員ヲ以テ之ヲ編成ス

- 會長 一八
- 副會長 一八
- 委員 十八
- 醫員 十八
- 化學家 三人
- 工學家 三人
- 衛生局長 三人
- 警保局長
- 土木局長
- 參事院議官若クハ議官補 二人
- 警視總監
- 東京府知事
- 內務書記官
- 臨時委員 三人
- 無定員

二十三年法律第四十五號ニ依リ消滅

○第七十六號 (九月二十日)

官省院廳府縣

明治十六年九月第二十八號達海軍恩給令中左ノ通改正候條此旨相達候事

第三條中(掌砲上長水兵上長)ヲ(兵曹上長)ニ(掌砲長水兵長)ヲ(兵曹長)ニ改メ  
第三十二條中(四上長四長)ヲ(二上長二長)ニ改メ  
○第七十七號 (九月二十五日)  
官省院廳府縣

本年一第三號達官吏非職條例中左ノ通追加候條此旨相達候事

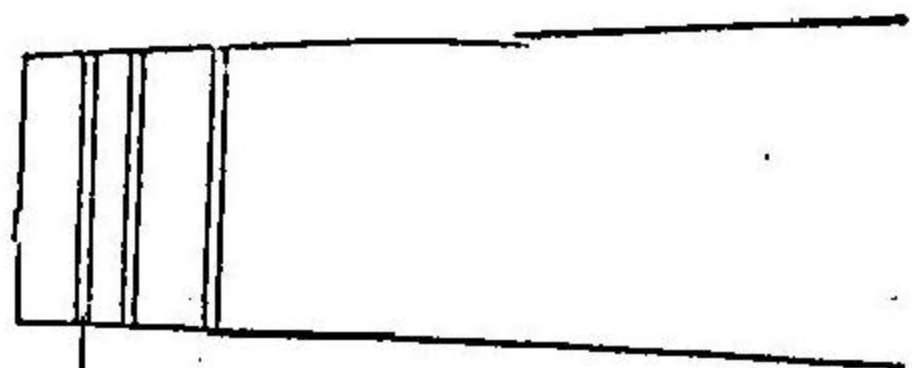
第七條 非職員ハ特ニ本屬長官ノ許可ヲ得テ地方病院學校及農工商陸海運輸等會社ノ業務ニ從事シ其役員ト爲ルコトヲ得

本屬長官ハ其非職員ノ勅任官ニ係ルモノハ上裁ニ依リ奏任官ニ係ルモノハ太政大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ許可ス

第八條 非職中第七條ノ業務ニ從事シ其給料ヲ受ルノ時間ハ第五條ノ俸給ヲ支給セス  
○第七十八號 (九月二十五日)  
官省院廳府縣

收稅長大禮服節章左ノ通相定候條此旨相達候事

收稅長大禮服章



線五厘 節章藍色等奉任 一般ノ例ニ從フ

十九年宮内省達第十五號ニ依リ消滅

二十二年勅令第四百一號ヲ以テ第七條第一項改正

明治十七年九月 太政官 達 第七十六號 第七十七號 第七十八號

二九五

二十二年法律第四  
正號ヲ以テ會計法改  
十九年宮内省達第  
一號ニ依リ消滅

明治十七年十月 大政官 達 第七十九號 第八十號

○第七十九號 (十月一日)

會計法第三十三條中但以下三十一字ヲ刪除ス此旨相達候事

○第八十號 (十月三日)

官内省中式部寮ヲ廢シ更ニ式部職ヲ被置職制俸給左ノ通被定候條此旨相達候事  
官省院廳府縣

式部職

帝室ノ祭典禮式ヲ掌リ及雅樂ノ事ヲ管理スル所トス

長官

二等相當

帝室ノ祭典禮式雅樂等ノ事ヲ總轄シ所管判任官以下ノ進退黜陟ヲ卿ニ具狀スルヲ得

次官

二等相當

職掌長官ニ亞ク長官事故アルトキハ代理スルヲ得

式部官

奏任 自四等相當  
至九等相當

禮式ノ事ヲ掌リ職中ノ事務ヲ整理ス

一等屬

八等

二等屬

九等

三等屬

十等

四等屬

十一等

五等屬

十二等

六等屬

十三等

七等屬

十四等

八等屬

十五等

九等屬

十六等

十等屬

十七等

諸務ニ從事ス

掌典長

三等相當

祭典一切ノ事ヲ整理ス

掌典	奏任	自四等相當 至九等相當
祭典ノ事ヲ掌ル		
掌典補		自十等相當 至十七等相當
祭典ニ從事ス		
内掌典		十四等相當
權内掌典		十五等相當
賢所日供ノ事ヲ掌ル		
雅樂長		式部官之ヲ兼ヌ
雅樂ノ事ヲ整理ス		
雅樂師長	奏任	八等相當
樂道諸般ノ事ヲ掌ル		
雅樂師副長	奏任	九等相當
職掌雅樂師長ニ亞ク雅樂師長事故アルトキハ代理スルヲ得		
雅樂師		自十一等相當 至十三等相當
雅樂正儼ノ事ヲ掌ル		
雅樂手		自十五等相當 至十七等相當
雅樂正儼ニ從事ス		
雅樂生		自等外一等相當 至等外四等相當
樂事ニ服事ス		
式部官年俸		

明治十七年十月 大政官 達 第八十號

式部長官	二等	四千貳百圓
式部次官	三等	三千圓
式部官	四等	貳千四百圓
	五等	千八百圓
	六等	千貳百圓
	七等	九百圓
	八等	六百圓
	九等	五百四拾圓
掌典年俸		
掌典長	三等	貳千四百圓
	四等	千八百圓
	五等	千貳百圓
	六等	九百圓
	七等	六百圓
	八等	五百四拾圓
	九等	四百八拾圓
掌典		
	十等	四百貳拾圓
	十一等	三百六拾圓
	十二等	三百圓
	十三等	貳百四拾圓

一十九年宮内省達第一號ニ依リ消滅

掌典補	十四等	百八拾圓
	十五等	百四拾四圓
	十六等	百貳拾圓
	十七等	九拾六圓
雅樂師長以下年俸		
雅樂師長	八等	四百貳拾圓
雅樂師副長	九等	三百六拾圓
	十一等	三百圓
雅樂師	十二等	貳百四拾圓
	十三等	百八拾圓
	十五等	百四拾四圓
	十六等	百貳拾圓
	十七等	八拾四圓
雅樂手		
	等外一等	七拾貳圓
	等外二等	六拾圓
	等外三等	四拾八圓
	等外四等	三拾六圓
雅樂生		
	等外三等	四拾八圓
	等外四等	三拾六圓

官省院廳府縣

○第八十一號 (十月三日)  
宮内省中華族局職制左ノ通被定候條此旨相達候事

華族局

明治十七年十月 大政官 達 第八十一號

華族ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル所トス

長官 勅任官ヲ以テ之ニ充ツ

擔任ノ事務ヲ整理シ所管判任官以下ノ勤惰ヲ正シ其進退黜陟ヲ卿ニ具狀スルヲ得

主事 職掌長官ニ亞ク長官事故アルトキハ代理スルヲ得

一等屬 八等 二等屬 九等

三等屬 十等 四等屬 十一等

五等屬 十二等 六等屬 十三等

七等屬 十四等 八等屬 十五等

九等屬 十六等 十等屬 十七等

諸務ニ從事ス

○第八十二號 (十月四日) 警視廳 府縣

今般第貳拾五號ヲ以テ墓地及埋葬取締規則布達候ニ付此規則ニ違背スルモノハ違警罪ノ刑ヲ以テ

處分スヘシ此旨相達候事

○第八十三號 (十月八日) 府 縣

本年八月第六拾六號達ニ依リ飼養スル乘馬ハ地方稅ヲ賦課スルノ限リニ在ラサル儀ト心得ヘシ此旨

相達候事

○第八十四號 (十月十四日) 官省院廳府縣

明治十六年十月十二日第四拾六號布告徵兵令第貳拾壹條ニ依リ徵集猶豫伺出ノ節ハ本人履歷並其技術ニ

係ル明細書ヲ添フヘシ此旨相達候事

二十二年法律第一  
號三條ヲ消滅

十八年大政官第十  
三號達ニ依リ消滅

二十二年法律第四  
號二十三條大藏省  
訓令第十二號ニ依  
リ消滅

十八年文部省告示  
第七號十九年勅令  
第三號ニ依リ消滅

○第八十五號 (十月二十二日) 官省院廳府縣

明治十四年四月第三拾四號達歲入科目中版權免許料ノ次へ商標登錄手数料ノ大科目ヲ增加候條此旨

相達候事

○第八十六號 (十月二十二日) 官省院廳

本年五月第五拾五號ヲ以テ相達候一時賜金ノ儀ハ大藏省國債局ヨリ交付候條其決算帳ハ同省ヲ經由

シテ會計検査院へ差出候儀ト心得此旨相達候事

○第八十七號 (十月二十三日) 官省院廳府縣

明治十五年八月第五拾壹號達工部省所轄工部大學校職員中助教授ニ委任ヲ置キ年俸千八百圓ヲ給與

候條此旨相達候事

○第八十八號 (十月二十五日) 官省院廳府縣

大藏卿松方正義ヨリ明治十二年度歲入出決算報告書ヲ上呈ス乃チ會計検査院ニ於テ其計算ヲ審査

セシメ以テ其實質ナルコトヲ證認ス此旨相達候事

明治十二年度歲入出決算報告書

本會計年度即チ明治十二年七月ヨリ同十三年六月ニ至ル一周年間ノ歲入出決算ハ同十二年六月第貳  
拾九號公達ヲ以テ頒布セラレシ豫算ニ基キ收支セシシノ金額ニシテ同十一年七月第三拾四號公達ニ  
據リ同十四年二月ヲ限リ出納ヲ閉鎖シ而シテ之ヲ統計整理セシモノナリ今其決算ヲ以テ豫算及ヒ  
前年度ノ決算ニ比較シ其増減ノ顛末ヲ詳述スルノ前ニ於テ此決算完結ノ順序及ヒ其要領ヲ明示ス

歲入決算ノ順序

凡ソ歲入ハ先ツ豫算決定高ヨリ各部門ニ分テ會計原簿ニ登記シ而シテ其租稅ハ明治八年五月第九拾號

公達同十一年十月十二日大藏省乙第七拾貳號達書其雜收入ハ同六年十月十二日第四百貳拾七號第四百貳拾八號

明治十七年十月 大政官 達 第八十五號 第八十六號 (明治十二年度歲入出決算報告書)

公達同九年十月内務省乙第百貳拾五號同十一年十月十二大藏省乙第七拾貳號同十二年十月五同省乙第貳拾六號達書其諸返納同四年四月十日同六年三月第八拾壹號同七年十月十三日公達同十一年十月十二大藏省乙第七拾貳號同十二年十月五同省乙第貳拾六號達書ノ規則ニ遵ヒ時時國庫へ納入スルニ方リ之ヲ豫算ノ員額ニ照シテ原簿ニ登記シテ其收入ヲ了ス且各廳ニ於テ租稅ハ同十一年十一月十一大藏省乙第五十六號達書作業益金ハ同十年七月六日同十二年十月十六日公達雜收入ハ同六年十月十二第四百貳拾七號第四百貳拾八號同十一年一月第一號號公達同二年十月十六日同省乙第五號同十二年十月六同省乙第二拾壹號達書諸返納ハ同八年五月第八十六號公達同十年十月八日大藏省乙第貳拾八號達書ノ規則ニ遵ヒ各其納付金額ヲ記セシ勘定帳簿ヲ會計検査院ニ送致ス會計検査院ニ於テハ之ヲ審査決了シ然シテ後大藏省ニ通牒ス因テ又之ヲ同十三年十月六日大藏省乙第貳拾七號達書ニ據リ各廳ヨリ申牒セル勘定帳ノ計數ト原簿登記ノ計數トニ照シテ纖悉之ヲ調査シ差異無キニ至テ始テ了ス

歳出決算ノ順序

凡ソ歳出モ亦歳入ト同ク先ツ豫算決定高ヲ各部門ニ分テ會計原簿ニ登記シ而シテ明治七年四月第四十六號同年十一月第五十六號同八年二月十五日同九年二月第十八號公達同十年二月二十二大藏省乙第八號達書ノ規則ニ遵ヒ國庫ヨリ各廳ヨリ交付スルニ方リ其金額ヲ豫算額ニ照シテ原簿ニ登記シテ其支出ヲ了ス且各廳ニ於テ實際支消スルニ隨ヒ同六年三月第八十號同十年十月八日同七年十月十三日同八年二月十五日同九年五月第八十六號同十年七月六日公達同十年十月八日大藏省乙第貳十八號達書同十一年一月第一號公達同二年十月六日大藏省乙第五號同十二年十月十六日公達ノ規則ニ遵ヒ勘定帳簿ヲ製シテ之ヲ會計検査院ニ致ス而シテ後検査及結算ノ順序ハ歳入ニ同シ

歳入出全計ノ整理

歳入出ノ員額ハ前項ニ掲ル順序ヲ完了シ勘定帳簿會計原簿國庫入出現計簿トヲ照查シ釐毫ノ差違

無キヲ認メ以テ全計ヲ整理ス

歳入出科目ノ編成

本期歳入出科目ノ類集ハ豫算ノ當時ニ在テハ即今ノ制規ニ異ルモノアリト雖モ其員額ノ對照比較等ヲシテ視易カラシメンカ爲メニ現今選用スル所ノ制ニ據テ之ヲ編成ス

歳入出豫算決算ノ大計

明治十二年度歳入出ノ豫算ハ左ノ如シ

經常歳入	五二,七四〇,五七二	五四〇
臨時歳入	二,九一〇,八〇六	四九四
總計	五五,六五一,三七九	〇三四
經常歳出	五二,一九三,三三一	〇五〇
臨時歳出	三,四五八,〇四七	九八四
總計	五五,六五一,三七九	〇三四
右歳入ノ總計ヲ以テ歳出ノ總計ニ比スレハ過不足無シ		
明治十二年度歳入出ノ決算ハ左ノ如シ		
經常歳入	五七,七一六,三三三	一一六
臨時歳入	四,四三五,四二八	三九八
總計	六二,一五一,七六一	五二四
經常歳出	五五,二〇五,五三八	六三一
臨時歳出	五,一一二,〇三九	七五〇
總計	六〇,三二七,五七八	三八一

右歲入ノ總計ヲ以テ歲出ノ總計ニ比スレハ則チ百八拾三萬四千七百七拾三圓拾四錢三厘ノ餘贏ヲ生  
ス此餘贏金ハ明治十七年十月十三日ニ於テ裁定アリシ會計規程ニ遵ヒ之ヲ準備金ヘ挿入シ以テ該年  
度間會計ノ全局ヲ結了セリ

本期歲入決算ノ總計六千貳百拾五萬千七百五拾壹圓五拾貳錢四厘ヲ以テ其豫算ノ總計五千五百六  
拾五萬千三百七拾九圓三錢四厘ニ比スレハ決算ノ豫算ニ超過スル一六百五拾萬三千七百七拾貳圓四拾  
九錢ナリ蓋シ此多額ノ增加ニ付キ其最著シキモノヲ舉レハ酒類稅ニ於テ釀造額及ヒ請賣營業人ノ  
增加ニ由リ百九拾五萬餘圓雜入ニ於テ前年度以前ニ屬スル各種ノ雜入ヲ納致シ又國債償還ノ増額  
ニ隨ヒ減價繰入ノ員額ヲ増セシ等ニ由リ百五拾貳萬餘圓地稅ニ於テ前期以前ニ屬スル收額ヲ本期  
ニ納入セシモノ許多ナリシト沖繩縣ノ地稅ハ豫算ノ際舊琉球藩貢納ノ員額ノミヲ編入セシニ該縣  
地租ノ全額ヲ收入セシ等ニ由リ百拾壹萬餘圓海關稅ニ於テ逐年貿易ノ旺盛ニ赴キシニ由リ五拾萬  
餘圓北海道物產稅ニ於テ產出物品ノ増殖セント其價格ノ昂騰セントニ由リ四拾四萬餘圓工部省鐵  
道益金ニ於テ專業ノ隆盛ニ赴キシニ由リ三拾萬餘圓其他貳拾五件ノ増額九拾八萬餘圓ヲ併セ增加  
ノ總計ハ六百八拾四萬餘圓ニ上レリ而シテ前記ノ超過ニ止ルモノハ諸貸出金返納其他九件ノ收入  
ニ於テ三拾四萬餘圓ヲ減少セシニ由ル

又歲入決算ノ總計ヲ以テ其前期ノ總計六千貳百四拾四萬三千七百四拾九圓四拾錢貳厘ニ比スレハ  
本期ノ減少スル一貳拾九萬九千九百九拾七圓八拾七錢八厘ナリ蓋シ此ノ如キハ各項交モ増減アリテ  
竟ニ此減少ヲ生セシモノニシテ今其減少ノ著シキモノヲ舉レハ雜入ニ於テ減價方案ニ據リ紙幣消  
却ノ爲メ準備金ヨリ挿入セシ員額ノ前期ヨリ寡ナカリシ等ニ由リ四百拾九萬餘圓大藏省造幣益金  
ニ於テ銀銅貨鑄造ノ寡ナカリシ等ニ由リ四拾萬餘圓其他拾三件ノ減額六拾七萬餘圓ヲ併セ減少ノ  
總計ハ五百貳拾七萬餘圓ニ上レリ而シテ前記ノ減少ニ止ルモノハ地稅ニ於テ本期以降沖繩縣地租  
ヲ徵收セシト水旱ノ凶災其他ノ事故ヲ以テ收入シ能ハサルモノハ前期ヨリ寡ナカリシト前期以前

ニ屬スル收額ヲ納致セシモノハ多カリシ等ニ由リ百六拾五萬餘圓酒類稅ニ於テ釀造額及ヒ營業人  
ノ增加ニ由リ百三拾六萬餘圓海關稅ニ於テ貿易ノ旺盛ニ赴キシニ由リ三拾三萬餘圓北海道物產稅  
ニ於テ物品ノ増殖ト其價格ノ昂騰トニ由リ三拾萬餘圓工部省鐵道益金ニ於テ專業ノ隆盛ニ赴キシ  
等ニ由リ貳拾四萬餘圓郵便稅ニ於テ郵便線路ノ延長ヲ加フルニ隨ヒ通信ノ數ヲ増セシ等ニ由リ貳  
拾壹萬餘圓其他貳拾壹件ノ増額八拾五萬餘圓ヲ併セ四百九拾八萬餘圓ヲ增加セシニ由ル

本期歲出決算ノ總計六千三拾壹萬七千五百七拾八圓三錢壹厘ヲ以テ其豫算ノ總計五千五百六  
拾五萬千三百七拾九圓三錢四厘ニ比スレハ決算ノ豫算ニ超過スル一四百六拾六萬六千九百九拾九圓  
三拾四錢七厘ナリ蓋シ此多額ノ增加ニ付キ其最著シキモノヲ舉レハ雜出ニ於テ各地方虎列刺病流  
行ノ劇烈ナリシニ因リ之カ豫防ニ係ル諸費頗ル多ク又沖繩縣薩藩土族及神職ノ家祿ヲ舊慣ニ因リ  
交付セシ等通常經費ニ屬セサル種々ノ費用ヲ支辨セシモノ多カリシニ由リ貳百貳拾七萬餘圓府縣  
費ニ於テ豫算ニ編入ナキ沖繩德島兩縣ノ經費ヲ支出セシト西南騷亂ノ後チ鹿兒島縣官吏ノ増員及  
ヒ旅費等一時支出ヲ要セシモノアリシト衛生事務擴張ノ爲メ判任官ヲ増員セシ等トニ由リ六拾壹  
萬餘圓陸軍省ニ於テ兵器ノ購求多ク又虎列刺病流行ニ際シ避病院等ニ係ル諸費及ヒ海岸警備砲墩  
建築費ヲ要セシ等ニ由リ五拾七萬餘圓海軍省ニ於テ水雷船并附屬器具ヲ購買セシト軍艦備付ノ兵  
器ヲ製造セシト比叡外四艦朝鮮國及ヒ印度地方ニ臨時航海ノ諸費ヲ要セシ等ニ由リ四拾四萬餘圓  
開拓使ニ於テ該管下ヨリ徵收セル產出物品ノ増殖セント其價格ノ昂騰セントヲ以テ其交付額ヲ増  
セシ等ニ由リ三拾九萬餘圓陸軍省兵器製造費ニ於テ東京大阪兩砲兵工廠ノ新設ニ係ル費用ヲ  
要セシニ由リ貳拾九萬餘圓其他三拾四件ノ増額貳百六拾壹萬餘圓ヲ併セ增加ノ總計ハ七百貳拾壹  
萬餘圓ニ上レリ而シテ前記ノ超過ニ止ルモノハ豫算ノ際臨時増費ヲ支辨セシカ爲メ設置セシ豫備金  
百五拾萬圓ヲ以テ之ヲ補填シ其他宮殿造營費等拾七件ノ支出ニ於テ百五萬餘圓ヲ減少セシニ由ル



又歳出決算ノ總計ヲ以テ其前期ノ總計六千九拾四萬千三百三拾五圓七拾三錢九厘ニ比スレハ本期ノ減少スルコト六拾貳萬三千七百五拾七圓三拾五錢八厘ナリ蓋シ此ノ如キハ各項交モ増減アリテ竟ニ此減少ヲ生セシモノニシテ今其減少ノ著シキモノヲ舉ケレハ紙幣消却ニ於テ其消却高ノ前期ヨリ寡ナカリシニ由リ五百拾六萬餘圓府縣警察費ニ於テ鹿兒島縣警視出張所ヲ廢セシ等ニ由リ貳拾三萬餘圓其他拾六件ノ減額百拾六萬餘圓ヲ併セ減少ノ總計ハ六百五拾六萬餘圓ニ上レリ而シテ前記ノ減少ニ止ルモノハ陸軍省ニ於テ兵器被服ノ購求彈藥ノ製造夥多ナリシト避病院等ニ係ル諸費及ヒ砲墩建築費ヲ要セシ等ニ由リ百三拾五萬餘圓救荒貯蓄補助ハ本期以降新設ニ係ルヲ以テ八拾四萬餘圓大藏省ニ於テ各地方收稅委員出張所及ヒ税金爲換取扱ノ諸費ハ前期ニ於テ僅ニ數月間ナリシニ本期ニ至リ周歲ノ費用ヲ要シ又沖繩縣稅品運搬ニ係ル諸費ヲ要セシ等ニ由リ三拾壹萬餘圓陸軍省兵器製造興業費ハ本期以降新ニ支出ヲ要セシニ由リ貳拾九萬餘圓府縣費ニ於テ沖繩縣ノ經費ハ前期ニ於テ三ヶ月間ナリシニ本期ニ至リ周歲ノ費用ヲ要シ其他德島縣ノ新置衛生事務ノ擴張等ニ由リ貳拾八萬餘圓海軍省ニ於テ水雷船并附屬器具ヲ購買セント兵器ヲ製造セント比叡外四艦臨時航海ノ諸費ヲ要セシ等ニ由リ貳拾七萬餘圓其他三拾七件ノ増額貳百五拾七萬餘圓ヲ併セ五百九拾三萬餘圓ヲ増加セシニ由ル

以上數項ニ於テ本年度歳入出決算完成ノ大要ヲ知了スヘシ次テ歳入出各科目ニ就キ豫算及ヒ前年度ノ決算ト對照シ以テ其増減伸縮アル所以ノ事實ヲ詳悉セントス乃チ其序次ヲ分ツコト左ノ如シ

第一 歳入

第二 歳出

第三 國債準備貸附

第一 歳入

歳入ノ決算ヲ各科目ニ區分シ其豫算及ヒ累年ノ決算ニ比較シ其増減ヲ示ス左表ノ如シ



會計年度歲入豫算決算增減比較表

項目	十一年度決算額		十年度決算額		九年度決算額		八年度決算額		本期決算ノ增減率(以下之ニ同シ)	
	額	比	額	比	額	比	額	比	額	比
歳入	5,148,590.7	100.0	4,793,312.2	93.1	4,629,633.3	90.1	4,911,940.3	95.4	4,911,940.3	95.4
歳出	5,148,590.7	100.0	4,793,312.2	93.1	4,629,633.3	90.1	4,911,940.3	95.4	4,911,940.3	95.4
増減	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繰上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繰下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繰上ノ増減	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繰下ノ増減	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繰上ノ増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
繰下ノ増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
繰上ノ増減率(比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
繰下ノ増減率(比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
繰上ノ増減率(比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
繰下ノ増減率(比)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

本期決算ノ增減率(以下之ニ同シ) (△印ハ赤字)

